

奄美群島振興開発アンケート調査

－在住者へのアンケート調査結果－

令和4年9月

 鹿児島県

< 目 次 >

I. 調査概要	1
II. 調査結果	4
1. 回答者の属性	4
2. 集計結果	6
(1) 島の魅力について	6
(2) 定住意向について	7
(3) 群島内外との交流・連携について	12
(4) 奄美群島振興開発事業の評価と期待について	14
(5) まとめについて	33
参考資料	
アンケート調査票	61

I. 調査概要

本調査の実施概要は以下のとおりとなっている。

□調査目的

奄美群島内の在住者が、島の魅力、定住意向、群島内外との交流・連携、奄美群島振興開発事業の評価と期待、今後の奄美群島の振興などについてどのように考えているのかを把握することを目的とする。

□調査対象者と回収状況

奄美群島内の在住者 3,400 人（転入者を含む）を対象とした。回収状況は 1,469 人で回収率は 43.2%となっている。

【対象者数と回収状況】

単位：人、%

	発送数	回収数	Web	合計	合計回収率
奄美市	1,127	408	64	472	41.9
大和村	99	33	3	36	36.4
宇検村	104	56	7	63	60.6
瀬戸内町	282	99	17	116	41.1
龍郷町	189	84	12	96	50.8
喜界町	237	100	12	112	47.3
徳之島町	315	121	17	138	43.8
天城町	202	77	12	89	44.1
伊仙町	208	49	7	56	26.9
和泊町	226	82	9	91	40.3
知名町	227	85	26	111	48.9
与論町	184	73	16	89	48.4
合計	3,400	1,267	202	1,469	43.2

□調査方法

郵送による配布、郵送及びインターネットによる回収。

□調査期間

令和 4 年 7 月中旬～8 月末。

□調査項目

調査項目については、以下のとおり。

【調査項目】

属性	居住地（12市町村別 瀬戸内町のみ居住する島） 性別、年齢、職業、島との関係、島に来て（帰ってきて）からの居住年数
A 島の魅力	問1 島の魅力
B 定住意向	問2 今後の定住継続意向 問3 子どもたちが島で暮らすことについての考え 問4 島で暮らしていくために必要なこと 問5 群島外に転出した理由 問6 群島に転入してきた理由 問7 島へのU・Iターン及び二地域居住等促進のために必要なこと
C 群島内外との交流・連携	問8 島の振興にあたり有効な交流・連携先 問9 問8で選んだ地域との交流・連携を強化するために必要なこと
D 奄美群島振興開発事業の評価と期待	問10 10年前と比較した島の全体的なイメージの評価 問11 奄美群島振興開発事業に対する満足度（43項目） ●定住を促進するための方策（6項目） ・産業の振興（5項目） ・移住・交流の促進（1項目） ●世界自然遺産登録などを生かした交流拡大のための方策（3項目） ・世界自然遺産登録を見据えた取組の推進（1項目） ・共生ネットワークの形成（1項目） ・群島内外との交流の促進（1項目） ●滞在型・着地型観光を促進するための方策（2項目） ・地域資源を生かした観光施策の展開（1項目） ・愛着を育む地域文化の継承、創造（1項目） ●奄美群島が抱える条件不利性の改善（16項目） ・航空運賃の軽減、航路運賃の軽減、群島内の誘客・周遊促進、奄美・沖縄の連携交流促進、農林水産物等の輸送コスト支援、水産物流通支援事業、奄美群島成長戦略の推進、物価の軽減（8項目） ・交通基盤の整備（3項目） ・防災及び国土保全（5項目） ●奄美群島の生活基盤の確保・充実（15項目） ・保健医療福祉（3項目） ・教育及び人材育成（2項目） ・生活環境（7項目） ・資源・エネルギー（3項目）

【調査項目（続き）】

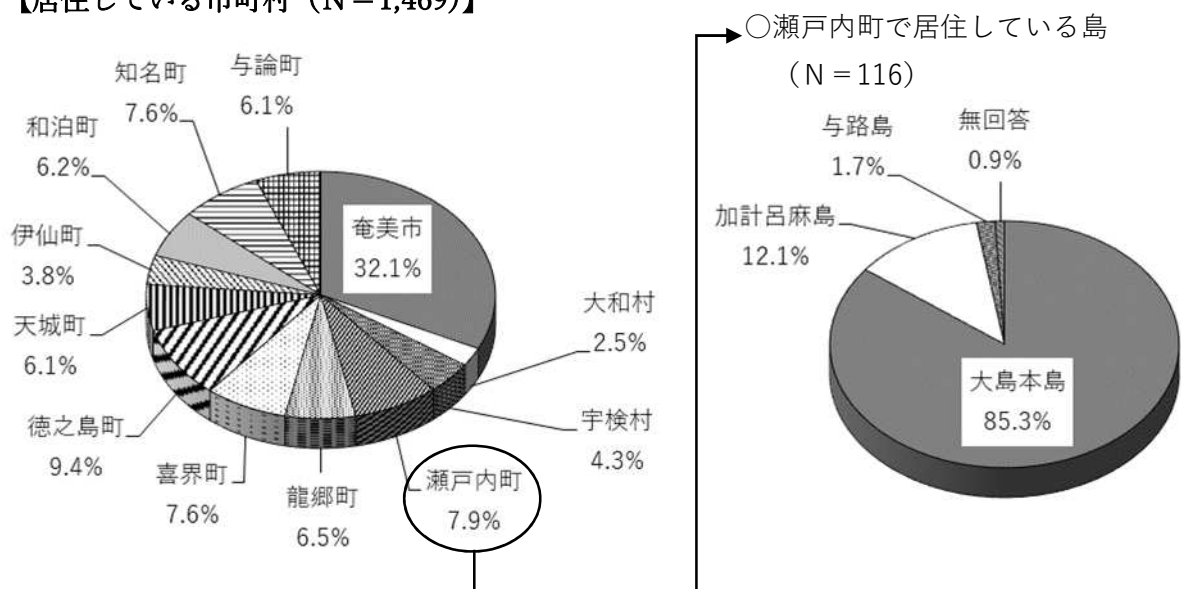
<p>D 奄美群島振興開発事業の評価と期待（続き）</p>	<p>問 12 島外との交通について (1) 海上交通について困っていること (2) ア 航空交通について困っていること イ 居住する島の空港との間の航空運賃について割引を希望する空港 a 鹿児島県内の空港 b 鹿児島県外の空港</p> <p>問 13 今後の教育について重点を置くべきこと 問 14 今後の島の発展・振興のために力を入れるべき産業 問 15 今後の島の水産業の振興を図るために力を入れるべきこと 問 16 今後の雇用の創出・確保を図るために力を入れるべきこと 問 17 沖縄県の振興施策のうち、奄美群島においても対等な競争をするために力を入れて支援すべきと考える施策 問 18 世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度 問 19 過去1年間に参加したことがある活動や講演会など 問 20 奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったことで期待できることについての考え 問 21 奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったために懸念又は心配することについての考え</p>
<p>E まとめ</p>	<p>問 22 日本において奄美群島が果たしている役割又は今後果たすべき役割 問 23 奄美群島の今後の問題点 問 24 奄美群島の将来の姿の希望 問 25 奄美群島振興開発特別措置法についての考え 問 26 奄美群島の振興開発についての意見・提言（自由回答）</p>

II. 調査結果

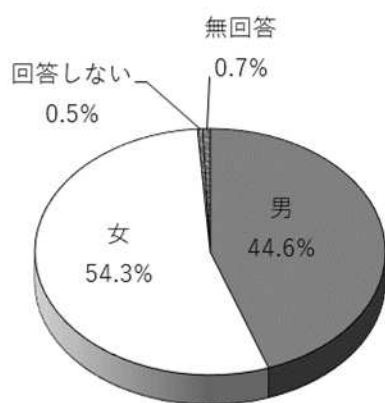
1. 回答者の属性

回答者 1,469 人の属性は、以下のとおりとなっている。

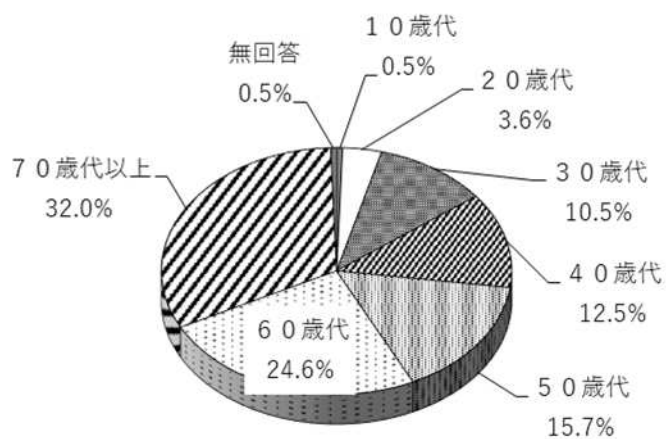
【居住している市町村 (N=1,469)】



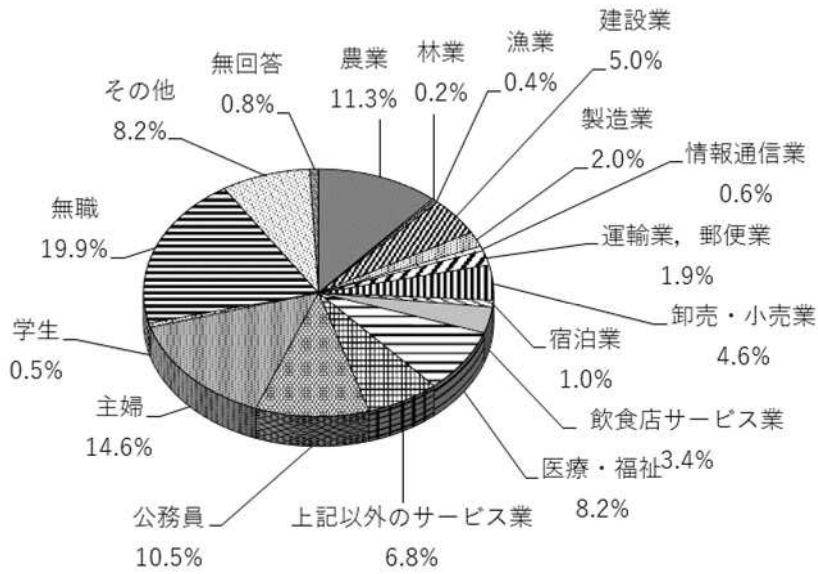
【性別 (N=1,469)】



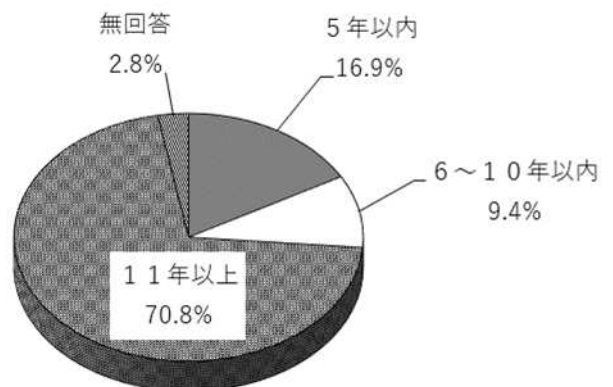
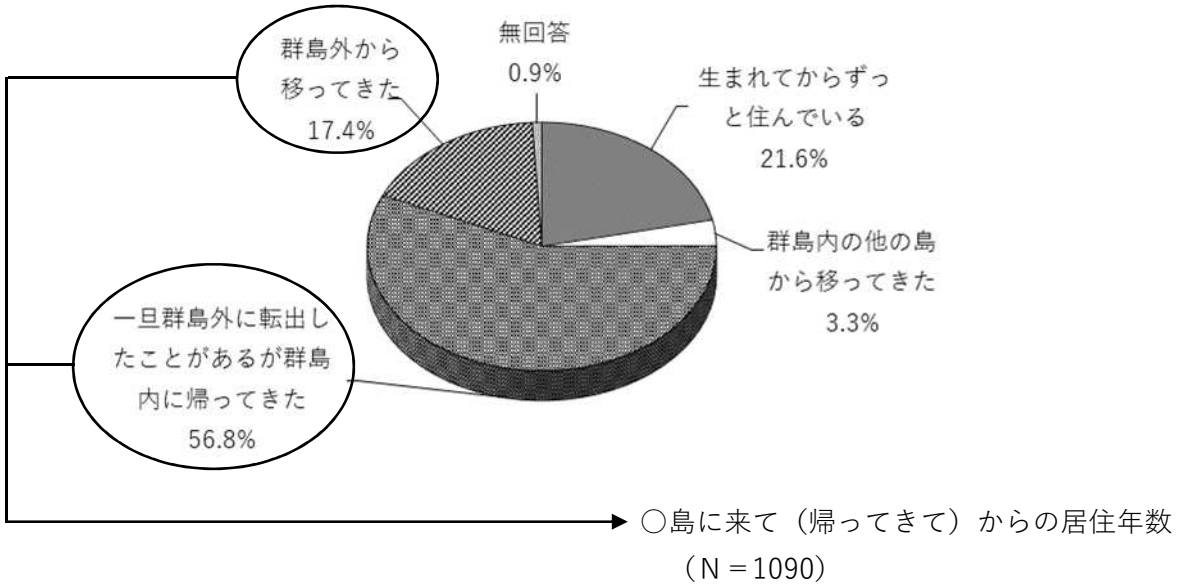
【年齢 (N=1,469)】



【職業 (N=1,469)】



【島との関係 (N=1,469)】

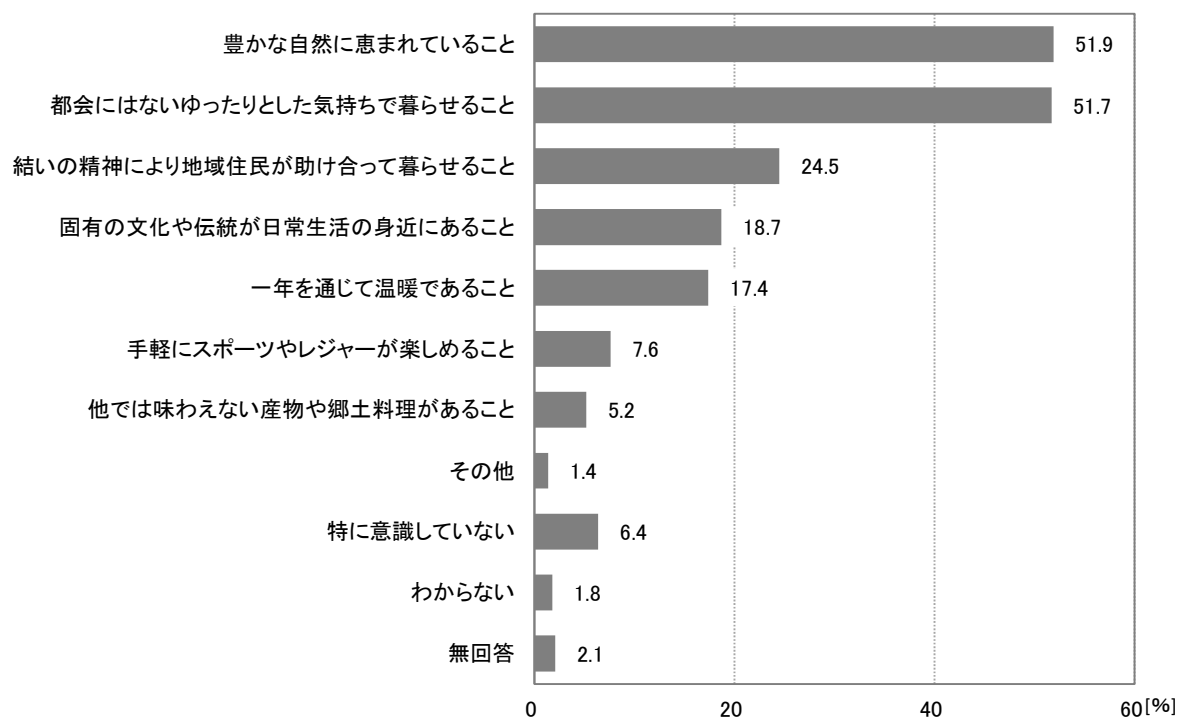


2. 集計結果

(1) 島の魅力について

島の魅力については、「豊かな自然に恵まれていること」が51.9%で最も多く、次いで「都会にはないゆったりとした気持ちで暮らせること」(51.7%)、「結いの精神により地域住民が助け合って暮らせること」(24.5%) などとなっている。

【島の魅力 (N=1,469)】

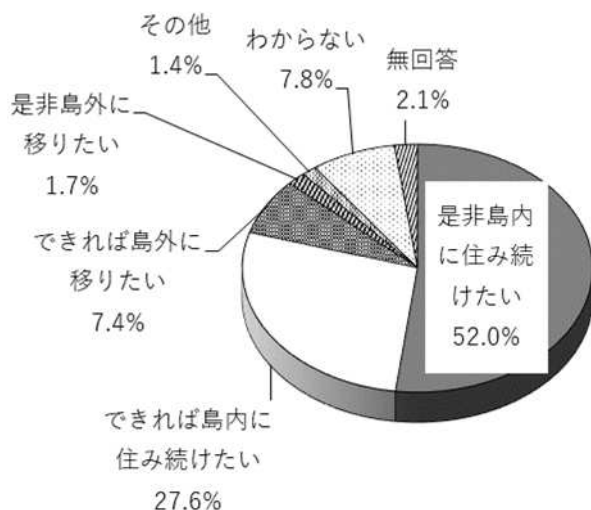


(2) 定住意向について

① 今後の定住継続意向

今後の定住継続意向については、『島内に住み続けたい』（「是非島内に住み続けたい」と「できれば島内に住み続けたい」の合計）が79.6%で約8割を占めており、『島外に移りたい』（「是非島外に移りたい」と「できれば島外に移りたい」の合計）は9.1%にとどまっている。

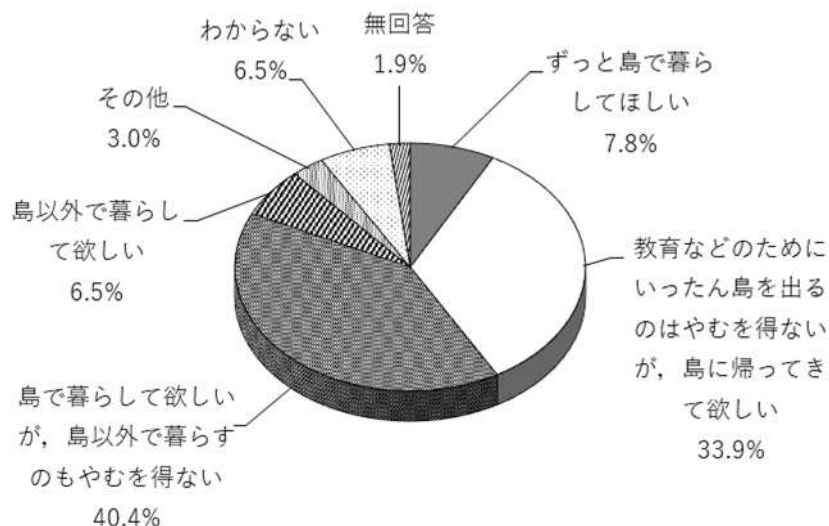
【今後の定住継続意向（N=1,469）】



② 子どもたちが島で暮らすことについての考え

子どもたちが島で暮らすことについては、「島で暮らして欲しいが、島以外で暮らすのもやむを得ない」が40.4%で最も多く、次いで「教育などのためにいったん島を出るのはやむを得ないが、島に帰ってきて欲しい」(33.9%)、「ずっと島で暮らしてほしい」(7.8%)などとなっている。

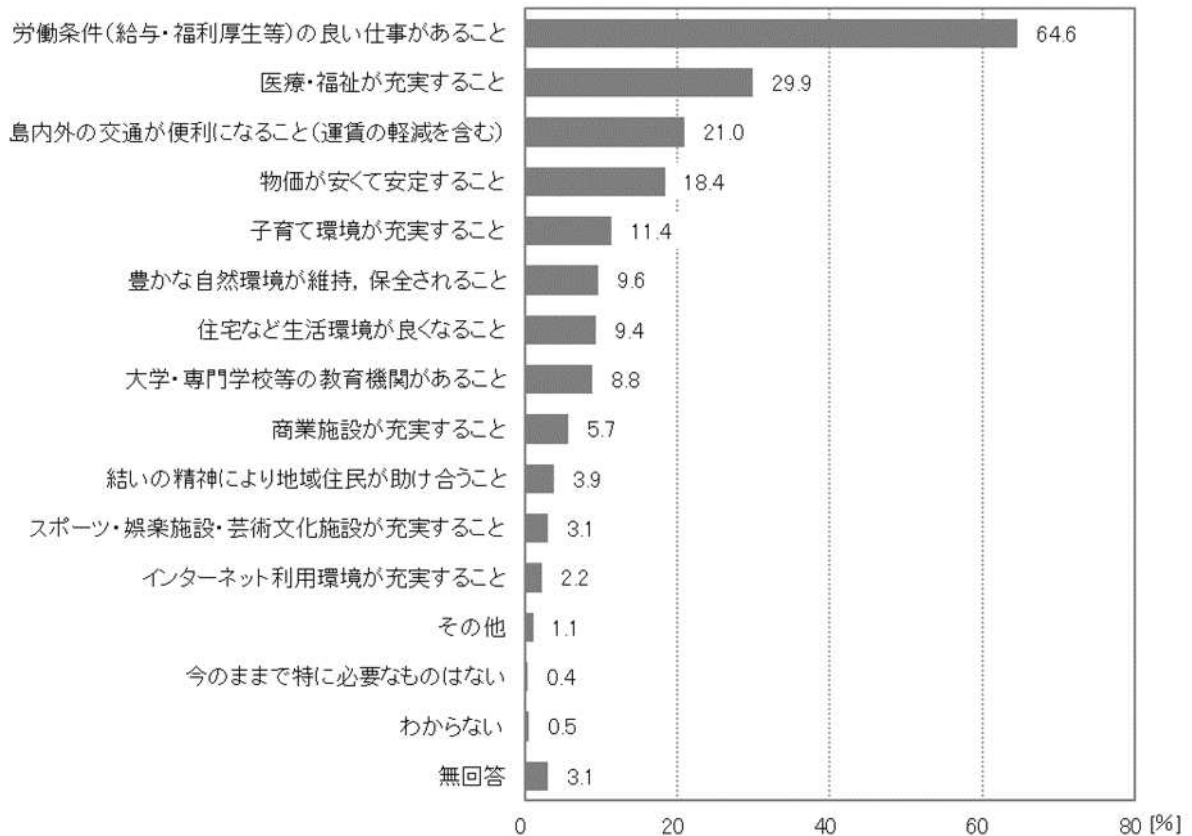
【子どもたちが島で暮らすことについての考え（N=1,469）】



③ 島で暮らしていくために必要なこと

島で暮らしていくために必要なことについては、「労働条件（給与・福利厚生等）の良い仕事があること」が64.6%で突出して最も多く、次いで「医療・福祉が充実すること」（29.9%）、「島内外の交通が便利になること（運賃の軽減を含む）」（21.0%）などとなっている。

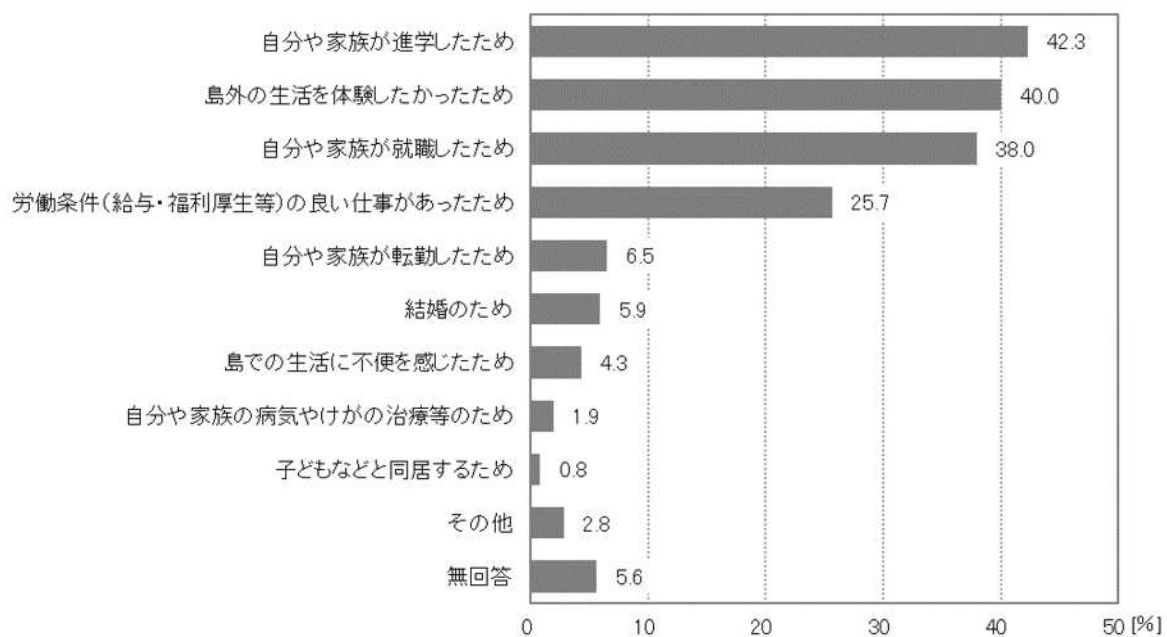
【島で暮らしていくために必要なこと（N=1,469）】



④ 群島外に転出した理由

群島外に転出した理由については、「自分や家族が進学したため」が42.3%で最も多く、次いで「島外の生活を経験したかったため」(40.0%)、「自分や家族が就職したため」(38.0%) などとなっている。

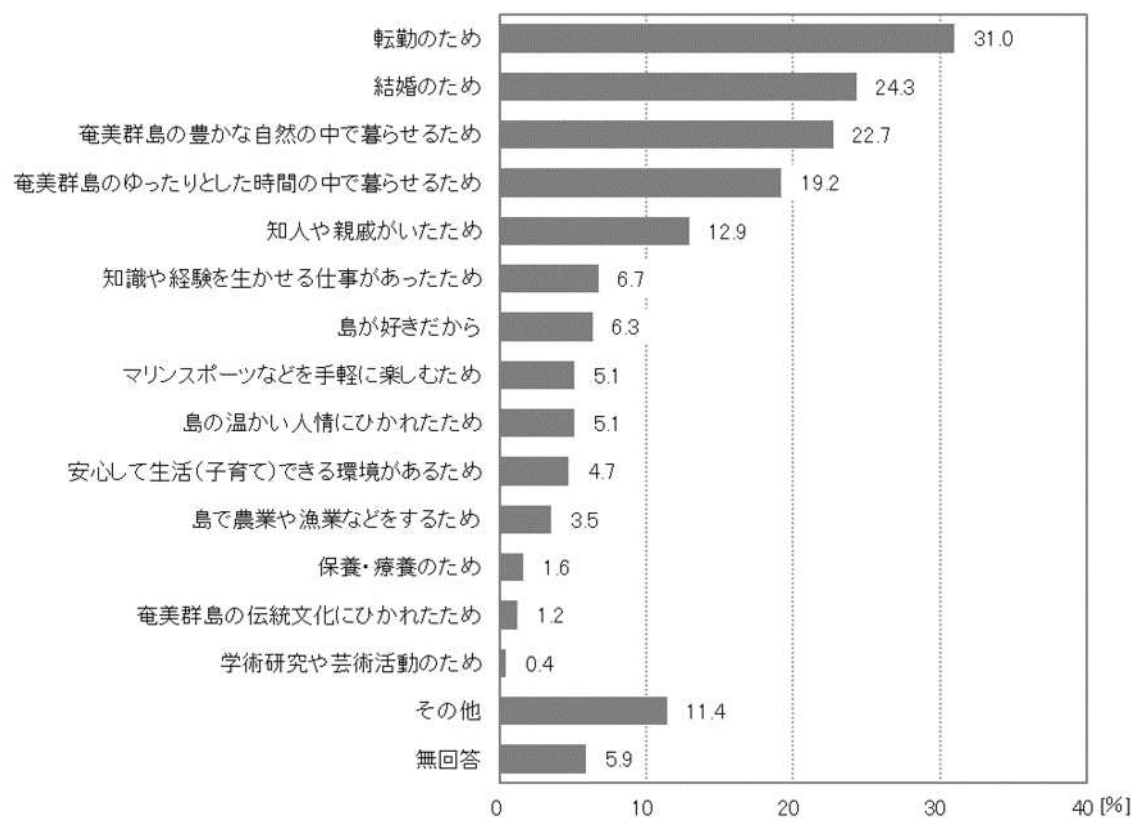
【群島外に転出した理由 (N = 835)】



⑤ 群島に転入してきた理由

群島に転入してきた理由については、「転勤のため」が31.0%で最も多く、次いで「結婚のため」(24.3%)、「奄美群島の豊かな自然の中で暮らせるため」(22.7%) などとなっている。

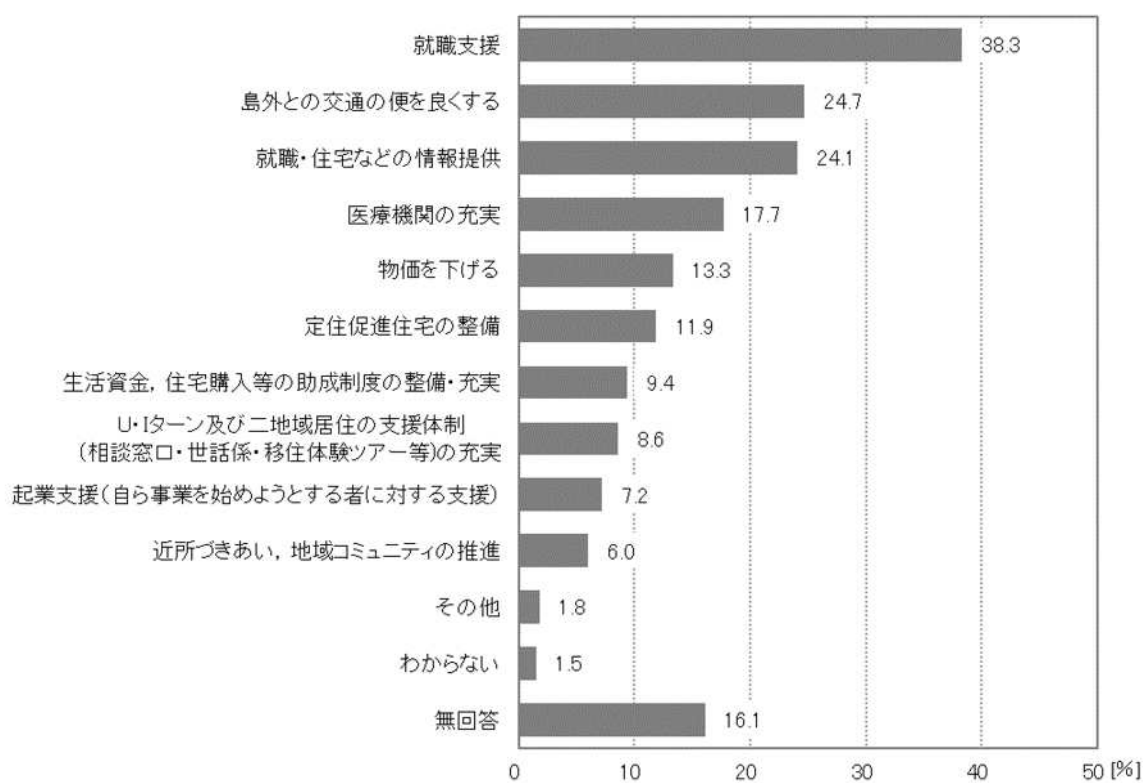
【群島に転入してきた理由 (N=255)】



⑥ 島へのU・Iターン及び二地域居住等促進のために必要なこと

島へのU・Iターン及び二地域居住等促進のために必要なことについては、「就職支援」が38.3%で最も多く、次いで「島外との交通の便を良くする」(24.7%)、「就職・住宅などの情報提供」(24.1%)などとなっている。

【島へのU・Iターン及び二地域居住等促進のために必要なこと (N=1090)】

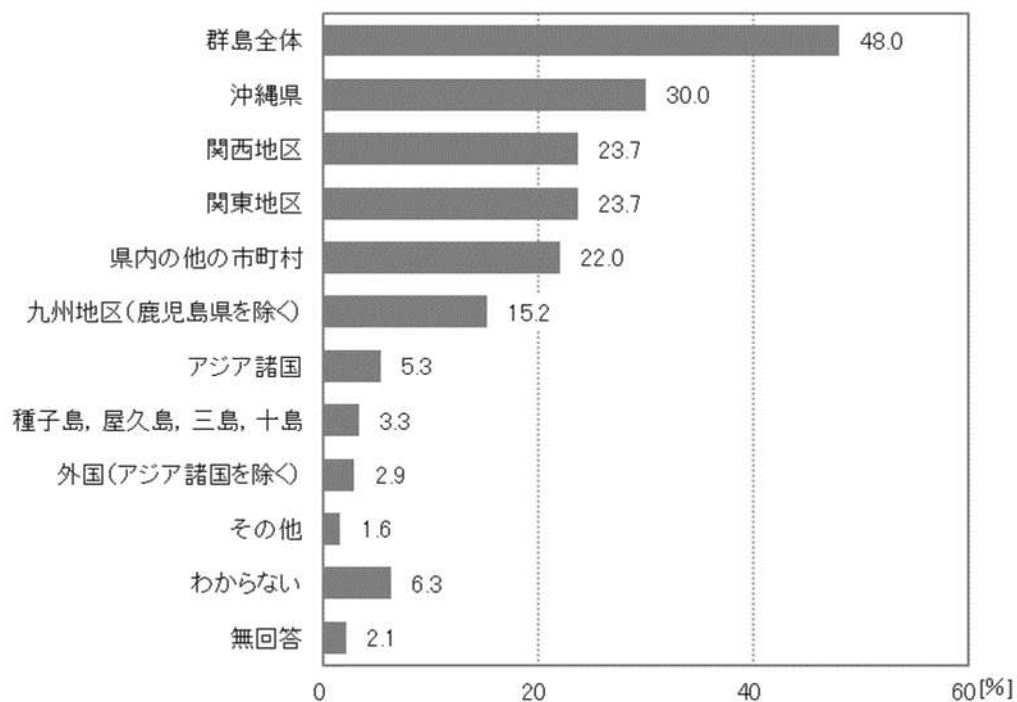


(3) 群島内外との交流・連携について

① 島の振興にあたり有効な交流・連携先

島の振興にあたり有効な交流・連携先については、「群島全体」が48.0%で最も多く、次いで「沖縄県」(30.0%)、「関西地区」と「関東地区」(ともに23.7%)などとなっている。

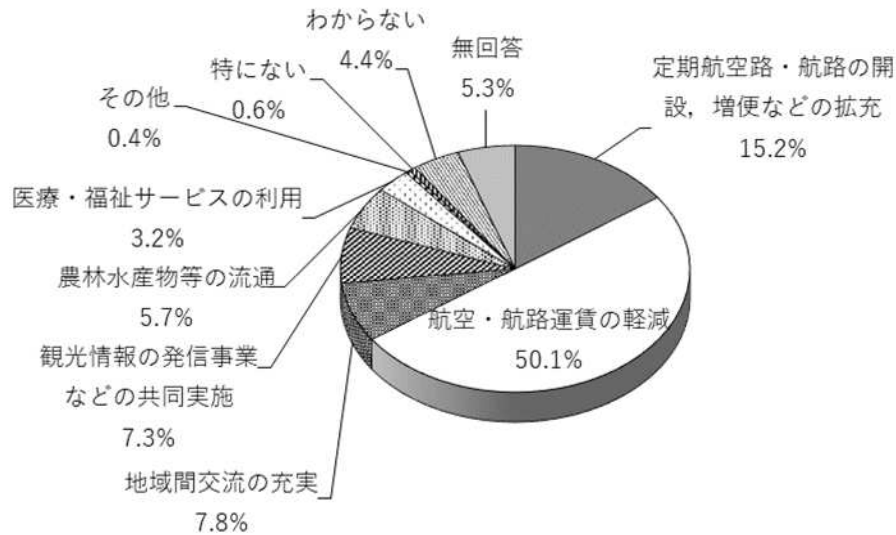
【島の振興にあたり有効な交流・連携先 (N=1,469)】



② ①で選んだ地域との交流・連携を強化するために必要なこと

①で選んだ地域との交流・連携を強化するために必要なことについては、「航空・航路運賃の軽減」が50.1%で約5割を占め最も多く、次いで「定期航空路・航路の開設、増便などの拡充」(15.2%)、「地域間交流の充実」(7.8%)などとなっている。

【①で選んだ地域との交流・連携を強化するために必要なこと (N=1,469)】

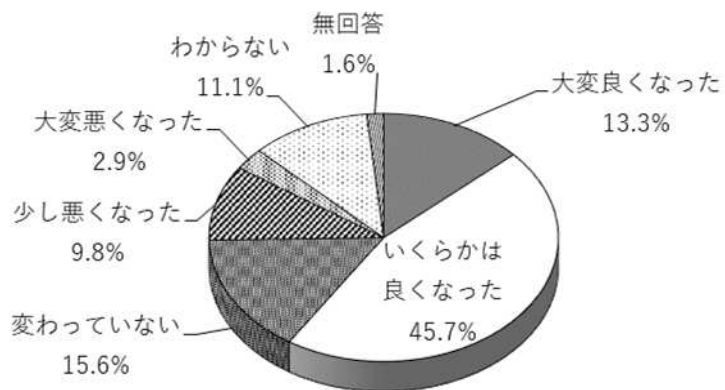


(4) 奄美群島振興開発事業の評価と期待について

① 10年前と比較した島の全体的なイメージの評価

10年前と比較した島の全体的なイメージの評価については、『良くなった』（「大変よくなった」と「いくらかは良くなった」の合計）が59.0%で約6割を占めており、『悪くなった』（「少し悪くなった」と「大変悪くなった」の合計）（12.7%）を大きく上回っている。

【10年前と比較した島の全体的なイメージの評価（N=1,469）】



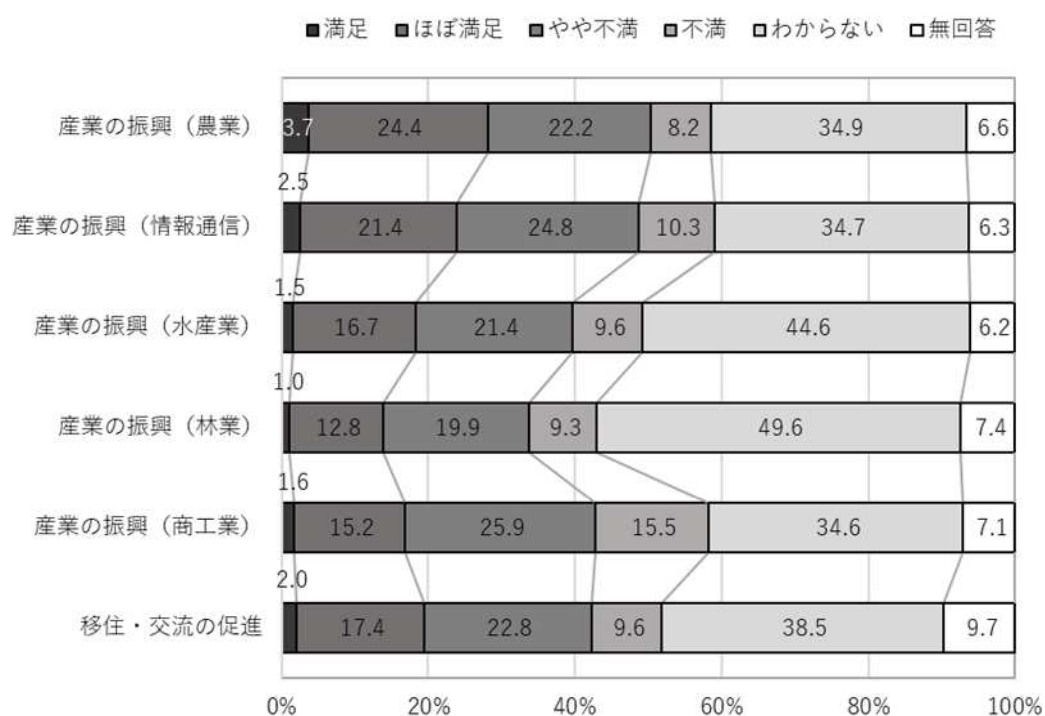
② 奄美群島振興開発事業における定住を促進するための方策についての評価

奄美群島振興開発事業における定住を促進するための方策については、どの方策についても「わからない」が最も多くなっている。

『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）と回答した割合をみると、「産業の振興（農業）」が28.1%で最も多く、次いで「産業の振興（情報通信）」（23.9%）、「移住・交流の促進」（19.4%）などとなっている。

その一方で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した割合をみると、「産業の振興（商工業）」が41.4%で最も多く、次いで「産業の振興（情報通信）」（35.1%）、「移住・交流の促進」（32.4%）などとなっており、どの方策においても『満足』を上回っている。

【奄美群島振興開発事業における定住を促進するための方策についての評価（N=1,469）】



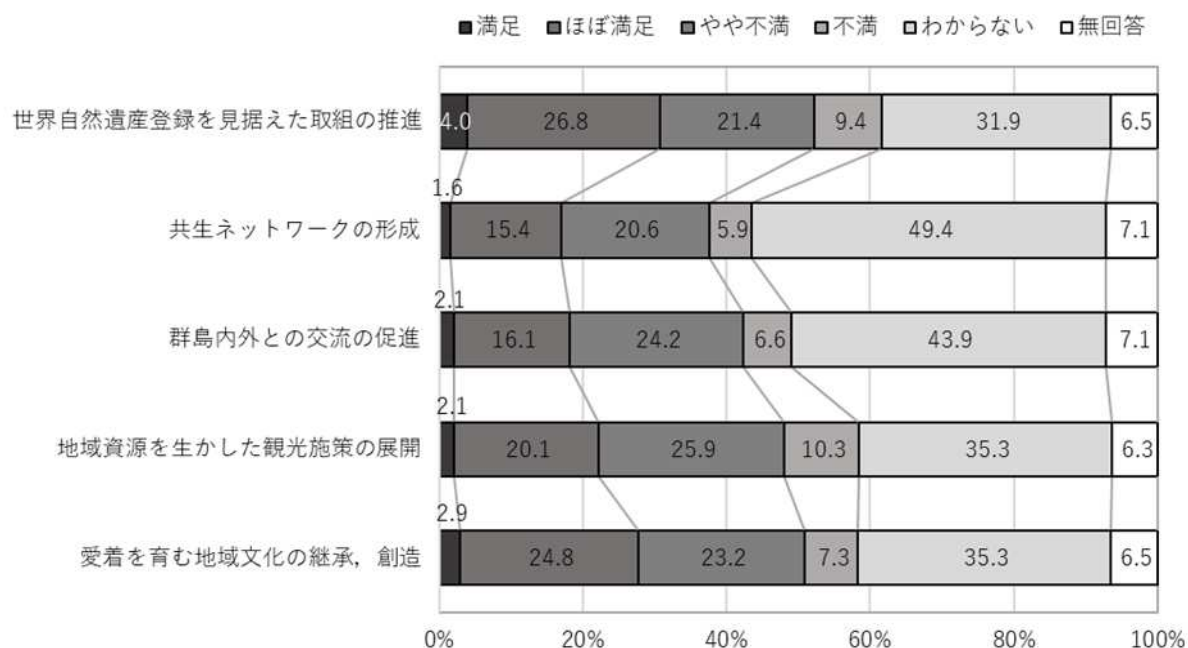
③ 奄美群島振興開発事業における世界遺産登録などを生かした交流拡大のための方策及び滞在型・着地型観光を促進するための方策

奄美群島振興開発事業における世界遺産登録などを生かした交流拡大のための方策及び滞在型・着地型観光を促進するための方策については、どの方策についても「わからない」が最も多くなっている。

『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）と回答した割合をみると、「世界自然遺産登録を見据えた取組の推進」が 30.8%で最も多く、次いで「愛着を育む地域文化の継承、創造」（27.7%）、「地域資源を生かした観光施策の展開」（22.2%）などとなっている。

その一方で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した割合をみると、「地域資源を生かした観光施策の展開」が 36.2%で最も多く、次いで「群島内外との交流の促進」（30.8%）、「世界自然遺産登録を見据えた取組の推進」（30.8%）などとなっており、「世界自然遺産登録を見据えた取組の推進」以外はどの方策においても『満足』を上回っている。

【奄美群島振興開発事業における世界遺産登録などを生かした交流拡大のための方策及び滞在型・着地型観光を促進するための方策（N=1,469）】



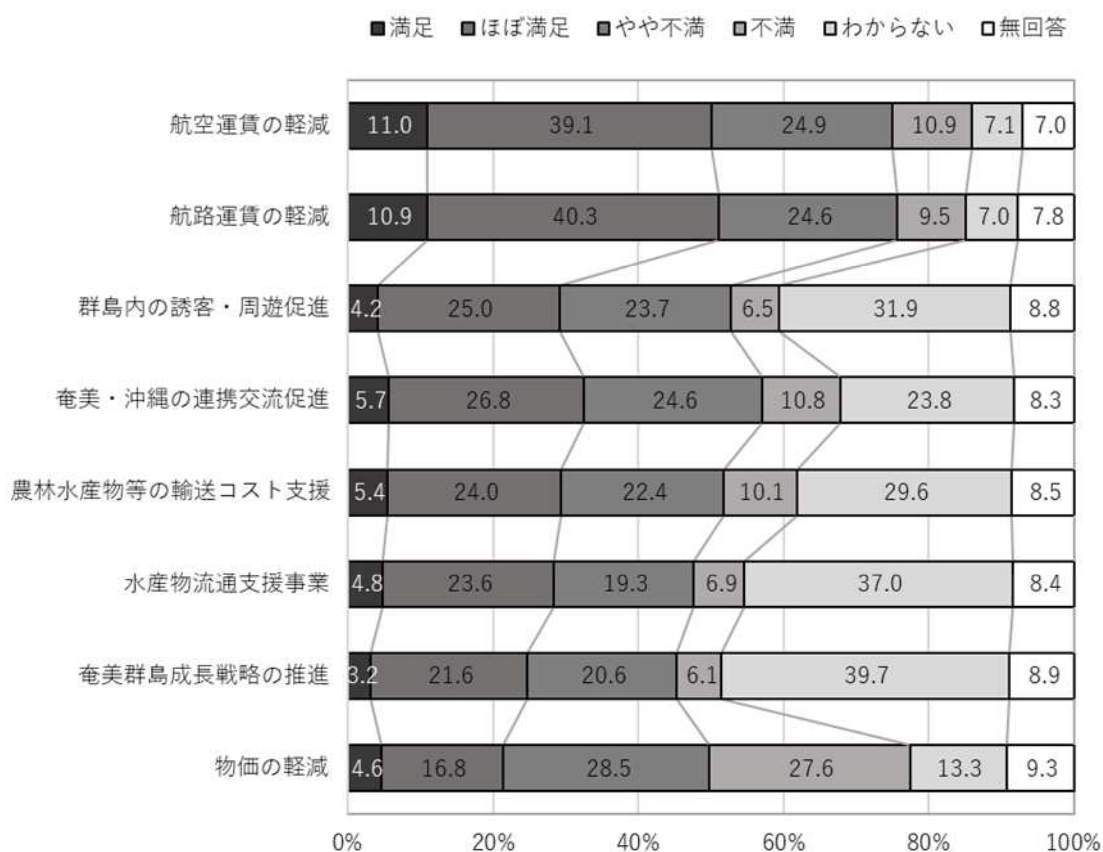
④ 奄美群島振興開発事業における奄美群島が抱える条件不利性の改善（その1）についての評価

奄美群島振興開発事業における奄美群島が抱える条件不利性の改善（その1）について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）と回答した割合をみると、「航路運賃の軽減」が51.2%で最も多く、次いで「航空運賃の軽減」（50.1%）、「奄美・沖縄の連携交流促進」（32.5%）などとなっている。

その一方で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した割合をみると、「物価の軽減」が56.1%で最も多く、次いで「航空運賃の軽減」（35.8%）、「奄美・沖縄の連携交流促進」（35.4%）などとなっている。

なお、「群島内の誘客・周遊促進」、「農林水産物等の輸送コスト支援」、「水産物流通支援事業」、「奄美群島成長戦略の推進」については、「わからない」が最も多くなっている。

【奄美群島振興開発事業における奄美群島が抱える条件不利性の改善（その1）についての評価（N=1,469）】



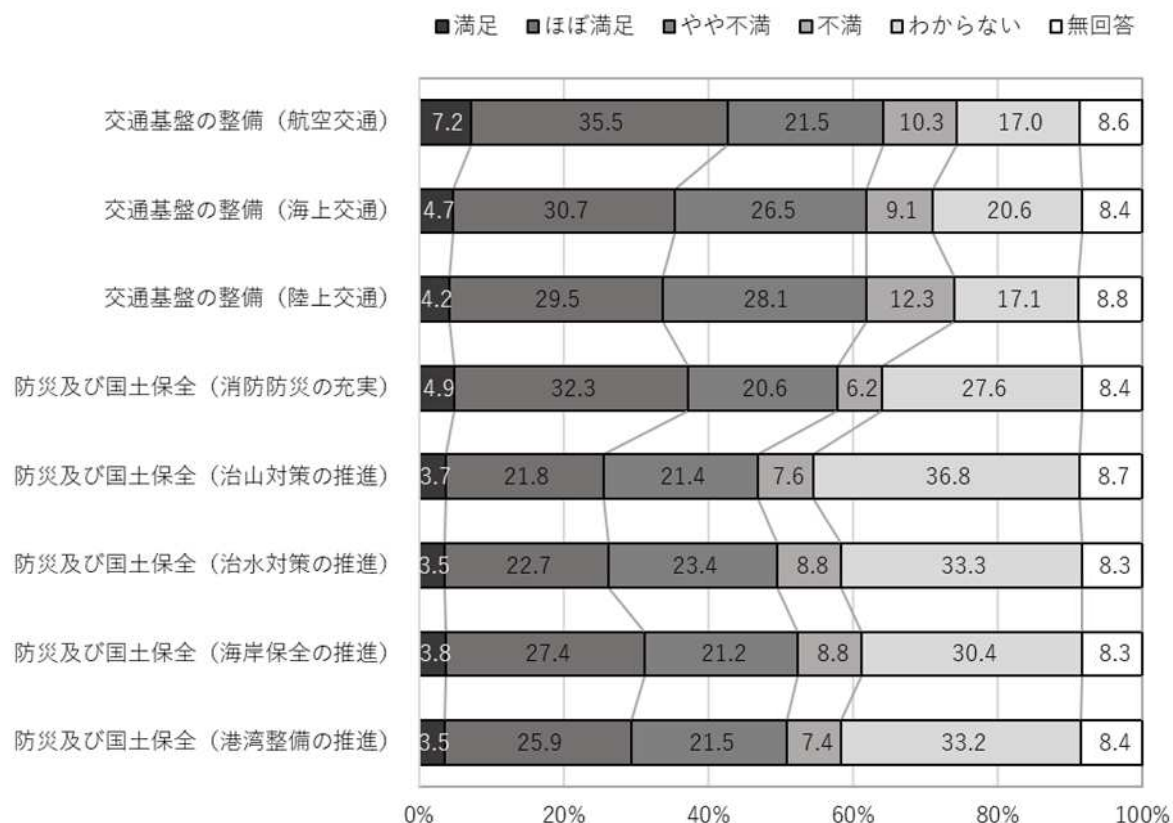
⑤ 奄美群島振興開発事業における奄美群島が抱える条件不利性の改善（その2）についての評価

奄美群島振興開発事業における奄美群島が抱える条件不利性の改善（その2）について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）と回答した割合をみると、「交通基盤の整備（航空交通）」が42.7%で最も多く、次いで「防災及び国土保全（消防防災の充実）」(37.2%)、「交通基盤の整備（海上交通）」(35.4%) などとなっている。

その一方で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した割合をみると、「交通基盤の整備（陸上交通）」が40.4%と最も多く、次いで「交通基盤の整備（海上交通）」(35.6%)、「防災及び国土保全（治水対策の推進）」(32.2%) などとなっている。

なお、「防災及び国土保全（治山対策の推進）」、「防災及び国土保全（治水対策の推進）」、「防災及び国土保全（海岸保全の推進）」、「防災及び国土保全（港湾整備の推進）」については、「わからない」が最も多くなっている。

【奄美群島振興開発事業における奄美群島が抱える条件不利性の改善（その2）についての評価（N=1,469）】



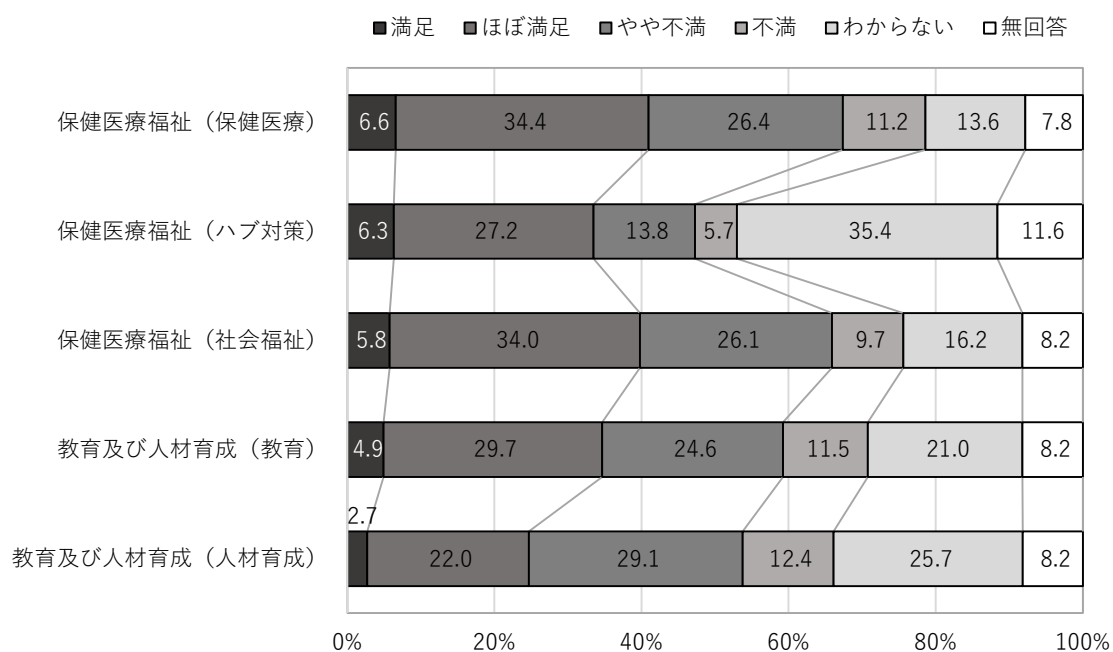
⑥ 奄美群島振興開発事業における奄美群島の生活基盤の確保・充実（その1）についての評価

奄美群島振興開発事業における奄美群島の生活基盤の確保・充実（その1）について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）と回答した割合をみると、「保健医療福祉（保健医療）」が41.0%で最も多く、次いで「保健医療福祉（社会福祉）」（39.8%）、「教育及び人材育成（教育）」（34.6%）などとなっている。

その一方で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した割合をみると、「教育及び人材育成（人材育成）」が41.5%で最も多く、次いで「保健医療福祉（保健医療）」（37.6%）、「教育及び人材育成（教育）」（36.1%）などとなっている。

なお、「保健医療福祉（ハブ対策）」については、「わからない」が最も多くなっている。

【奄美群島振興開発事業における奄美群島の生活基盤の確保・充実（その1）についての評価（N=1,469）】



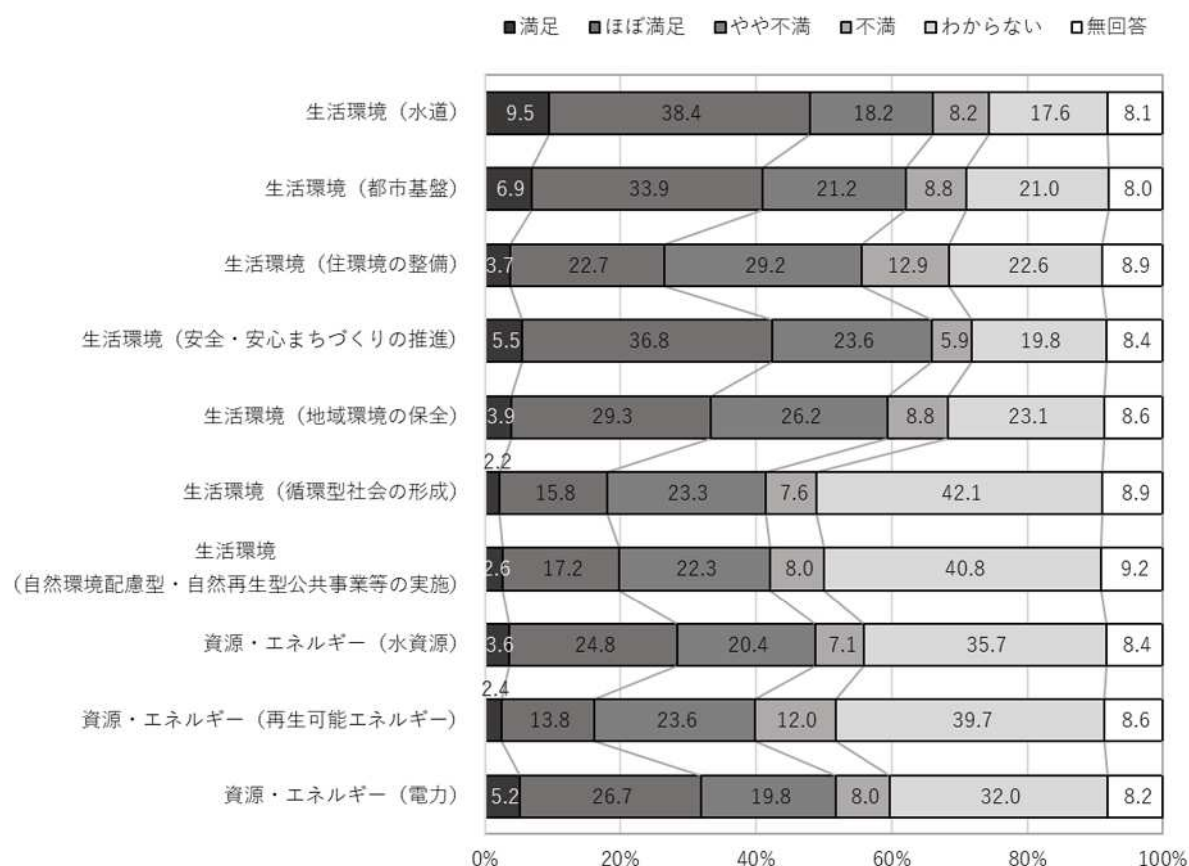
⑦ 奄美群島振興開発事業における奄美群島の生活基盤の確保・充実（その2）についての評価

奄美群島振興開発事業における奄美群島の生活基盤の確保・充実（その2）について、『満足』（「満足」と「ほぼ満足」の合計）と回答した割合をみると、「生活環境（水道）」が47.9%で最も多く、次いで「生活環境（安全・安心まちづくりの推進）」（42.3%）、「生活環境（都市基盤）」（40.8%）などとなっている。

その一方で『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）と回答した割合をみると、「生活環境（住環境の整備）」が42.1%で最も多く、次いで「資源・エネルギー（再生可能エネルギー）」（35.6%）、「生活環境（地域環境の保全）」（35.0%）などとなっている。

なお、「生活環境（循環型社会の形成）」、「生活環境（自然環境配慮型・自然再生型公共事業等の実施）」、「資源・エネルギー（水資源）」、「資源・エネルギー（再生可能エネルギー）」、「資源・エネルギー（電力）」については、「わからない」が最も多くなっている。

【奄美群島振興開発事業における奄美群島の生活基盤の確保・充実（その2）についての評価（N=1,469）】

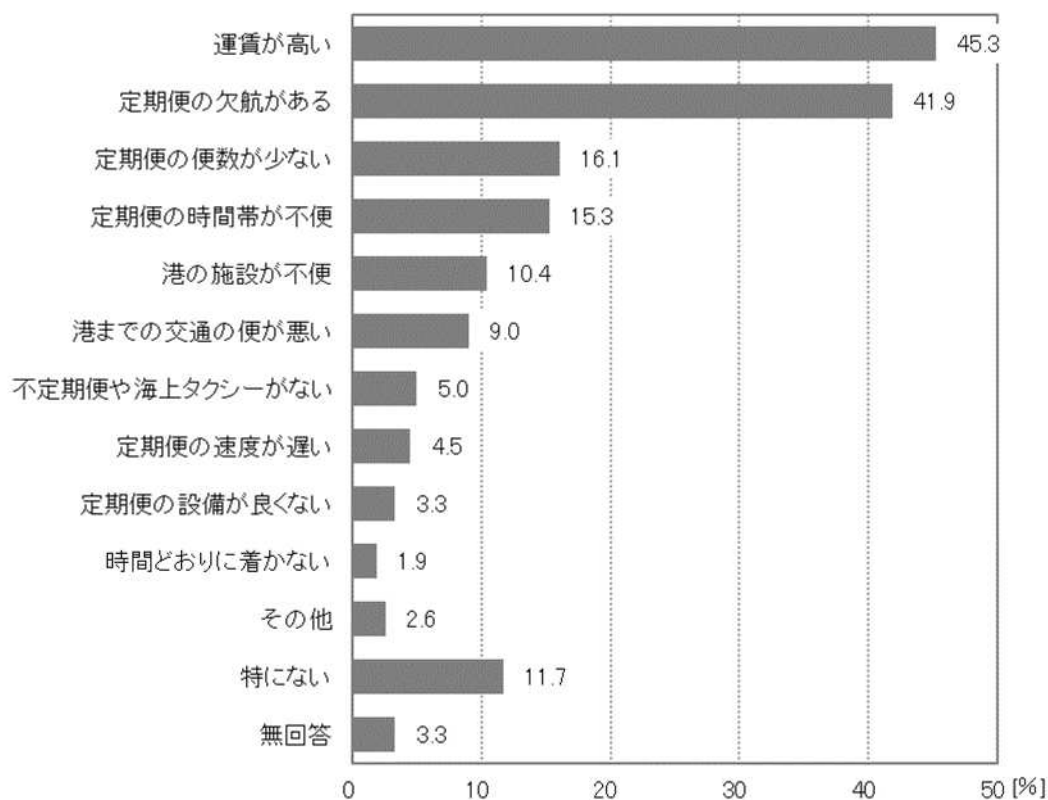


⑧ 島外との交通について

① 海上交通について困っていること

海上交通について困っていることについては、「運賃が高い」が45.3%で最も多く、次いで「定期便の欠航がある」(41.9%)、「定期便の便数が少ない」(16.1%)、「定期便の時間帯が不便」(15.3%)などとなっている。

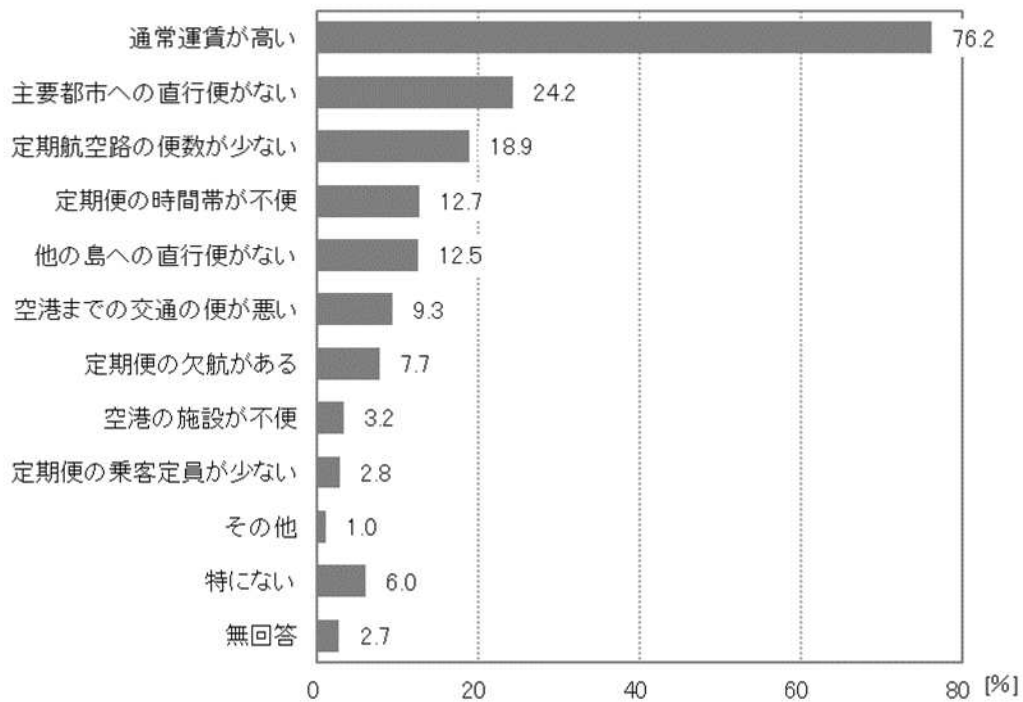
【海上交通について困っていること (N=1,469)】



②-ア 航空交通について困っていること

航空交通について困っていることについては、「通常運賃が高い」が76.2%で突出して最も多く、次いで「主要都市への直行便が少ない」(24.2%)、「定期航空路の便数が少ない」(18.9%)などとなっている。

【航空交通について困っていること (N=1,469)】



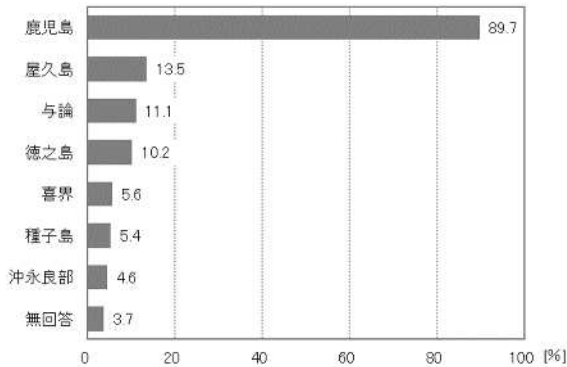
②-イ 居住する島の空港との間の航空運賃について割引を希望する空港

a 鹿児島県内の空港

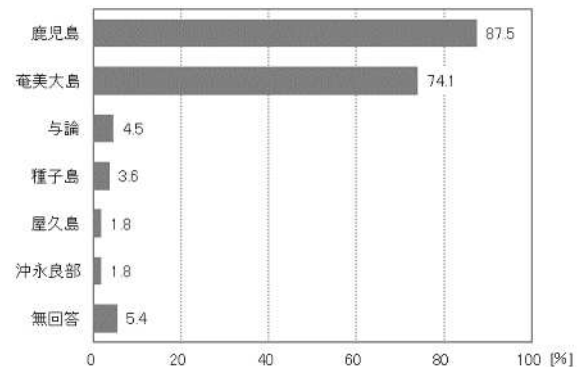
居住する島の空港との間の航空運賃について割引を希望する空港（鹿児島県内の空港）については、どの居住地でも「鹿児島」が最も多く、次いで奄美大島を除く全居住地で「奄美大島」が多くなっている。

なお、奄美大島では「鹿児島」に次いで「屋久島」が多くなっている。

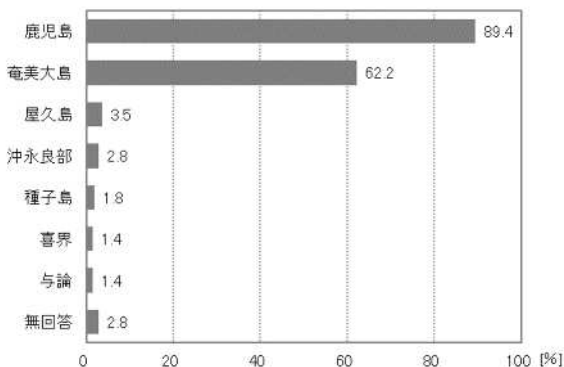
【居住地：奄美大島 (N=783)】



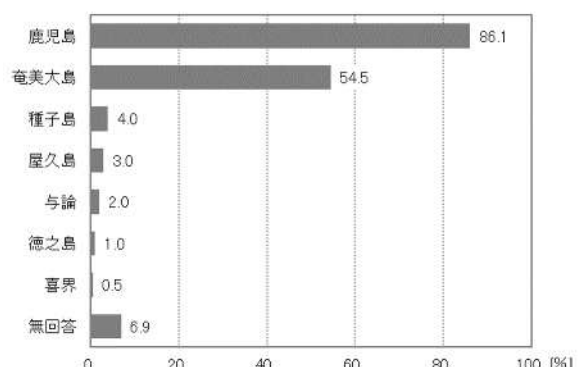
【居住地：喜界島 (N=112)】



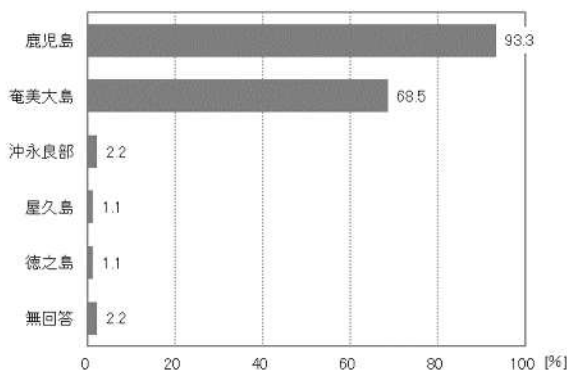
【居住地：徳之島 (N=283)】



【居住地：沖永良部島 (N=202)】



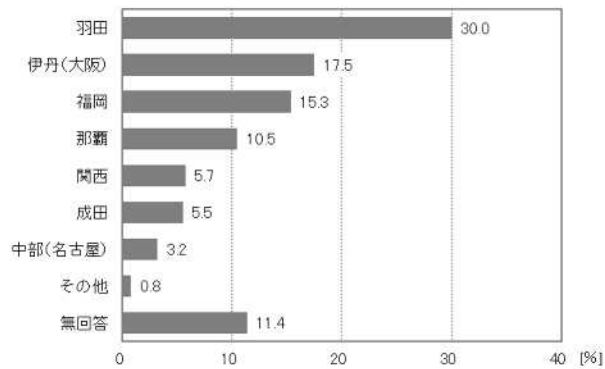
【居住地：与論島 (N=89)】



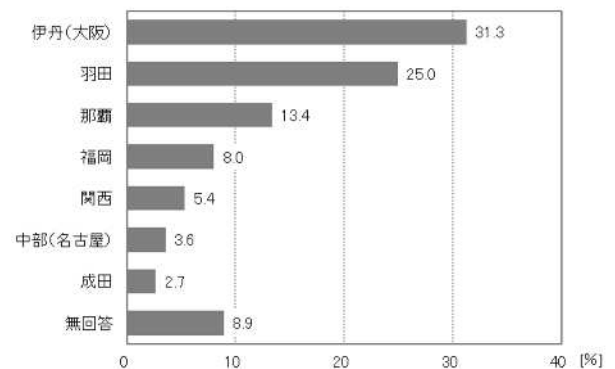
b 鹿児島県外の空港

居住する島の空港との間の航空運賃について割引を希望する空港（鹿児島県外の空港）については、奄美大島では「羽田」、喜界島、徳之島では「伊丹（大阪）」、沖永良部島、与論島では「那覇」がそれぞれ最も多くなっており、居住地によって違いがみられている。

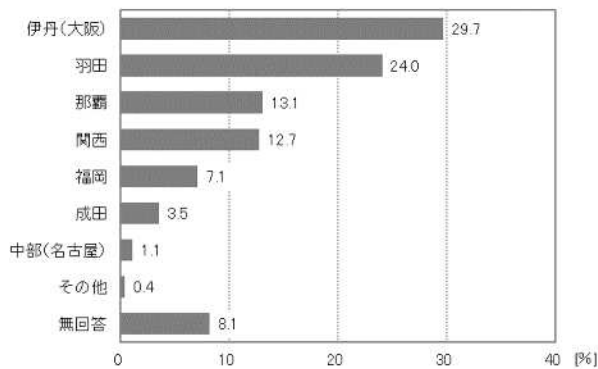
【居住地：奄美大島（N=783）】



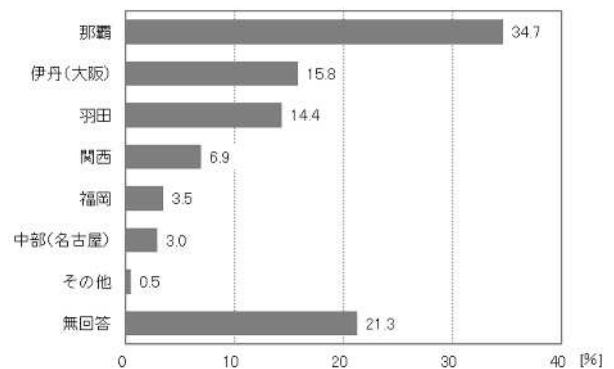
【居住地：喜界島（N=112）】



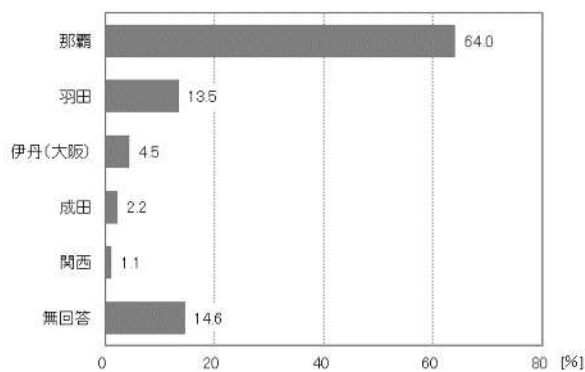
【居住地：徳之島（N=283）】



【居住地：沖永良部島（N=202）】



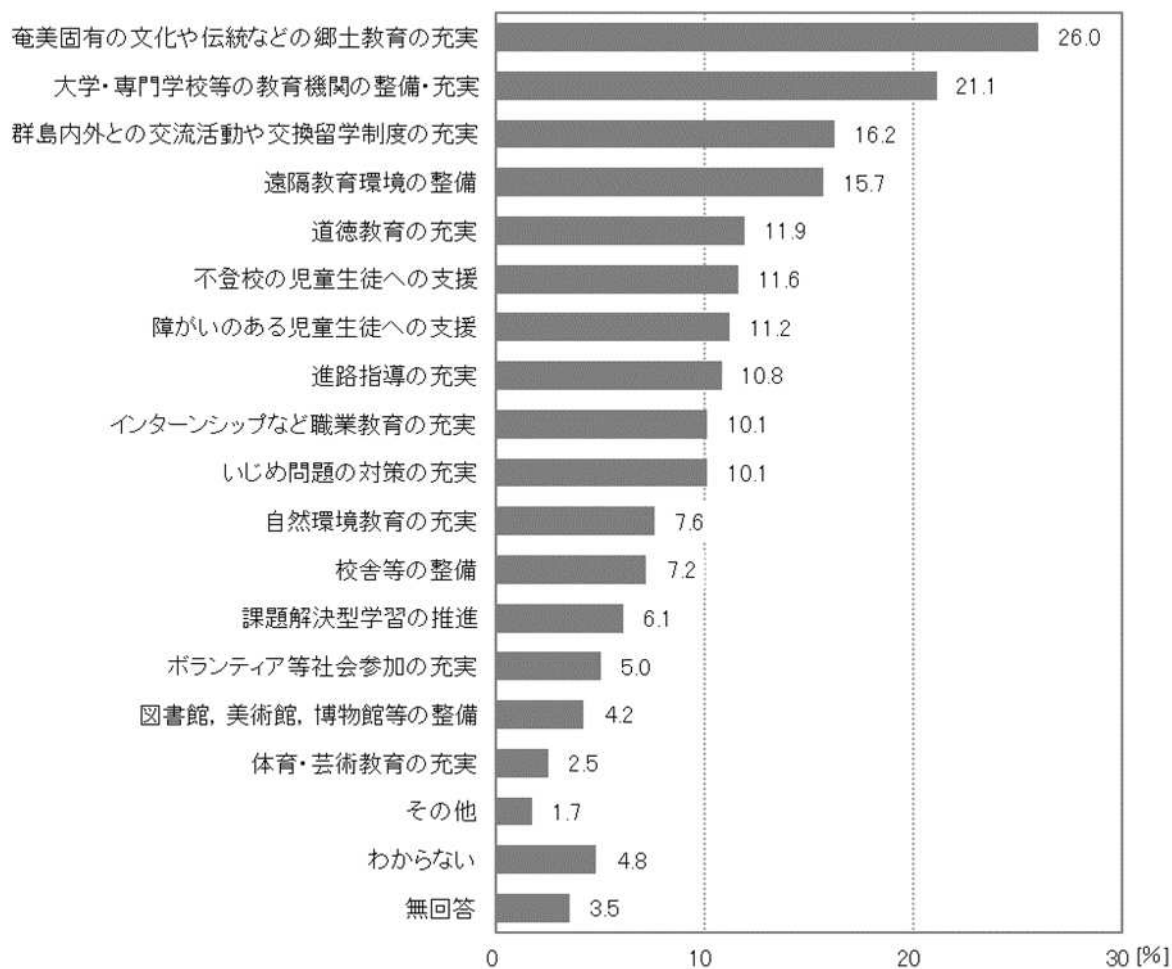
【居住地：与論島（N=89）】



⑨ 今後の教育について重点を置くべきこと

今後の教育について重点を置くべきことについては、「奄美固有の文化や伝統などの郷土教育の充実」が26.0%で最も多く、次いで「大学・専門学校等の教育機関の整備・充実」(21.1%)、「群島内外との交流活動や交換留学制度の充実」(16.2%)、「遠隔教育環境の整備」(15.7%) などとなっている。

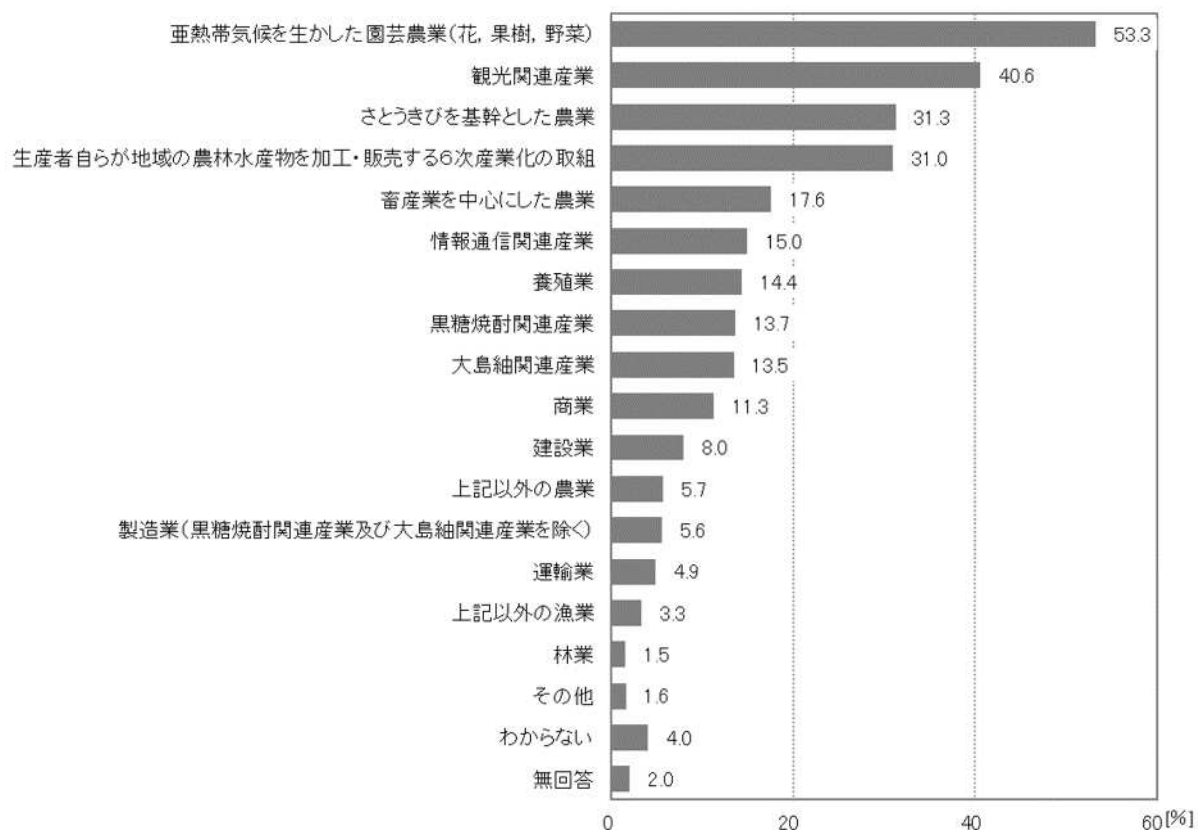
【今後の教育について重点を置くべきこと (N=1,469)】



⑩ 今後の島の発展・振興のために力を入れるべき産業

今後の島の発展・振興のために力を入れるべき産業については、「亜熱帯気候を生かした園芸農業(花, 果樹, 野菜)」が53.3%で最も多く、次いで「観光関連産業」(40.6%)、「さとうきびを基幹とした農業」(31.3%)、「生産者自らが地域の農林水産物を加工・販売する6次産業化の取組」(31.0%)などとなっている。

【今後の島の発展・振興のために力を入れるべき産業 (N=1,469)】



⑪ 今後の島の水産業の振興を図るために力を入れるべきこと

今後の島の水産業の振興を図るために力を入れるべきことについては、「後継者の育成」が29.8%で最も多く、次いで「島外へ出荷する際の輸送コストの軽減」(18.9%)、「種苗の放流や稚仔魚の保護などの栽培漁業の推進」(16.7%)、「水産加工品の開発・商品化技術の向上」(16.1%)などとなっている。

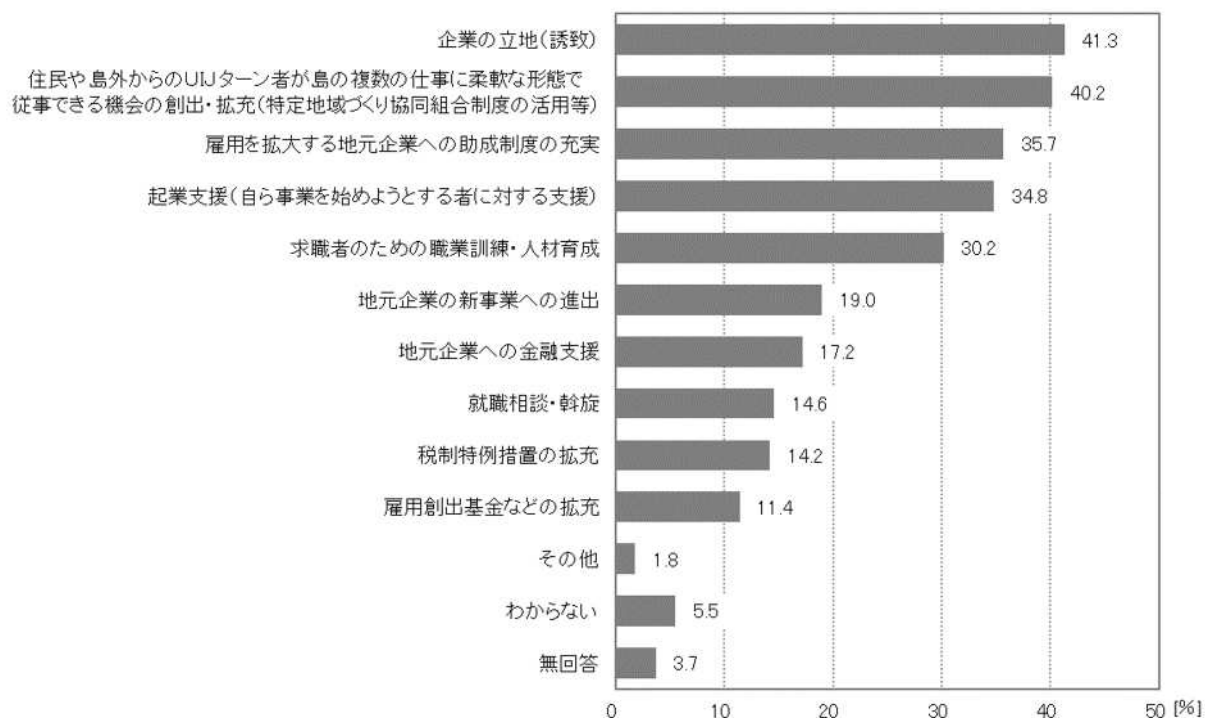
【今後の島の水産業の振興を図るために力を入れるべきこと (N=1,469)】



⑫ 今後の雇用の創出・確保を図るために力を入れるべきこと

今後の雇用の創出・確保を図るために力を入れるべきことについては、「企業の立地（誘致）」が41.3%で最も多く、次いで「住民や島外からのU I J ターン者が島の複数の仕事に柔軟な形態で従事できる機会の創出・拡充（特定地域づくり協同組合制度の活用等）」（40.2%）、「雇用を拡大する地元企業への助成制度の充実」（35.7%）、「起業支援（自ら事業を始めようとする者に対する支援）」（34.8%）などとなっている。

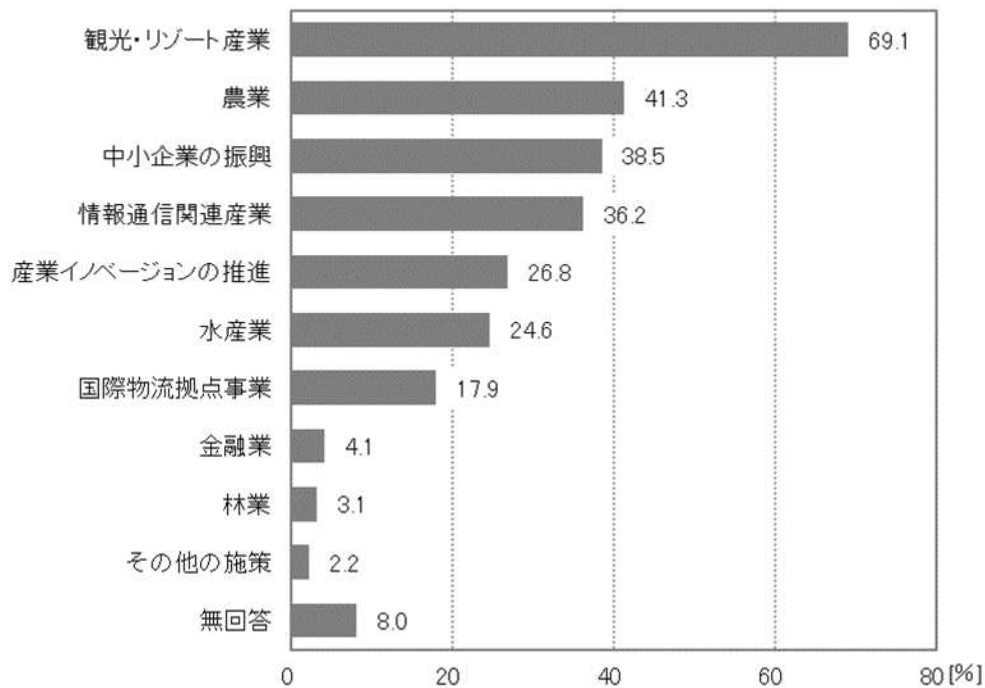
【今後の雇用の創出・確保を図るために力を入れるべきこと（N=1,469）】



⑬ 沖縄県の振興施策のうち、奄美群島においても対等な競争をするために力を入れて支援すべきと考える施策

沖縄県の振興施策のうち、奄美群島においても対等な競争をするために力を入れて支援すべきと考える施策については、「観光・リゾート産業」が69.1%で約7割を占め最も多く、次いで「農業」(41.3%)、「中小企業の振興」(38.5%)、「情報通信関連産業」(36.2%) などとなっている。

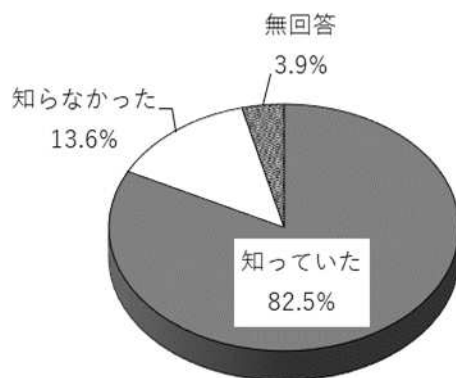
【沖縄県の振興施策のうち、奄美群島においても対等な競争をするために力を入れて支援すべきと考える施策 (N=1,469)】



⑭ 世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度

世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度については、「知っていた」が82.5%で8割を超え、「知らなかった」は13.6%となっている。

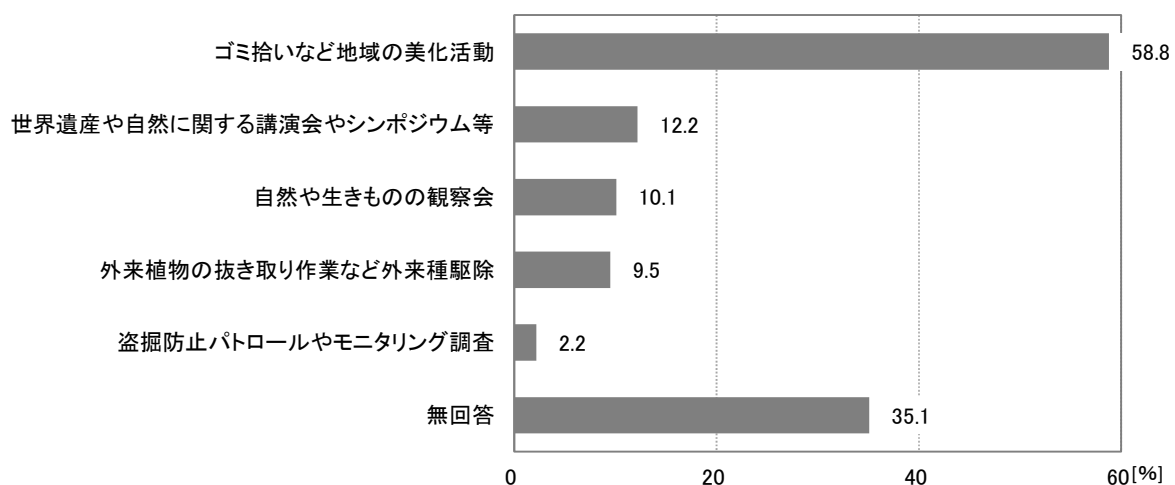
【世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度 (N=1,469)】



⑮ 過去1年間に参加したことがある活動や講演会など

過去1年間に参加したことがある活動や講演会などについては、「ゴミ拾いなど地域の美化活動」が58.8%と突出して最も多く、次いで「世界遺産や自然に関する講演会やシンポジウム等」(12.2%)、「自然や生きものの観察会」(10.1%)などとなっている。

【過去1年間に参加したことがある活動や講演会など (N=1,469)】

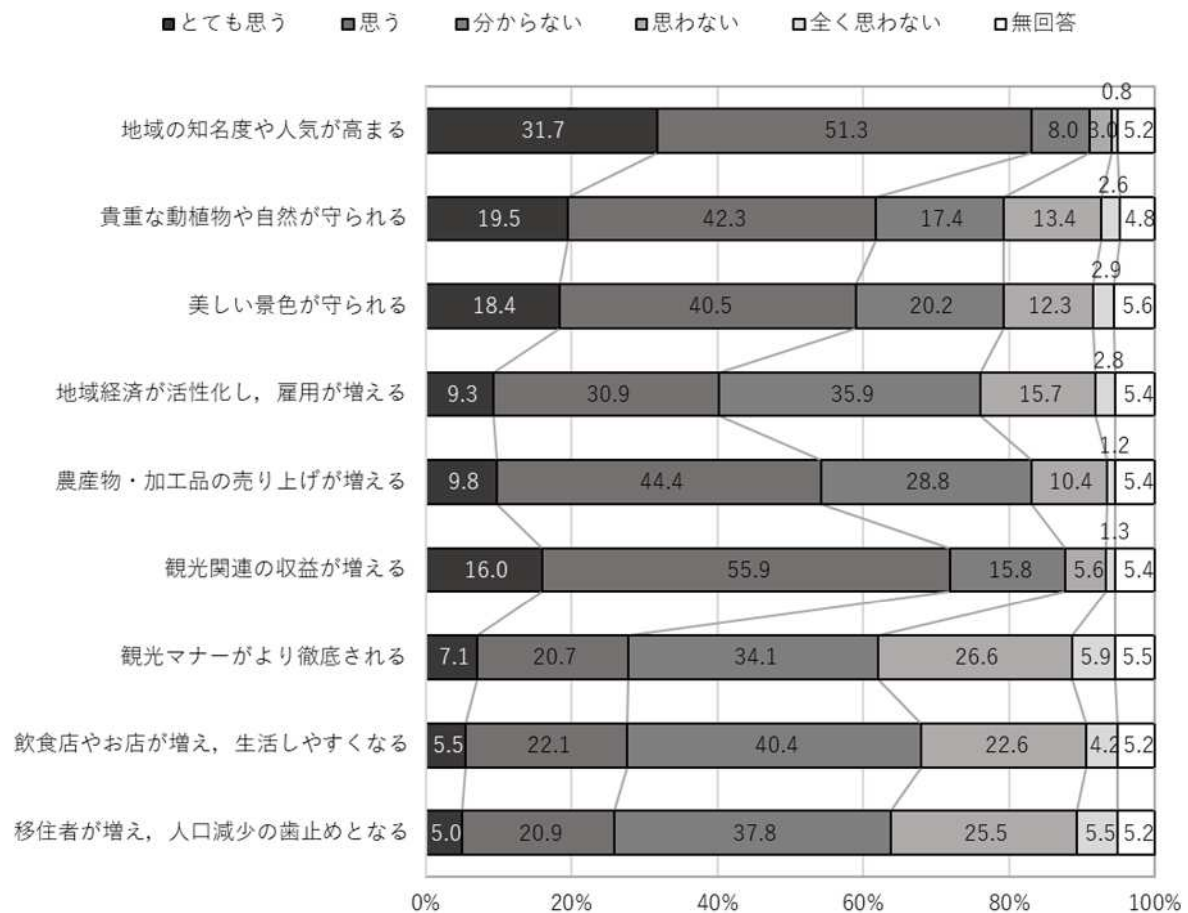


⑮ 奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったことで期待できることについての考え

奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったことで期待できることについて、『思う』（「とても思う」と「思う」の合計）と回答した割合をみると、「地域の知名度や人気が高まる」が83.0%で最も多く、次いで「観光関連の収益が増える」（71.9%）、「貴重な動植物や自然が守られる」（61.8%）などとなっている。

その一方で、「地域経済が活性化し、雇用が増える」、「観光マナーがより徹底される」、「飲食店やお店が増え、生活しやすくなる」、「移住者が増え、人口減少の歯止めとなる」については『思う』が半数を下回り、「分からない」が最多となっている。

【奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったことで期待できることについての考え（N=1,469）】

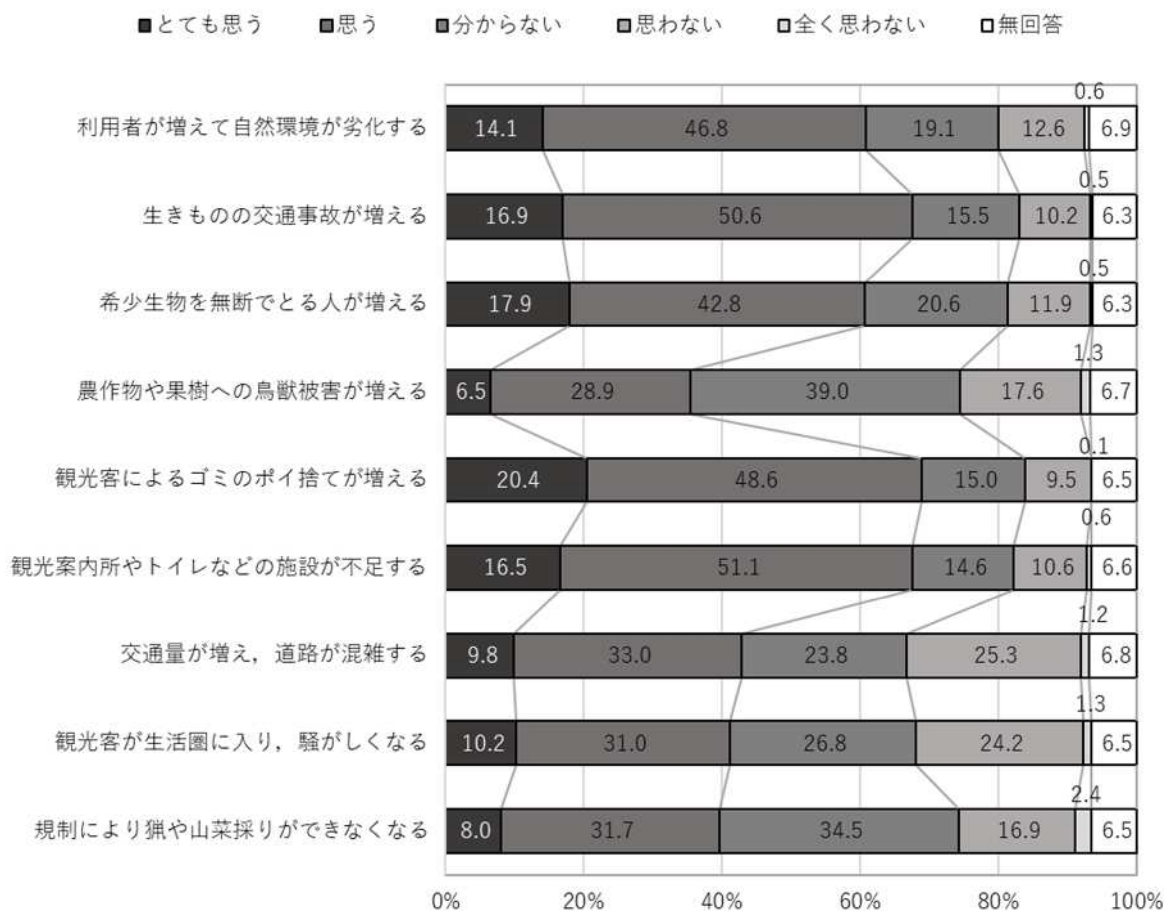


⑩ 奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったために懸念又は心配することについての考え

奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったために懸念又は心配することについて、『思う』（「とても思う」と「思う」の合計）と回答した割合をみると、「観光客によるゴミのポイ捨てが増える」が69.0%で最も多く、次いで「観光案内所やトイレなどの施設が不足する」（67.6%）、「生きものの交通事故が増える」（67.5%）などとなっている。

その一方で、「農作物や果樹への鳥獣被害が増える」、「規制により猟や山菜採りができなくなる」については『思う』が半数を下回り、「分からない」が最多となっている。

【奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったために懸念又は心配することについての考え（N=1,469）】

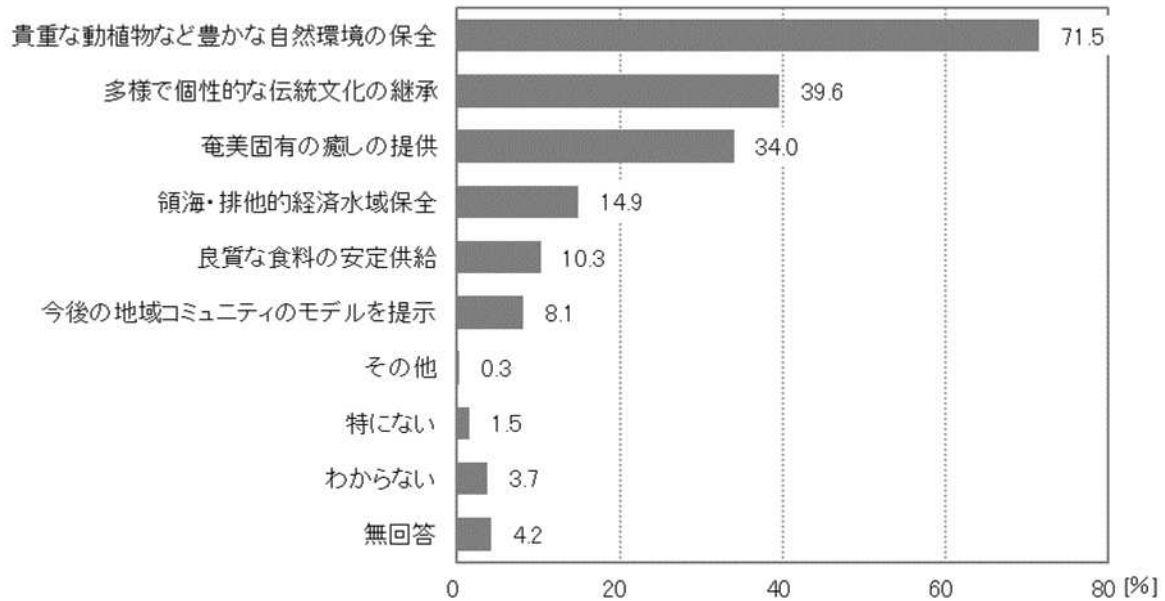


(5) まとめについて

① 日本において奄美群島が果たしている役割又は今後果たすべき役割

日本において奄美群島が果たしている役割又は今後果たすべき役割については、「貴重な動植物など豊かな自然環境の保全」が 71.5%で最も多く、次いで「多様で個性豊かな伝統文化の継承」(39.6%)、「奄美固有の癒しの提供」(34.0%) などとなっている。

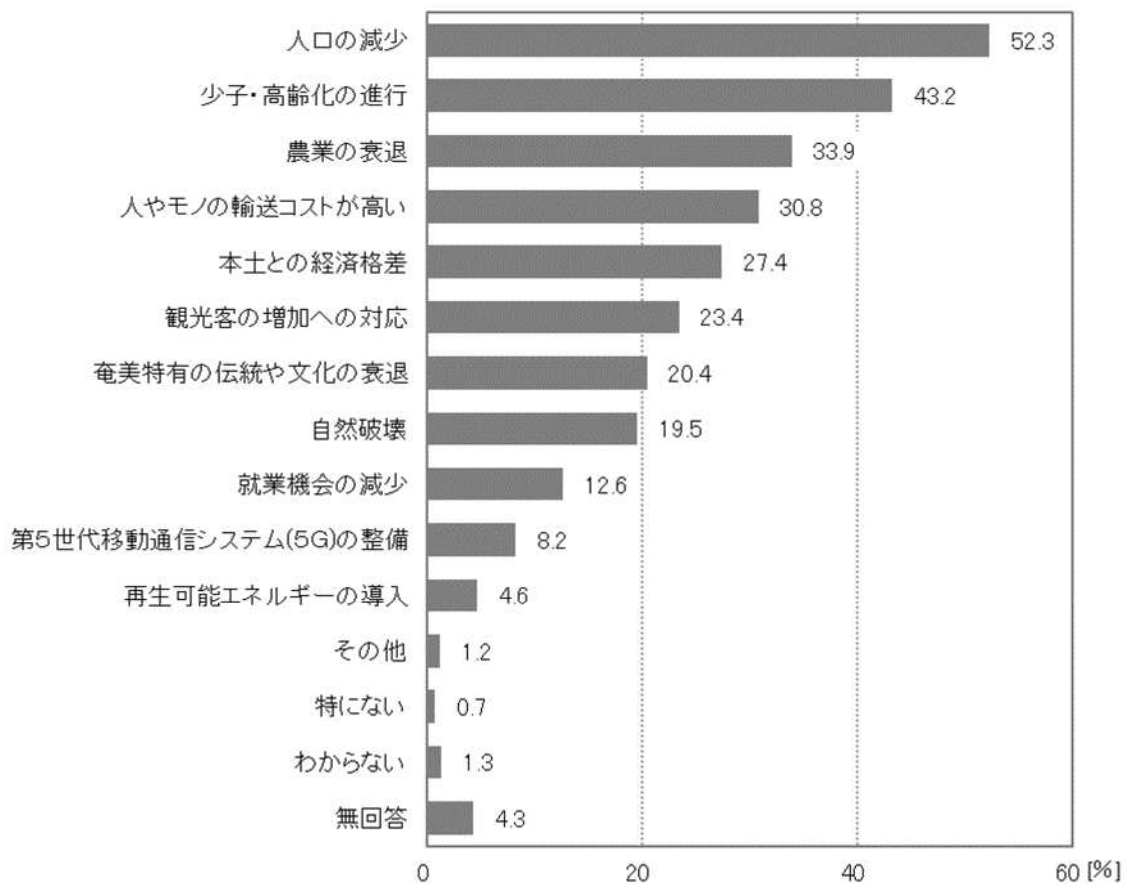
【日本において奄美群島が果たしている役割又は今後果たすべき役割 (N=1,469)】



② 奄美群島の今後の問題点

奄美群島の今後の問題点については、「人口の減少」が52.3%で最も多く、次いで「少子・高齢化の進行」(43.2%)、「農業の衰退」(33.9%)、「人やモノの輸送コストが高い」(30.8%) などとなっている。

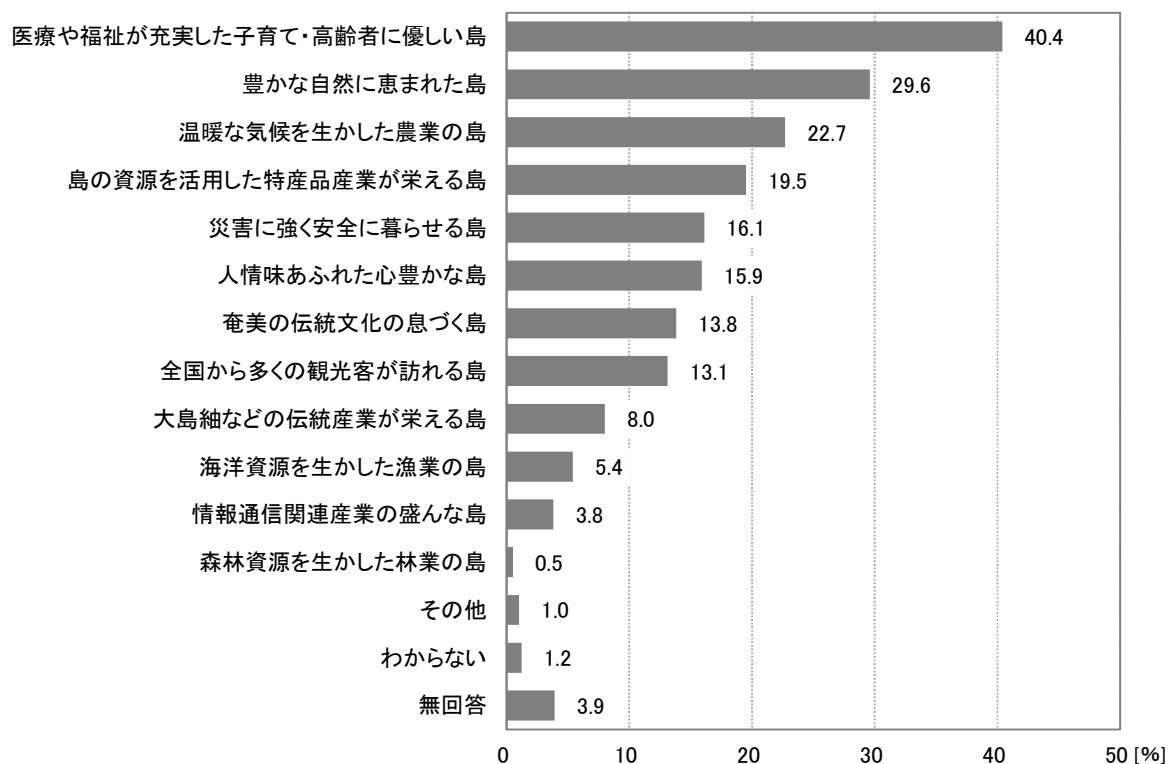
【奄美群島の今後の問題点 (N=1,469)】



③ 奄美群島の将来の姿の希望

奄美群島の将来の姿の希望については、「医療や福祉が充実した子育て・高齢者に優しい島」が40.4%で最も多く、次いで「豊かな自然に恵まれた島」(29.6%)、「温暖な気候を生かした農業の島」(22.7%)、「島の資源を活用した特産品産業が栄える島」(19.5%)などとなっている。

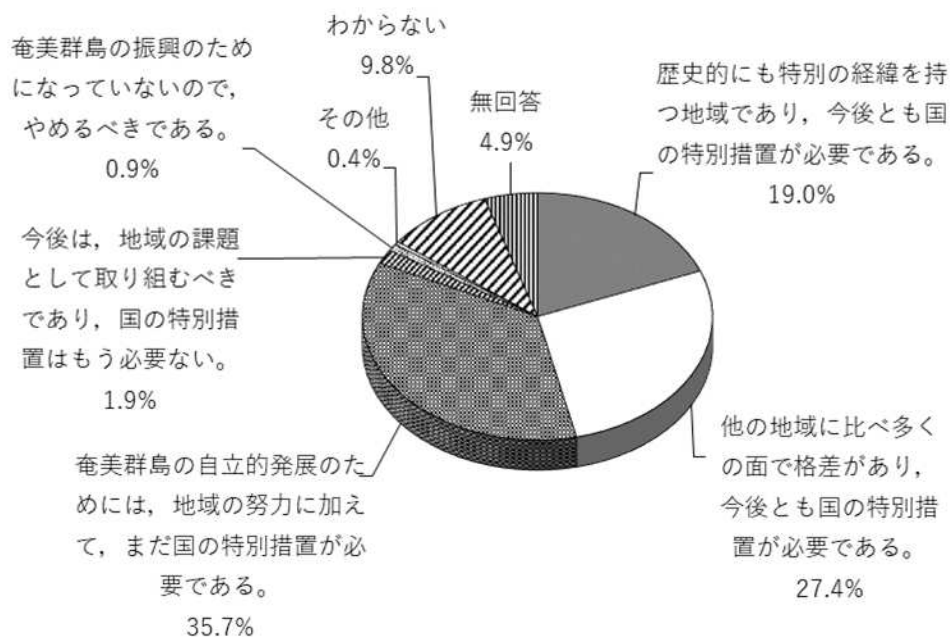
【奄美群島の将来の姿の希望 (N=1,469)】



④ 奄美群島振興開発特別措置法についての考え

奄美群島振興開発特別措置法については、「奄美群島の自立的発展のためには、地域の努力に加えて、まだ国の特別措置が必要である。」が35.7%で最も多く、次いで「他の地域に比べ多くの面で格差があり、今後とも国の特別措置が必要である。」(27.4%)、「歴史的にも特別の経緯を持つ地域であり、今後とも国の特別措置が必要である。」(19.0%)などとなっており、これら3項目を合計した『国の特別措置が必要である』が82.1%と8割を超えている。

【奄美群島振興開発特別措置法についての考え (N=1,469)】

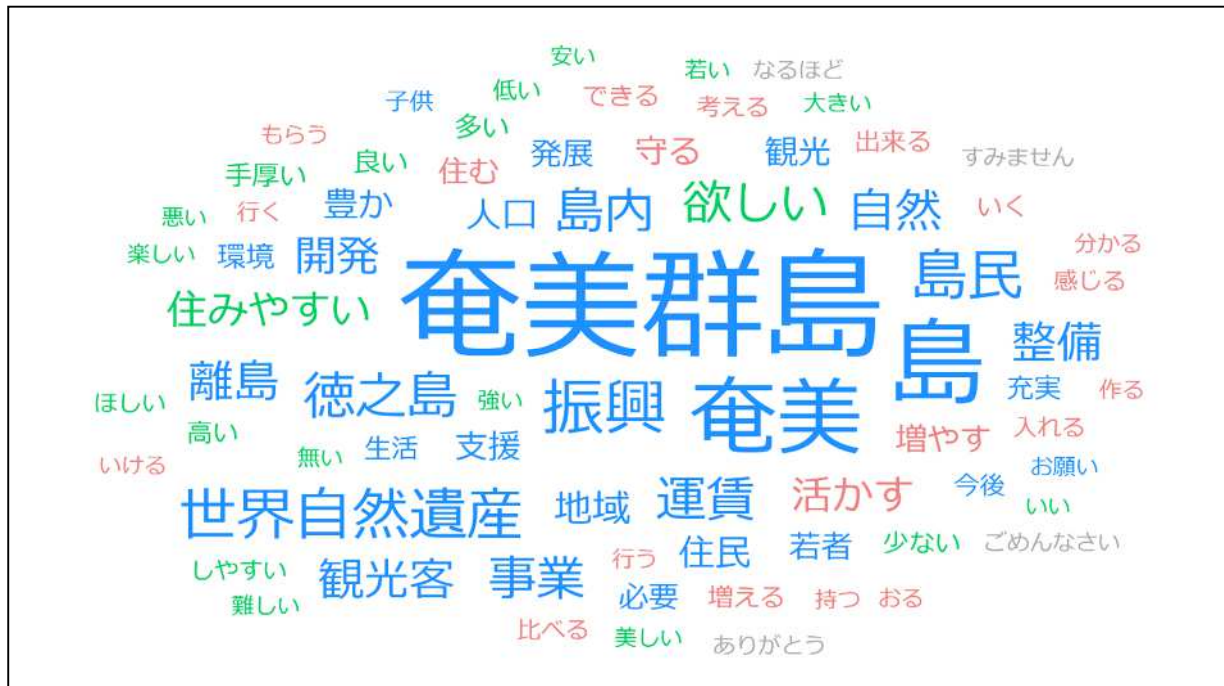


⑤ 奄美群島の振興開発についての意見・提言

奄美群島の振興開発についての意見・提言として、以下のことなどが挙げられている。

【奄美群島の振興開発についての意見・提言】

○テキストマイニングによる分析結果（ワードクラウド）



注1：ワードクラウドは、スコアが高い言葉を選び出し、その値に応じた大きさで図示したもの。名詞は青色、動詞は赤色、形容詞は緑色。

注2：スコアとは文章の中でどれだけ特徴的かを点数化したもの。通常は単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」等のような種類の文章にも現れる単語はスコアが低めになる。

ツール：ユーザーローカル テキストマイニングツール（<http://textmining.userlocal.jp/>）

○具体的な意見・提言

- ・いつまでも自然と共生できる、心豊かな島であり続けて欲しい（伊仙町、男、50歳代）。
- ・高齢化社会に向け、福祉施設の充実が必要だと思います（伊仙町、男、60歳代）。
- ・航空運賃、ガソリン代の軽減をして欲しい（伊仙町、男、60歳代）。
- ・カムイヤキの場所について、甕を焼く窯がどういう状態なのか現状では分からない（伊仙町、男、70歳代以上）。
- ・自然を活かしたタンカンの生産（町で公社を作る）。そして太田布岳の5合目くらいまでの草を刈り、そこへタンカンを植えて大きなミカン園を作り産業を興す。その際は必ず防風林として大きな樹木は残し、自然を壊さない様にする。昔は島を出る人が多かったが、今になって島に帰りたい人がたくさんいます。年を取って年金暮らしの人が自然の中で暮らせるヘルスセンターを作り、余生を過ごしてもらおう。やり方によっては若い人も増えるのではないだろうか（伊仙町、男、70歳代以上）。
- ・豊かな自然環境をいつまでも持続させて欲しい（伊仙町、男、70歳代以上）。
- ・物資、物流は生活する上で何も不自由なく、いつも感謝しています。徳之島の恵まれた大自然と過ごす時間は都会から来た人にとって本当に癒しの時間であり、このままの状態を残していくためにボランティア活動に参加したいと思っています。奄美群島だから出来る特産物・伝統文化を今の子供達に伝えていく時間、人がとても大切だと思います（伊仙町、女、30歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・ 都会から離島に嫁いできて13年になりましたが、いまだに医療機関（小児科、耳鼻咽喉科等）に不安を感じています。高齢化問題もあり、都会に比べ不利・不便な点が多くあります。賃金は低いのに物価、航空運賃、ガソリン代等の高さにも驚いています。子供の遠征費も陸続きだと絶対そんなにかからないような金額がかかります。どこに行くのにもお金がかかり、快適な生活は出来ません。振興開発は自然や伝統、文化の維持のために必要なものと重々承知していますが、子供や高齢者の未来のための支援もして欲しいです。どうかよろしく願います（伊仙町、女、40歳代）。
- ・ 群島内在住者には離島割引があるが、身内や子供達が一旦島を離れた場合、帰省したくても運賃が高くてなかなか帰省出来ない。本籍が群島内にある場合は離島割引を適用しても良いのではないのでしょうか。群島出身者が帰省しやすいようにして欲しい（伊仙町、女、50歳代）。
- ・ 豊かな自然や海が奄美群島の魅力だと思います。より観光業に力を入れていくと、雇用や奄美群島へのIターン者増加へ繋がると思います。インスタグラム等のSNSを利用して南国の隠れリゾート感を出していくと、沖縄の離島等に行きつくしていたり、新たに旅行地を開拓したい人の目に留まり、もっと奄美群島が盛り上がるのではないかと思います（伊仙町、女、60歳代）。
- ・ 毎日何も困らずに生活出来ています。皆さまのお考えで、更にこの島を大きく育ててくださることを祈っています。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます（伊仙町、女、70歳代以上）。
- ・ 奄美群島振興開発事業によって、大幅に道路が整備されてきたと思う（伊仙町、女、70歳代以上）。
- ・ 農林水産業の底上げに力を入れて欲しい。農業・漁業等で収穫した物を生産販売し、経済活動に活かせるような設備等の環境づくりを考えて欲しい（宇検村、男、60歳代）。
- ・ 奄美群島開発特別措置法が制定されてもう70年にもなるのかと思います。国も県も大変頑張っていると思いますが、地域が元気になるために一番解決しないといけないのは人口減の問題です。70年間も言い続けているのにこの『人口減』は一向に改善されていない。今も人口が減り続けています。これはどういうことなのでしょう。皆で真剣に取り組んでもらいたいです。人口が増加すれば色々な方向に波及して、自然と奄美は良くなると思います。人口減の問題さえ解決すれば奄美は絶対良くなると思う。奄美の発展を遅らせているのはこの『人口減』ですよ。お互いに頑張りましょう（宇検村、男、70歳代以上）。
- ・ 老人ホームに勤めていますが、人手不足が深刻化しています。東京や大阪で職探しをしている方々と島を繋ぐ方法を考えて欲しいです（宇検村、女、40歳代）。
- ・ 道路工事の際の片側通行の信号の位置は、もう少し手前から看板等で告知するようになっていただきたい。工事現場直前にしか看板がないが、カーブ付近等はずっと手前に告知の看板があった方が安全だと思います。トンネル内は暗いイメージになるので、壁に希少動物や奄美の自然、植物のイラストを描いたりしたら楽しいトンネルになるのではないのでしょうか。長いトンネルには『トンネル名』の表示があればいいなと思います（子供も読める様に平仮名やアルファベットで）（宇検村、女、50歳代）。
- ・ 物価高のため節約が必要になれば、生活が困難になります。人口減少が進むと他の都市からの観光客も減ります。高齢化社会なので充実したサポートをお願いします（宇検村、女、60歳代）。
- ・ 運賃の値下げや輸送コストの低減への支援がまだまだだと思います。空港まで距離がある所に住んでいる人へは還元されていません。島から荷物を送る時のコンテナ料金を安くして欲しいです（宇検村、女、60歳代）。
- ・ 自然とうまく付き合い、豊かな生活を守る方が難しさを感じます（宇検村、女、70歳代以上）。
- ・ 大島紬産業が以前の様に活気づけばいいなと思います（宇検村、女、70歳代以上）。
- ・ いつまでも県や国の特別措置に頼らない方が良いでしょうが、離島という点から、特に燃料費や物価が本土より高いのが悩みです。高齢化が進んでいることも不安ですので、もうしばらくは特別措置をお願いして欲しいです（宇検村、女、70歳代以上）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・ ①地域ごとに、学校に地域の有識者・著名人を招いて、奄美群島の成り立ち・歴史（戦前・戦後）・伝統文化（衣食住・方言・島唄）を発信できる講演会、または授業を取り入れて欲しい（奄美大島の知識・文化を周知し、島外に出ても奄美ブランドを発信できるようにする為）。②急激に人口が減少している奄美群島内に踏みとどまり、奮闘している若年者・子育て世代（元々から島在住者・Uターン者＞Iターン者）に手厚い保障・補助金の拡大を実行していただきたい（人口維持、島外に出る選択肢を減らす為）（奄美市、男、20歳代）。
- ・ 語学教育の推進（書く読むより話す聴く教育へ）。郷土のことを違う言語で発信することにより、より郷土について誇りを持ち、世界に出ても自信を持って故郷を語ることができる人材作りをする。世界中にある世界自然遺産の地域との交流。島外で活躍する20～30代の人との積極的交流。島外の学生とオンラインで繋ぐ（島からでも大きな可能性を持ってほしい）。Iターン者へ向けた島の文化・歴史・自然の発信。島民（学生だけでも良い）はマリンスポーツ（ダイビングやカヤック、トレッキング等）や島でのイベントを無料参加出来る様にする。様々な自然・歴史・文化に触れ、島外でものびのびと奄美を発信し、友人・知人を招き、将来は奄美で知恵を活かしてくれるように教育する。沖縄県において新興している観光・リゾート産業については、便利になるのではなく不便でも楽しめる観光を支援すべき（奄美市、男、20歳代）。
- ・ 若者の島離れが心配。島に残っていてもキャリアプランが組めるよう、仕事のスキル向上が出来る施策が必要。更に、島外でスキルを学んだ者と島内でスキルを学んだ者に格差が生じないように支援することも必要。島で働いてきた者が不遇な扱いを受けないようにして欲しい（奄美市、男、20歳代）。
- ・ 奄美群島をもっと住みやすい素敵な場所にするために、色々な面の利点・欠点を洗い出し、欠点を無くしていける様に努力して欲しい（奄美市、男、20歳代）。
- ・ 今後、コロナ対策は緩和の方向へ舵を取るの、より振興開発は重要になり得ると考える。そのため、在住者への振興開発の認知、波及を推進し、奄美群島全体での取り組みになる事を期待します（奄美市、男、20歳代）。
- ・ 子育てや、仕事・事業に対する若年層への支援が少し薄い感じがするので、充実して欲しいと思う。自然と人が集まる活気ある群島になればと考えます。限られた環境、限られた人材の中で、1人1人が最大限の力を発揮するためには教育の充実（マネーリテラシーや情報教育）が欠かせないものだと思います（奄美市、男、30歳代）。
- ・ 奄美市の取り組みをこれからも応援しています。観光客増加＝島が豊かになる、というのは一部だけ。まずは市民の生活への助成を拡大して欲しい。子育てに関する支援はとても助かっています（奄美市、男、30歳代）。
- ・ 島外から通勤し1番不満に感じていることは交通マナーの悪さです。路上駐車、交差点や横断歩道付近の停車、バイクが路側帯から車を追い抜く等。本来道交法違反であることが島では当たり前になっており警察も取り締まらないことに疑問を感じる。島外から観光客が来た際に悪いイメージをいただきかねません（奄美市、男、30歳代）。
- ・ 地域住民より観光客のためにお金が使われているような気がします。住む人に厳しい、遊びに来る人に優しい島。観光業に従事する方の給料は他の業種に比べて低い傾向にあります。さらに土日祝日などが仕事になり、地域の伝統行事や集落の奉仕作業などにも出られなくなり、子供たちとの時間も減る傾向にあります。これが島のためですか？島の文化や自然を安売りしていませんか？給与水準が島よりも高いところから観光に来るのですから入島税、レンタカー税、などを導入してください。観光業者からの税収だけに頼らず、直接、観光客からお金を取ってください。島民ファーストでお金を産む振興開発にお金を使ってください（奄美市、男、30歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・自分で見聞きした範囲の卑近な例のみを挙げる形で恐縮ですが、下記の通りです。【コミュニティFMの難聴地域の解消について】奄美大島内のコミュニティFMである『あまみFM (77.7.MHz)』ですが、基地局の整備状況及び地形などの条件から、旧笠利町の屋仁・佐仁地区ではFM電波回線での聴取ができない状況となっています。NPO法人が運営するFMラジオではありますが、こちらの難聴地域の改善について便宜を図っていただきたいと考えております。群島外のコミュニティFMの概況を詳しく存じ上げているわけではないのですが『あまみFM』に関しては、風水害などの災害時や、日常の地域に根差した防災情報の発信などの場面において、半公共的なインフラを担っている場面が多々あります。特に、奄美群島は毎年発生する台風の通過が多い地域であるものの、台風が例年にない強さであったり、全国的な通過コースをたどる場合には、テレビ・ラジオともにキー局からの報道は「奄美群島そっちのけ」の形になってしまいがちです（キー局の報道姿勢を批判する訳ではありませんが、そうなりがちだと感じています）。「現状まさに台風が到来している状況」の時の奄美群島においては、地元の防災・被災、避難情報を発信したり被災者に寄り添った番組作りを行ってくれるコミュニティFMの存在は市民にとって大変心強い存在であると考えております。あまみFMはインターネットでのサイマル放送も行っているのですがそれが代替になるのではという意見もあるかとは思いますが、インターネットを使いこなすことのできない年配の方がまだまだ多いことや、スマホでのサイマル放送の受信における通信には個人での費用がかかってしまう事などから、平易に通信費がかからない形での受信が行えるよう、基地局の整備等に助力いただければと考える次第です。（離島群島ですので、平時からのインターネット環境の増強には常に望ましいものではありません）（奄美市以外の各自治体内のコミュニティFMについては、勉強不足で難聴地域の有無については把握できておりません）副次的な効果としては、群島内に滞在中の観光客の方もラジオでコミュニティFMが受信できれば、折悪く台風被災した際にも地域の情報にアクセスしやすいのでは（奄美市、男、30歳代）。
- ・独身や単身の方が居住できる住宅がほとんどありません（奄美市、男、40歳代）。
- ・この特別措置法の重要性を民間事業者や市民が理解していないことがある。様々な対応を行っている行政側も限界があり、積極的なPFI・PPPの活用が求められる。全てを行政頼みの社会構造から市民・民間企業主体の事業実施へ少しずつ変更していく事により、この特別措置法の活用、また、期限切れ後の奄美の将来が築けることとなるのではないのでしょうか？（奄美市、男、40歳代）。
- ・世界自然遺産になったことで観光業界は潤うだろうが、住んでいる人々は迷惑することが多いと思う。訪れる人達にはマナーをしっかりと守って行動して欲しい（奄美市、男、40歳代）。
- ・離島という地理的に不利な中で鹿児島の一部とするのであれば、鹿児島並みの雇用が必要。島民が住んで楽しめる島であれば、移住者やI・Uターン者も増えるのではないかと。島の自然、文化、特徴を活かした産業の発展が、鹿児島・九州本土並みになることが島の人口増加になると思う。このままでは人口減少で、生活苦にしかならないと思う（奄美市、男、40歳代）。
- ・奄美大島の自然エネルギーをもっと活用して、環境にも良く島民の生活が少しでも良くなると思います。例えば、持続可能な再生エネルギーとして、島のあちこちにある河川を利用した流水による電力の発電等、新しい水力発電事業等の取り組みをして自然を壊さないで開発が出来たら良いと思います。また、ガソリンや軽油等を利用しない車（電気自動車、電動バイク、電動自転車等）に補助を出し島民に利用を促進し、環境に配慮しながら島内で電気を作り、それを利用して生活するモデル都市に奄美群島がなって欲しいです（奄美市、男、40歳代）。
- ・地域格差が大きい（奄美大島本島と他島、奄美市と他町村、市街地や新興住宅地と他地域）。私達の住む名瀬・古見方地区には公園が1つも無い。子供を育てやすい、住みやすい地域であるのにハード面の整備がなされず、税金を同じように払っているのに差がある事への不満を感じている（奄美市、男、40歳代）。
- ・何でもコンクリートで埋め立てれば安心という考えはやめていただきたい（奄美市、男、40歳代）。
- ・排他的気質の改善が必要かと思えます。フェリー旅が流行しているようです。設備を充実させたら良いのではと思います（奄美市、男、40歳代）。
- ・5年でなく、10年の振興開発にして欲しい（奄美市、男、40歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・廃棄物の最終処分場、再生プラントを島内に作ってほしい！（奄美市、男、40歳代）。
- ・自然エネルギーを活用した発電施設の開発整備、災害時における避難場所の環境整備・避難経路整備、子育て環境の拡充（文化大会、スポーツ大会等参加時、本土への往来費用負担など）（奄美市、男、40歳代）。
- ・一般市民には分かりづらい質問が多かったです。大多数の群島民は日々の生活や納税に追われ、奄美群島振興開発事業などへの関心が無い（考える余裕が無い）のではないのでしょうか？自身も正直関心の余裕が無い一人ではありますが、奄美のために思うことは、日本と奄美の正しい歴史教育や食の安全（自然を生かした人口甘味料等無しの食材）、雇用の充実、正しい医療体制の整備（病気にならないための医学）の4つが重要だと思います（奄美市、男、40歳代）。
- ・大島紬のブランド化。販路拡大。賃金の地域格差をなくす（本土との）。土木、建設業等のインフラ予算を増やす（奄美市、男、50歳代）。
- ・世界自然遺産で観光客が増えて、メリットよりデメリットの方が目立つようになった（奄美市、男、50歳代）。
- ・若者が島で生活したくても物価や給料が安く、家賃を払っての自立が難しい。若者が島に残らないのはそれが理由だと思う。子供の遊べる施設が少ない（奄美市、男、50歳代）。
- ・奄美群島の振興開発についての書籍（パンフレット等）が欲しいです（奄美市、男、50歳代）。
- ・世界遺産への登録ということで、全ての動植物（クワガタ等）の保護をする。条例での措置を強く望みます。現状はクワガタトラップを使って、地域外で捕獲していると言って島外へ送っています。条例での捕獲禁止をお願いします（奄美市、男、50歳代）。
- ・世界自然遺産になった事で、国内の他の地域だが自然破壊が進んでしまったところがあると聞いた。奄美がこの地域の二の舞にならない様に皆に意識付け、行動出来る様に働きかけたりして、登録したことによるデメリットを最小限にして欲しい。そのためには協力を惜しまないと思っている。島は超少子高齢化社会だが、今後ますますマンパワーに限られる中で振興開発を進めるには、皆の知恵を集め連携できる繋がりを持ち続けたいいけないと思う。また、人口を増やすために島でも安心して生活出来る為の事業計画があるので、実行出来る様に皆で取り組みたいと考えます（奄美市、男、50歳代）。
- ・沖縄と同じ形態での振興（開発による自然破壊を伴う振興策）は良くないと思う。奄美の豊かな自然と、奄美の人々の人情味あふれる風土を活かした観光の振興策を取って欲しいと思う（奄美市、男、50歳代）。
- ・若い人たちの意見を聞くべきだと思う。このようなアンケートは無作為ではなく、高校生を含めた若い人をターゲットに意見を聞き、若者が希望する島を作ることで、人口流出を防ぎ町を発展させるべきと思う。自然を守ることも大事だが、年配の保守定期的な意見を聞いていれば島は何も変わらず衰退し島外の市町村との格差は縮まらない（奄美市、男、50歳代）。
- ・特定の分野に偏ることなく、バランスよく進めてください（奄美市、男、50歳代）。
- ・利権を与えるのではなく、地域を支える、地域を育てる人材を確保、育成していく必要があると思います（奄美市、男、50歳代）。
- ・奄美群島の振興開発は今後、今まで以上に力を入れて取り組んでいくべきだと思います。また、奄美に住む住民一人一人が意識して生活していく必要があると思います（奄美市、男、50歳代）。
- ・先にも書いたとおり、島民自らが島特有の優れた環境を破壊していると感じる。護岸工事などの事では無く、自然遺産観光に於けるガイドなどの関係者自身が、自然環境を守るべき者達の手によって屈辱的な破壊行為が行われていると感じる（奄美市、男、50歳代）。
- ・サトウキビを基幹とした農業を推進することは素晴らしいと思います。しかし、農薬を使用することで50年前までは川・海にいた生物が全く見られなくなったと聞きます。環境の変化にも目を向けてほしいです（奄美市、男、60歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・ ①インフラの整備（公共トイレの増設。道路の整備、特に走行車線や停止線等の消失が激しい）。②運転マナーの欠如（特に一旦停止がほとんどなされていない。方向指示器の操作が遅い等）。③Wi-Fi 提供店が少ない。以上のような点の改善がなされないと、島外からの観光客等は困惑すると思います（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 奄振法によって、産業開発、人口流出、所得向上等、本土との格差を少なくできないものか（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ ①教育。②教育費の無償化。③自然環境を活かした人材教育。④医療従事者の育成。⑤防災人材の育成（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 奄美空港から古仁屋までの高速道路の整備。奄美市街地の電線の地中化（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 観光地でのトイレが現代的でない所がある（特に北部）（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 間 11 の地域環境の保全について、オスプレイの騒音をどうにかして欲しい（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 奄美は最近海が汚れてきた。雨が多い（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 自然との共生（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ ①奄美群島の置かれている地域性、特性の見直し。②行政主体で農・水・林業の物のブランド化推進。③輸送コストの見直し（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 世界自然遺産になる前から観光客の交通マナー、ゴミ等のマナーが悪いです。世界遺産になったことで観光客が増加し地域経済には良いことですが、マナー等が今まで以上に悪くなるのはどうかと考えます。裏道の方は、ゴミのポイ捨てが世界遺産になる前より悪くなっており、警察にも相談に行っています（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 道路・建築物よりも、企業誘致など金を生む事業の推進に運用すべきと思う（農作物のブランド化、IT 産業本社誘致など）（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 子供の声が聞こえない集落が増え、子供の姿が見えない日が多く、寂しく思う日々です。若い人達が生活できるようにしていくことを期待します。企業の誘致も以前から言われていますが、進んでいるように思えません。農業においても高齢化の為、休耕地が増えてくる中、少しでも耕作地を増やすように頑張っています。サトウキビの耕作で安定した生活ができるようになって欲しいと思います（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ ①亜熱帯気候を生かした新たな農産物の生産、及び県外・海外への輸出。②周辺を海に囲まれた奄美での専門分野の研究所、及び学校の設立（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 市の職員も IT に精通した部署を作って人材を採用し、10 年後、20 年後、奄美市の行政対応が早く簡単になって欲しい。20~30 代の人口が増加して、子育てがしやすい環境であって欲しい（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 奄美群島民、及び群島内企業のためのものでなくてはならないと思います（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 人口減少や高齢化は避けて通れないが、個々の制度や島の発展には、リーダーシップのある者が必要と思う。どの場においてもその様な人物が必要と思う（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 自然環境を維持しつつ、ハード面、ソフト面に力を入れて欲しい（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 高校卒業後の島内の就職率を上げて人口減少を止める為に、企業（工場）を誘致すべき（一度にたくさんを雇用してくれる会社）。例えば、家電製品の組み立てや自動車部品の組み立て、食品加工の流れ作業をする工場等。そうすれば、若者が島に残り島で結婚し、人口の確保が出来ると思います（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 奄美の形態に合った大学の誘致（国際大学の分校等）も、長期的発展に寄与すると思います（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 皆が平等に仕事出来る様に、耳を傾けて声を聴いてください。島で生活出来る様に協力してください（奄美市、男、60 歳代）。
- ・ 奄美の自然を守ることと、奄美に住む人たちの健康を望みます（奄美市、男、60 歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・奄美群島は、終戦後米国軍政下の統治時代を経て昭和 28 年に日本国に返還され、その翌年から「奄美群島復興特別措置法（以下数次の法改正あり）」を制定して、これまでに交通基盤、産業基盤、生活環境など多岐にわたる社会資本の整備が行われてきました。その結果、島民の暮らしは随分と便利になり、かつ安全・安心して暮らせる社会基盤が充実・強化されてはきていますが、外海離島という地理的条件や台風常襲地帯であるなどの厳しい自然条件下にあること、また本土との所得水準や物価をはじめとする経済面の格差等を鑑みた場合、これまでに講じてきた諸対策で、奄美群島や島民が抱える諸問題が解決されたとは群島民の多くは感じていないものと推察しています。よって、これらの諸問題を解決すべく、国・県・市町村の議員や職員をはじめ、有識者などで構成する委員会（仮称）で策定した振興開発事業計画（令和元年度～令和 5 年度見込み）に基づき、現在も各種事業が推進されているところではありますが、私見を言わせてもらえれば、それらの事業の中でも次の事項を最優先して実施すべきであると思慮しています。計画だけではなく、また牛歩のような進捗度ではなく、日進月歩いや秒進分歩している現代社会に照らし、スピード感を持って確実に整備・実践して行かなければ、奄美群島及び島民の明るい未来は永久に来ないと思っています。是非、本気度を高く持って関係者が喫緊の SDGs 対策として取り組んで行かれることを切に願っています。①人口減少対策。奄美群島に在住する島民は年々減少しています。若い人達の多くが島外で進学・就職して、気が付けば多くの年配者だけが島内に残され、島自体の活気が薄れてきているように思えます。上記事業を実施するに当たっては、人がいなければ推進していきません（ロボットだけでは無理）。よって、各種能力や技能を持った若者達を島内で就業させることによって、人口増加を図っていく一石二鳥の取り組みが必要ではないでしょうか。②奄美群島内に大学・専門学校等の誘致。先述①の若者達に各種能力や技能を習得（付与）させるため、これらの若者達が島外で学び就職することを余儀なくされることのないよう、奄美群島内に大学や専門学校を誘致して、群島内で専門知識を学び就職できるようにすることが喫緊の最重要課題であると思料します。計画倒れしている現状を打破しない限り奄美群島の未来はないと確信して（奄美市、男、60 歳代）。
- ・年金や年金助成金での継承農業では、商工会議所、JA からの借受が出来ない。借受が出来ないと農業運営の継続が不可能になってくるので、昭和 29 年の奄美群島振興開発事業の特別措置法と現在の措置法を併せたものを制定して欲しいと願います（奄美市、男、60 歳代）。
- ・世界自然遺産で観光客を呼び込もうとするきらいがあるが、観光客が増えすぎると自然破壊に繋がる。自然遺産を保護しながら観光への対応を考える必要がある。観光客が求めるのは美しい自然である。観光事業者は、もっと奄美の自然を守る取り組みを率先して実行するべきと思う。観光事業者が海岸清掃をしているのを見たことがない。通年通して活動しなければピーターは望めない（奄美市、男、60 歳代）。
- ・アンケートの中でも回答していますが、奄美群島区の人材育成の一環として、例えば鹿児島大学や鹿児島県立短期大学などの国公立分校の設置が必要ではないでしょうか？島の子供たちに、生まれ育った環境から離れることなく高等教育を受ける機会を与えることができれば、必ず島の発展に寄与してくれるものと思います。また、そのような教育機関は、島の豊かな自然や環境を世界にアピールできる情報発信基地にもなり得る可能性があると考えます。（奄美市、男、60 歳代）。
- ・各種補助金や生活保護等が、働く意欲を下げている面が多少あるように思う（奄美市、男、70 歳代以上）。
- ・若者の島にしてほしい（奄美市、男、70 歳代以上）。
- ・各地区で人口減少対策や企業の誘致等に取り組んでいますが、各市町村ごとの取り組みではなく奄美全体で考える必要があると思います。一つだけ小さなことですが、例えばふるさと納税の返礼品でも奄美群島の物であれば、どこの市町村の物でも使えるようにしたらどうでしょうか？頑張りましょう（奄美市、男、70 歳代以上）。
- ・世界自然遺産になった為に国の全ての予算はカットされ、奄美大島全体が国に見捨てられたと思います。世界自然遺産という網を被せて振興開発の妨げにならないようお願いしたい（奄美市、男、70 歳代以上）。
- ・昨今の状況から、奄美群島振興開発事業に国防関係事業予算の計上がなされているか検討される必要があるように思います（奄美市、男、70 歳代以上）。
- ・歴史ある島の良さを活かして、観光客が多く訪れる島にしてほしい（奄美市、男、70 歳代以上）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・あまりにも土木事業に偏りすぎているように思えてならない。もう少し農林漁業に目を向け、ソフトな事業を目指してほしい（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・砂糖作り以外の農作物の栽培、振興はないのでしょうか。砂糖は広い農地で大規模でやれば良い。亜熱帯の気候に適した作物はたくさんあるはずだ。農林関係の方々も探して欲しい（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・老々介護で疲れている人がいます。老人ホームにも入れない。このような人達はどうなるのでしょうか（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・大島高校の甲子園出場に世界自然遺産登録。次は島内の大学を見てみたい（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・笠利～龍郷～住用～瀬戸内町を繋げる大規模な道路を建設して欲しい（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・沖縄と比べて、空路・海路の運賃がとて高いのが不思議でならない（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・東シナ海に比べて太平洋側は道路が整備されていません。整備すれば素晴らしい観光資源になると思います（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・人口を増やして欲しい（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・沖縄県と比べるとまだ色々な差があります。奄美の人、農業、教育、医療、福祉の為に国の特別措置が必要だと思えます（奄美市、男、70歳代以上）。
- ・島は他の地域に比べ輸送費がかかり、もともと物価が高いのに更に最近はどうも物価が上がっています。しかし島の会社員の給料は平均的に低く、このままでは生活出来なくなるのではないかと感じます。島外からの観光客や移住者のために…もいいが、島の在住者が住みやすくなるような環境や生活を一番に考えるべきだと思います（奄美市、女、20歳代）。
- ・海を埋め立てるのは反対です。大浜海岸は昔は本当に綺麗な砂浜でしたが、沖で砂を取る工事をしたため流れが変わり、大浜にあった砂が色々な所へ流れ、今は岩盤がむき出しになるほど砂がなくなっています。岩の上は滑って危険ですし、泳ぐこともできません。人が住む上で護岸工事も大事なのは分かりますが、色々な方面からの話を聞いた上で行って欲しいです。とにかく、海を埋め立てるのも山を切り開くのも反対です。色々やっているようですが、私達には理由が分かりません。きちんと皆が納得できることにお金を費やして欲しいです（奄美市、女、30歳代）。
- ・もっとトイレを増やして欲しい（奄美市、女、30歳代）。
- ・観光事業に力を入れるより、まずは島の気候を活かした事業に力を入れるべきだと思う。世代交代が進む状況で、受け継ぐ人材を確保していくのが必要。そうでなければ島の自然は壊れるし、農道も通らなくなれば道が荒れて草だらけで危険。観光関係は正直なところ、事故増加、マナー守らず等迷惑なだけ。来たい人は来るから別に力を入れなくてもいい（奄美市、女、30歳代）。
- ・人口減少を防ぐためにも、交通費の補助を検討して欲しい（島外へアクセスしやすくなる様に）。また、奄美は雨天が多いので、室内遊具施設も必要だと思う。賃金が安いのに家賃が高い。観光客を増やすのも大事だが、今住んでいる人を大切にしないと人口はどんどん減ります。子供を増やすためにはそれなりの補助や保障がないと難しいと思います（奄美市、女、30歳代）。
- ・たくさんの伝統文化があるので、今後も素晴らしい文化を受け継いでいって欲しいです（奄美市、女、30歳代）。
- ・給料を上げて欲しい（奄美市、女、30歳代）。
- ・子育てがしづらい。雨が多い地域なのに遊ぶところが屋外の公園しかない。室内遊びが出来るところを作って欲しい。海がきれいなのにマリンスポーツなど海のレジャーが無い。商業施設も無い。あと雑草が多い。沖縄の様に道路を整備して、ヤシの木、ハイビスカス等を植えてきれいにしたい。2年前に大阪から移住してきたが、住みづらいつ感じている（奄美市、女、30歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・昨年3月に奄美にUターンして、5月に出産しました。奄美市に1年以上在住していなかったため、出産祝い金をもらえませんでした。これから先ずっと島に住む予定なのにももらえないのは少し悲しい気持ちでした。転勤で数年しか住まない人達はもらって島外へ出ていくのに、私がもらえないのはなんだかと思いました。あと、島に帰ってくる時に家探しに苦労しました。ネットでしか探すことが出来なかったのですが、ネットに情報が全然なかったです。もっと積極的に空き家情報等を載せた方が良いと思います。奄美に住んでみて思ったのは虫が多すぎるということです。特に、家にヤスデが出た時は本当に嫌で引っ越したくなります。私は奄美が好きなので、SNS等で奄美の良さをいっぱいアピールしていきたいと思います（奄美市、女、30歳代）。
- ・将来の子供達の事を一番考えた「教育」がとても大切だと思います。ボランティアや奄美でしか出来ないことを体験し、奄美を愛する心を育むことで、一度都会へ出た子供達が奄美で独立して仕事をしていきたいと思えるような島になって欲しいです。自然豊かな島をいつまでも残していきたいです。よろしく願いいたします（奄美市、女、40歳代）。
- ・観光客・Iターンの受入れはやや活発化している気がするが、Uターンの受入れにもっと力を入れるべきだ。Uターン者は、親・墓守等の理由で帰島する方が多く、仕事や賃金の不安を抱えながら帰ってきている。しかしながら、賃貸物件のほとんどが公務員やIターン者優先となっている（奄美市、女、40歳代）。
- ・最近、島外からの旅行者が増えたせいか不審者情報が多発しています。正直、奄美の知名度が上がり移住者や旅行者が増加することに不安が増すばかりです。医療や福祉に力を入れ住みやすい島になっていけば、Uターン者が増え、不安が減ると思います。島の自立的発展がない限り、子供達は離れていくばかりです（奄美市、女、40歳代）。
- ・Iターン者への住宅紹介や住宅確保の支援はあるが、Uターン者や地元住民への住宅支援が無い。あっても制限があって困る。Iターン・Uターン者関係なく、同じ条件で住みたいところに住めたら良いと思う。実際住宅難民が多く、地元から出ていく人が多い。また、何年も空き家の教員住宅等は一般の住宅として貸してもいいのではないのでしょうか（奄美市、女、40歳代）。
- ・自然が豊かなためとても有り難いです。しかし道路の両脇に木、枝、草が生い茂っているため、大型車両とすれ違う時等スムーズに通行出来ない。低い位置の枝の伐採や除草をお願いしたいです。道路の舗装も本土と比べてびっくりするほどガタガタで穴があり、通行中不愉快に感じます。瀬戸内町や名瀬市など市街地のゴミステーションに鳥除けの網を設置して欲しい。カラスがいたずらをしてゴミを散らすので、大変です。耐え切れず個人で網を設置しましたが、個人の力ではどうにもならないです。カラスが啜っていったゴミが海や川に流されれば汚染されると思います（奄美市、女、40歳代）。
- ・本土との格差もあるが、群島内や各島内でも格差があるのでもっと協力し助け合う必要がある。各島で個性があるので、違いを尊重し合う精神の豊かさを大切にしたい（奄美市、女、50歳代）。
- ・今ある自然を大切にしながら、島人が奄美大島を自慢できる様な開発をお願いします（奄美市、女、50歳代）。
- ・地元にも分からない事が沢山あります。世界遺産としての魅力を発信して世界に届けられると良いです（奄美市、女、50歳代）。
- ・奄美の将来のために、人材育成やIターン者の力をもっと活かしてほしいです。そして、元気な先輩方（高齢者）の力を借りる（教えてもらう）ことが出来たら良いと思います（奄美市、女、50歳代）。
- ・世界自然遺産登録の効果を活かして、奄美群島振興開発事業に取り組んで欲しい（奄美市、女、50歳代）。
- ・世界遺産登録で奄美群島の知名度も上がり、唯一無二である希少な自然や動植物も守られていくことと思います。奄美はやはり特殊な経緯を持ち、歴史的にも大変な苦労を重ねてきた地域だと思います。今後も奄美で生活していく住民としては、これからの大きな自然災害、医療・福祉関係の人材不足、物資の不足等も心配です。今後も国からの支援は必要だと思うので、特別措置を受けながら発展していくことが大事だと思います（奄美市、女、50歳代）。
- ・世界自然遺産になりとても誇らしいですが、観光客が増えて色々な面でメリット・デメリットがあると思います。メリットが増えるようになって欲しいです（奄美市、女、50歳代）

○具体的な意見・提言（続き）

- ・ 未来の子供達の為に、地域の発展を願っております。新規観光施設等の設置をして、全国に発信できるように考えて欲しいです（奄美市、女、50 歳代）。
- ・ 大島紬の後継者不足が予測されます。大島紬に関わっている人達への支援をお願いします（奄美市、女、50 歳代）。
- ・ 昔の奄美の海を取り戻すための研究に力を入れて欲しい（奄美市、女、50 歳代）。
- ・ ①ゴミ等の分別が他の地域より遅れているのでリサイクルの徹底を図る。②輸送コストが高いので再生可能エネルギーの導入を図り、島内で生産できる資源を確保する。③自然の観光を PR してたくさんの観光客に来てもらうのも大切ですが、そのせいで自然破壊に繋がるのは本末転倒なので、マナーを守らない人は来島させないというくらいの強い姿勢が欲しいです（奄美市、女、50 歳代）。
- ・ 事業内容について分からない（知らない）ことが多かったので、今後もっと関心を持つようにしたい（奄美市、女、50 歳代）。
- ・ 交通の便を良くする（奄美市、女、50 歳代）。
- ・ 海岸の自然はあまり手を加えず、そのまま残してほしい。大島紬の後継者育成に力を入れてほしい。国道の沿道の雑草が非常に気になる。定期的に草刈りを実施してほしい（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 奄美群島の多くの魅力を、今後どのように管理して長く保たせるかが難しいと思います。1 人 1 人の生活も良くなりつつありますが、まだまだ生活も苦しく、周りを見る心のゆとりがありません。豊かで安心して生活ができる町になって欲しいです。大変ですが、頑張ってください（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 人材育成にもっと力を入れて欲しいです（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 奄美のために頑張ってくださいありがとうございます（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 安全な避難場所の設置を国の支援で出来ないものだろうか（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 概要に掲げてあります事業計画、島々の宝を活かした地域振興、今後の取り組みに大いに期待いたします（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 急速な発展は自然環境を劣化させる等の懸念があります。量ではなく質の高い観光業を目指して欲しいと思います。一時的には経済も潤うでしょうが、他力本願ではなく島民自体も襟を正し、個々の利益だけでなく、島の将来を見据えた振興を理想とします（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 観光客は良い条件で来られるが、島民は島から出る時の負担が大きいので、島民も他の県にもっと自由に行き来が出来るが良いと思います（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 奄美群島振興開発事業で、奄美群島と沖縄の住民等の交流を促進するために運賃の一部助成をしていることを知らなかったです（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 奄美群島の振興開発については難しすぎて分からない。まだ大人は色々分かりますが、色々な面から住んでいる地域、奄美の事を子供が知るための家庭教育や自治会活動が私の所ではありません。30~40 代の頃は地域ぐるみで草払いやゴミ拾い等々あったが、今は大人しか参加していません。小さい時から地域の行事に参加する習慣が無いので、今の若い世代はボランティア精神が欠けていると思います（私もですが…）。現在は自分の生活に精一杯の人が多いです。島外との交通が不便なのは、離島だから仕方ないですね（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 海上交通運賃、航空交通運賃、輸送運賃の割引は、地域経済の活性化に非常に役立っています。今後も継続して欲しいです（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 奄美の医療や福祉を充実させ、自然の中で豊かな老後を過ごせる島として全国にアピールし、人口の減少に歯止めをかけて欲しいです。そのために情報通信業も発展させ、ネットが自由に使える環境を作って欲しいです（奄美市、女、60 歳代）。
- ・ 住みやすい島にして欲しいです（奄美市、女、60 歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・色々が開発して都会並みにきれいな町になっても、人口が少ないのでつり合いが取れないと思う。どうせなら昔の町づくりをした方が良いと思います。昭和の町づくり等、奄美らしい何もない町づくりをした方が自然だと思います（奄美市、女、60歳代）。
- ・バスの時間をもう少し遅くして欲しい。大和村にも共同墓地を作って欲しい（奄美市、女、60歳代）。
- ・理由があるのはわかりますが、沖縄より奄美の方が東京への航空運賃が高いのが不満です（奄美市、女、60歳代）。
- ・特別何かをすることではなくとにかく島を、綺麗にして欲しいです。観光客の方が訪れても納得のいく綺麗さにして欲しいです。自然のありのままの美しさと、雑草が生い茂ってるのとは違うと思います（奄美市、女、60歳代）。
- ・世界自然遺産登録できた今、河川を目にするたびに「これでは？」と胸が痛みます。自治会などに協力してもらい、いつも美しい町になるようにしては如何でしょうか。芸能・スポーツ等ばかりでなく、もっと働く意欲を持たせる取り組みをして欲しいと思います。健康な方は生活保護だけに頼るのではなく、2～3時間の仕事等を紹介するなど、もっと知恵を出していただければと考えます。問11の群島内の誘客・周遊促進は身近に伝わってこない（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・奄美の豊かな自然、森・山・川・美しい海等々、島に住む人々が畏敬の念を持って環境保全に努め、未来永劫自然に囲まれた島であることを願う。自然エネルギー、水のエネルギーを利用して水力発電をする。水車のある風景は良いと思う（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・若者が定住できる環境と設備が必要（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・奄美空港から市街地へ向かう国道沿いの雑草の処理。島民は住環境の清掃・美化活動に努めて身近なところから世界自然遺産になった模範を示すことが望ましいと思います（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・奄美群島が他国に侵入されない為には、国の支援・指導・補助が必要と思われます（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・休耕地を利用して島民の食料はなるべく島内で賄えるくらい作れないものか。船が欠航したらスーパーの品が無くなる。特に牛乳。島で乳牛を育てることはできないのかと、いつも思っています。農業にもっと力を入れて、果物等、島外に出荷できるくらいになれば良いと思います（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・大島紬の衰退について、教育費はどうされているのか？と思う。それと病気になった時の島は心もとない。この2点を不安に思う。大島紬は島の方々が着ないと、よその方は着て下さいません。着る機会を作る必要があると思います。地産地消、頑張りましょう。問11に関しては、良くなっているとは思いますが、評価は分かりません（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・観光産業に力を入れてほしい。手つかずの自然も本当に大事だと思いますが、町中の花や植物、道路の緑化等、きれいな町づくりもお願いしたい（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・畑が荒れている所が多い。農業で生活できる若者が多くなって欲しいです。子供が増え、高齢者が健康で、家族を守りながら教育・スポーツも盛んな島で子育てをするのは、とても良いと思います（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・雇用と保障が少ない島の生活は希望が持てません。将来、子供達が親と同様の生活をするのを望みません。島も色々な改革がなされ、島全体としては随分良くなったと思います。しかし、現実には、飛行機代や荷物を送る送料等は高くなっています。もっと元気のある島であって欲しいと思います。雇用が増えて地元で就職できる企業が増えることを願います（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・子供達が遊ぶ公園や道路沿いに日陰が欲しい。空き地や遊び場、長浜の緑地や赤崎公園に行くまでの道を整備し、草刈りをして欲しいです（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・地域づくり（街づくり）の方向性が分からない（行政がリードしてアーケード街の昭和レトロの街づくりなどをしてはどうか）。商業が廃れたところに駐車場が出来てもどうなのか。羽田発の格安運賃を作ってほしい。大島紬の在り方、残し方をしっかり考えたほうが良い（具体的な計画。高級化を目指すのか。一般にうける物を作っていくのか）。奄美全体がテーマパークになるようなことを考えたらどうか。家賃や土地が高い。賃金が安く物価が高いので、住むことを勧められない（奄美市、女、70歳代以上）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・先日、鮮魚店で瀬戸内で養殖している魚を教えてください購入しました。話によると、どこかの大学の研究で養殖されているとのこと。そうであれば、どこの大学なのか周知し、その先生の講演会を開催したり、魚の宣伝、消費の呼びかけ、またはその大学の分校を誘致するなどすれば、学生が集まり楽しい島に変わるのではないのでしょうか？（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・社会的弱者に目の行き届く社会になって欲しい。問11の教育については、送迎を充実させて欲しい（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・島は台風のため、色々な面で困ります。特に食料です（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・振興開発に関するものではありませんが一言あります。海へ貝拾いに行けないのがすごく残念です。小さい頃から貝拾いが楽しみでしたが自由に出来なくなり、せっかく奄美に住んでいるのに自由を奪われている気がして残念でなりません。個人的なことでごめんなさい（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・奄美群島振興開発事業費が減額されない様に苦心され、大変だと思います。並行して減額された時の試案をネット等を通して老若男女からアイデアを募り、情報を蓄積しておき、いざという時に活用できるシステム作りが必要だと思います（奄美市、女、70歳代以上）。
- ・今年はハブが多い様ですので、もっと高く買い取ればハブを捕る人が増え、ハブが減ると思います。今はガソリンが高いのでハブを捕る人が少ないです。住民のために対策をお願いします。関西・関東地区に身内があるので、島の振興の為にもっと交流・連携して欲しい。水環境の保全、騒音・悪臭等の防止、ヤンバルトサカヤスデの駆除はどんどん行って欲しいです（奄美市、女）。
- ・自然遺産という言葉のみが前に進み、実際にはいろいろな面で追いついていない。全てに置いて、島内の人々の意識が低く、自ら進んでやらなければならない公務員の中でも、意識が低い方が多くみられるため、内側からの意識改革、人材育成が必要だと感じる。当たり前の事を島内の住民が理解し、島内の継承して行くべきもの、継承していかなければならないもの崩す事なく、島外の物を上手に取り入れて行けるよう順序立て進めて行って欲しい（奄美市、40歳代）。
- ・仕事に就いている住民が少ない。そのような人に働くように呼び掛けて、人手不足を解消して欲しい（奄美市）。
- ・島の在住者は振興開発についてよく理解していないので、どうやって外部や在住者に内容を発信するのが大事だと思う（喜界町、男、20歳代）。
- ・働く場所（環境）と子供を育てていける環境が揃えば自然と島にも人が増えると思う。給料が低くても子供を産むと得をするような環境とか（喜界町、男、20歳代）。
- ・船、飛行機の割引は嬉しいです。観光客等が増えて賑やかになったり、たくさんの人に島の魅力を伝えられたらいいと思う反面、この環境が壊されないようにして欲しいと思います。島内でもゴミが落ちていたりということも多々あるので、皆が意識してより良い島になって欲しいと思います（喜界町、男、30歳代）。
- ・奄美と沖縄の良さをもっともっと世界中に発信して欲しいです。人口を増やすためにも、仕事が増えたら良いと思います。喜界島と沖縄を結ぶ航空便や船便は毎日運行して欲しいです。そうすれば、もっと沖縄との交流が広がると思います。観光客がマナーを守って来島してくれれば、みんながもっと楽しくなると思います（喜界町、男、30歳代）。
- ・最低限の整備が必要な部分と、より充実するように整備する部分との区分けが重要だと思う（喜界町、男、40歳代）。
- ・移住・定住・交流人口対策への取組み強化。持続可能な社会づくり、循環型社会の取組み強化。地域の特性を活かした産業の推進（喜界町、男、50歳代）。
- ・雇用を創出する産業及び企業誘致に力を入れて、人口を増やすことが先決だと思う（喜界町、男、60歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・①国や県は地方創生と掛け声をしているが、行政改革ということで中心地に役所や学校を設置し、地方はさびれるばかりです（例：登記所、学校統合等）。②交流人口を増やす視点での事業導入が少ない。③地下ダム事業等は有力である。④鹿児島まで30分のジェット機を導入し、滑走路を延長させて観光を推進して欲しい。⑤総合内科医を町の診療所に常駐させ（徳洲会病院と連携して）、住民の健康を把握できるようにすべきである。⑥認知症や精神病の増加が予想されるので、その対策をするべき（喜界町、男、70歳代以上）。
- ・運賃が高く、物価も高く、交通が不便です。出産の時に問題があると思う（喜界町、男、70歳代以上）。
- ・自然を守り、子供達が心豊かな人間に育ち、世界の目標となるような奄美群島になって欲しい（喜界町、男、70歳代以上）。
- ・奄美群島地域に経済的な発展は求めている。固有の自然を守ることを第一に考えながら（観光施設を作るのではなく）、奄美特有の空気を味わってもらえるようにして観光客を誘致し、島民が暮らしやすい環境を整備すべきだと思う。そのためには、教育・医療の充実は必須。また、知られていない農産物の加工品をアピールし、知ってもらいたい（喜界町、女、30歳代）。
- ・医療や福祉が充実した子育て・生活環境になる様に改善をして欲しい。労働条件も改善して欲しい（喜界町、女、30歳代）。
- ・島外へ出ると、人工物より奄美の手つかずの自然や古くても整えられた建物や景観、伝統に魅力を感じますが、より記憶に残るのはその土地の人と接した事です。おもてなしをする住民が健康で心豊かな生活ができるよう望んでいます（喜界町、女、40歳代）。
- ・振興開発の実績を分かりやすく示して欲しい（喜界町、女、40歳代）。
- ・私達は転勤で島に来ました。子育て中ですが周りに親族もいないので、子育てに関する支援を充実させて欲しいと思います。一時的な物ではなく、小・中・高・大学と過ごしやすい環境づくりをして欲しい。高齢化も進み、どんどん子供が減っています。自然にとっても恵まれているので、奄美で過ごせることは子供のいい経験になっています。自然に囲まれながら子育てをする人達を増やしたいです。その為にも若い世代が住みやすい、またIターンやUターンしたくなるような島にして欲しいと思います（喜界町、女、40歳代）。
- ・奄美群島の発展の為には、各島が交流できるイベント等も必要だと思うが、各島で格差があるのでそれを埋めていくことが必要だと思う（喜界町、女、40歳代）。
- ・海のゴミが多い。どうにかできないか（喜界町、女、40歳代）。
- ・道路の整備が必要（喜界町、女、50歳代）。
- ・奄美群島振興開発事業は期限後も継続していけるよう働きかけていただき、住民が安心して住めるようにしてもらいたい（喜界町、女、60歳代）。
- ・個人的な意見ですが、「大島紬」の織り方を若い時に覚えておくべきだったと思っている。定年を迎えて、残りの人生をのんびりと紬（機織り機で）を織って暮らすことも大事だったかと思うこの頃です。一度も織った経験のない私には織ってみたくても無理な事です（喜界町、女、60歳代）。
- ・国からの奄振事業の継続は必要不可欠です。よろしく願います（喜界町、女、70歳代以上）。
- ・90歳になり、ふるさと喜界島でのんびりと心豊かに暮らしております。全てに感謝しながら生活しております（喜界町、女、70歳代以上）。
- ・私の地域では空き家・空き地が多く、活気もなく淋しくなりました。そこで私の考えとしては、都会の方で田舎暮らしを希望する方に島の魅力を発信して、農業・起業を促してはいかがでしょうか。国・県・市町村が一体となって生活や就労の支援に取り組んでいただきたいと思います（喜界町、女、70歳代以上）。
- ・航空運賃を値下げし、もう少し住民の負担を軽減して欲しい。離島には小児科専門医師が常駐していないこともあり、島外に受診しに行くことも多く、旅費等の負担が大きい。その様な場合の助成や子供の料金についてもう少し割引等があると良い（喜界町、40歳代）。
- ・奄美群島全体が活性化することがまずは一番大事だと思います。そのためには、もっと地域住民が暮らしやすい島になってほしいです。とにかく、ガソリン・物価が高いこと、医療施設が少ないこと、医療設備が充実していないことが、不満点として挙げられます。その問題を解決することが、活性化及び振興へと繋がるのではないのでしょうか（瀬戸内町、男、30歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・奄振による道路等のインフラ整備はかなり良くなったと思う。しかしながら、島内に住む人々の賃金はとても少なく、労働人口も少ない為、行政と繋がりのある一部の人しかその恩恵を受けられていない。今後は、人々の生活を支援する財源として（例えば、東京との最低賃金は現在 1041 円であり、220 円もの差がある）、東京と同額の最低賃金になる施策等を行ってほしい。奄美の最大の課題は貧困である（瀬戸内町、男、30 歳代）。
- ・事業計画に対する取組結果が未だ中途半端なものが多い様に見受けられる（瀬戸内町、男、40 歳代）。
- ・本土から遠い洋上にある奄美群島は、遠方ということで輸送コストや航空運賃、物価の高さという宿命を負っている。そこで、ICT のデジタル技術を活用し、在宅やサテライト勤務を導入している企業を誘致し、地元の雇用を推進することが極めて有望だと思われる（瀬戸内町、男、50 歳代）。
- ・自然はあるが資金がない。内地の企業が入ってきてても利益が出ないと撤退するので、やはり国の予算を用いて奄美の人達で守れるものは守って欲しいと思います（瀬戸内町、男、50 歳代）。
- ・今回のアンケートで事業の取り組みについて初めて知りました。今まで意識したことがないので分からないことが多く、回答出来ない箇所が多くてすみません。島の発展のために、また自然と癒しの島を守るために自分自身も出来ることを取り組んでいこうと思います（瀬戸内町、男、50 歳代）。
- ・瀬戸内町と沖縄本島とのジェットホイルを就航させれば、奄美本島南部の経済の活性化に効果が得られると考える（瀬戸内町、男、50 歳代）。
- ・奄美の伝統文化、豊かな自然に恵まれた景観、大島紬などの伝統産業を大切にしたいと思います（瀬戸内町、男、60 歳代）。
- ・夏のシーズン中だけでも航空料金を値下げし、沖縄と同額位で奄美に来られるようにして欲しい（瀬戸内町、男、60 歳代）。
- ・奄美群島は開発ばかり必要ではない。自然の多い奄美が良い（瀬戸内町、男、70 歳代以上）。
- ・賃金が低く抑えられ、仕事が少ないと思う。このことは子供の教育に大きく影響する。もし、ネット環境が充実すればかなりのことができると思う。色々求めすぎずに、強みを活かせることを行うべきである。行政ではなく民間に任すべきだと思う（瀬戸内町、男、70 歳代以上）。
- ・①離島振興策をもっと活発にして、人口減少の対策をして欲しい。②奄美のブランドをもっとメディアを使って PR して欲しい（ブランド化）。③このアンケートの結果を発表して欲しい（広報誌等で）（瀬戸内町、男、70 歳代以上）。
- ・今後、奄美群島においては更に高齢化が進み、交通弱者・買い物弱者が増加していくと思われます。その対策として瀬戸内町ではドローンの実証実験を行い導入していく予定のようですが、このような事業も奄美群島振興開発事業に取り入れて頂ければと思います（瀬戸内町、女、20 歳代）。
- ・マクドナルド等、地元住民や観光客が楽しんで利用出来るお店を増やして欲しいです（瀬戸内町、女、20 歳代）。
- ・カトクなど自然を残すべき所の護岸整備は不要だと思うので、慎重に扱って欲しい。移住者を増やす、または若い世代が住みやすいように、出産に関する行政のサポートを手厚くするべき。助成や産前産後のサポートをプロに繋ぐ（例えば、島には助産院がないので頼る所がない。病院とは違う形で出産をしっかりサポートしてくれる助産院が欲しい。また、島外の助産院へ行く時の費用を助成して欲しい。島から自費だと自己負担が辛い）。奄美には、全国的・世界的に活躍できる人が多くいる。「奄美文化×人」で貴重な文化を繋ぎ広げる為に、埋もれている人を引き出してサポートしてほしい。ミキをもっと広めたら良いと思う。瀬戸内町に砂糖不使用で作る方がいるので、そういう健康に良い文化を広げたら良い（瀬戸内町、女、30 歳代）。
- ・街中に行くと駐車場が少ないイメージがある。アウトレット等家族で一日中楽しめる施設も増えると楽しいと思う。観光客の満足度も必要だが、在住する島民の満足度が向上すると良いと思う。離島で物資が届かないのは承知の上なので、コンビニやマクドナルドやスターバックス、ほっともっとなど街中だけでなく瀬戸内町方面、宇検、住用をもっと開拓すると良いと思う。宇検、住用は電波が届くと良いと思う。伝統文化を継承しつつ、都会のような気分が味わえる施設が増えると良いと思います。今後の発展を楽しみにしています（瀬戸内町、女、30 歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・もっと地元の人間の話聞き入れて欲しい。カトクに早く海岸保全施設の整備をしてほしい。海上交通は車両の運賃が高い。世界自然遺産になったことで、自然や美しい景色が逆に壊れると思う（瀬戸内町、女、50歳代）。
- ・住民の話聞いて物事を進めてほしい（瀬戸内町、女、60歳代）。
- ・大変な事だと思いますが、若い人達が興味を持ち、頑張ってお金を稼いでほしい（瀬戸内町、女、70歳代以上）。
- ・一般の多くの町民の日常生活には、何ら関わりがないという感じがする（瀬戸内町、女、70歳代以上）。
- ・皆で力を合わせて頑張っていくこと（瀬戸内町、女、70歳代以上）。
- ・私は島を愛してやまない。島の自然こそが誇れるものだと思う。この宝を守りながら暮らしも立てていかなければならない。加計呂麻に移住して30年余り、ずっと目にしてきた事は中高年の仕事の無さです。島は小さな遊休地だらけなので、それらを活用してキビ作農をもっと盛んにしてほしい。知識も技術もある中高年の力を活かして、最優良食品の黒糖を広く知らしめてもらい、多くの人に食べてもらいたい。小規模農業でもいいのではないかな。組合をとれば連帯責任なども発生してしまう。Iターンの若い方達ばかりではなく、島の中高年にも仕事をお願いします（瀬戸内町、女、70歳代以上）。
- ・日本中を見て回ると、何処も似たような景色だと感じます。それは効率と効果を最大化することを発展の目的としているからだだと思います。それはとても残念なことで、美意識のかけらもなく、歴史が古い日本の文化を壊すことに繋がっているように感じます。奄美群島をその脅威から守るべきで、お金で買えない価値を残して欲しいです。それは必ず奄美群島の魅力として、世界中から環境美意識の高い人々を惹きつけて Amazing と言わせるはず（瀬戸内町、40歳代）。
- ・観光資源（自然環境等）を浪費しないサステナブルツーリズムに力を入れるべき。そのために、エコツーリズム全体構想に基づく資源保全やエコツアーガイドの質の向上、観光客への適切な情報発信に努めるべきだと思う。森・川・海の物質循環に留意したインフラ整備や農林漁業を行うべき。海の豊かさが失われてきている。奄美群島固有の文化を育んできた人の生活と自然の接点に注目し、人と自然の触れ合う機会を日常的なところから大切にしていってほしい（大和村、男、30歳代）。
- ・人口減少を防ぐため、空き家を改修し定住促進住宅を整備する。峠越えをなくすためのトンネルを整備し、交通の便を良くする。情報・通信網（5G）を整備し、県外企業を誘致する。島外との交通（航空や船舶）の便を増やし、人々が行き来しやすい島にする（大和村、男、40歳代）。
- ・農業において、収入増に繋がるための対策をして欲しい。労働力に対する収入の少なさで若者のなり手が少ない。島の農業が魅力ある産業になるためには、他の地域にはない付加価値を付けるべきだと思う（大和村、男、60歳代）。
- ・住居が少ないし、賃金が安すぎると思う。島の物価と賃金が比例していない（大和村、女、30歳代）。
- ・問7で回答したように、若者は地域の交流を面倒だと思っている場合があります。何に使われているのか分からない自治会費も払いたくないと思っている人も多いでしょう。一度、これらの内容について意識調査をしてみてはどうでしょうか。あと、缶・ビン・ペットボトル・古紙等、リサイクルできるゴミを出す時にもお金がかかるのは良くないと思います。分別率の低下につながり、自然遺産のイメージダウンになると思います（知名町、男、30歳代）。
- ・前例に倣うやり方を変えなければ先は無いと思う（知名町、男、40歳代）。
- ・転入したばかりで不明な点が多く、回答出来ない項目があり申し訳ないです。少子高齢化、経済格差の拡大等、多くの課題があると思いますが、出来ることは少しでも協力していきたいと思っています（知名町、男、40歳代）。
- ・国が奄美群島の大切さをどこまで真剣に考えるかだと思う。それには政府にしっかり食い込める人材が必要かな（知名町、男、50歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・人口減少について対策を強化して欲しい（知名町、男、60歳代）。
- ・島の名前や観光地が奄美群島以外の人に知られていないので、周知する工夫をするべきだと思う。島を出たら再度故郷に帰って来ない人が多いので、産業（企業）が増えないかなと思う（知名町、男、70歳代以上）。
- ・沖縄との交流を盛んにする必要があるのではないか（知名町、男、70歳代以上）。
- ・豊かな自然の保全については、努力が実ってきていると思う。継続していただきたい。子供がスポーツをしています、大会や遠征で結構な経済的負担がある。現在も補助があるが、もっともっと支援してもらえると有難い（経済的理由で大会に参加できない子供がいる）。コロナ禍なので現在は仕方がないが、終息したら観光に力を入れて欲しい（知名町、女、40歳代）。
- ・私が住む島には本屋が少ない。教育や人材育成のためにも子供達が好きな本を選べる環境が欲しいと思います。自然が多く素晴らしいですが、海岸にシャワー、トイレの設備を増やす必要があると思います。お土産品のインパクトが沖縄に比べて弱すぎます。北海道はキャンパーに旗等配っていたような気がします。群島でキャンプをしたら、それぞれの島でしか手に入らない旗がもらえる等、何か”行かないと手に入らないもの”を配布するのは1つの手だと思います。SNS等で流行ると思います（知名町、女、40歳代）。
- ・「奄美群島の振興開発」に沖永良部島が含まれているのは分かるが、観光や自然、産業など、様々な面で他の大きな島（奄美、徳之島）との違いを感じる。取り残されている感というか…（知名町、女、50歳代）。
- ・奄美の魅力でもある豊かな自然環境を活かした観光業等に力を入れて、若者のUターンや雇用を増やし、地域の活性化を図っていくべきだと思う（知名町、女、60歳代）。
- ・道路拡張等をすれば交通の便は良くなりますが、島国の豊かな自然は破壊して欲しくない（知名町、女、70歳代以上）。
- ・定年後奄美に帰ってきて一番思ったことは、子供達の姿が見えないことです。都会と同じような感じで私達の子供の頃とは違い、シーンとしています。温かさの想いも薄れていて、活気がいまいち無いと思います（知名町、女、70歳代以上）。
- ・農業と観光が栄える奄美群島になります様に（知名町）。
- ・IT関連事業に関して、企業誘致や人材の育成等に力を入れるべきだと思う（天城町、男、30歳代）。
- ・徳之島は観光産業に弱く、そこを盛り上げていこうとする島民の意識が低い。まずは意識改革が必要だと感じる。世界遺産の島といえ、首都圏から高い運賃をはらってまで行こうとはなかなかならない現状もあるのではないかと（天城町、男、30歳代）。
- ・自然を守りながら、奄美群島がどうすれば発展するか、そのためには何を実現させれば良いのかを考えて行動したいと思う（天城町、男、40歳代）。
- ・本土と比べ、まだ様々な面で条件が不利な点が多い。航空運賃は東京～沖縄や東京～奄美は条件によっては10,000円以下になるが、鹿児島～徳之島は30,000円以上する。この現状では家族での帰省は困難なため、群島出身者から改善を求める声が多い。週1～2往復で良いので主要都市への直行便が欲しい。関西や関東や群島出身者が多いので、島の振興のためにももっと交流・連携することが有効だと思う。小型高速船など、船便による輸送手段も新設して欲しい。観光産業を推進することで外貨を獲得し、地域の活性化、雇用の創出、所得の増加に繋がると思うが、過剰な観光客による宿泊所先や住居の不足、ゴミのポイ捨て等による環境汚染等の課題も出てくると思う。奄振により、道路や観光地の環境整備は10年前に比べていくらか良くなったと思う。核家族化が進み、住宅不足が問題となってきているので、住宅の整備もして欲しい。日本でも数少ない自然豊かな癒しの地として、環境の保全、地域の活性化を国ももっと力を入れて欲しいと思う（天城町、男、40歳代）。
- ・今後の予想される観光客増加と経済効果、自然環境とのバランスを熟考するとともに、島民全てが豊かに暮らせるようにしなければならない（天城町、男、40歳代）。
- ・自然環境を活かし、人口減少を抑えて、観光業に力を入れ、2世・3世が住みやすい島になっていけたらと思います（天城町、男、50歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・奄美群島の自立が重要ですが、少子高齢化・人口減少等、問題は多くあります。特別措置に甘えることなく、自立を考え目指せるような支援体制で、今後の振興開発事業を展開して下さることを期待いたします（天城町、男、50歳代）。
- ・少子化対策と若者が安心して暮らせる職業環境対策が急務かと思えます。農業では食べられないのが現状です。若い人達の生活拠点としては不安。南国農園とか、マンゴー、パッションフルーツ、パイナップル等、サトウキビ以外の農業支援で若い人達の新しい生活環境を整えることが急務。サトウキビでは若者が生活していくのは無理だと思う（天城町、男、60歳代）。
- ・事業内容を住民の視点に沿った方向へ変換する時期だと思えます（天城町、男、60歳代）。
- ・離島で作物を作って鹿児島に送るにしても送料が高く、農家は大変。都会に行くにしても運賃が高くて大変なので、これらをもっと安くできたらいいと思えます（天城町、男、60歳代）。
- ・奄振延長を特にお願ひしたいが、地域が盛り上がりすぎてこそ延長が可能であるため、皆で力を合わせて頑張っていけたらいいと思えます（天城町、男、60歳代）。
- ・現在、徳之島保健所で不法投棄取締り Gメン（4年目）として、島内・沖永良部・与論島をパトロールしています。島民との出会いを大切に、今後とも島の自然を守っていく覚悟です（天城町、男、60歳代）。
- ・農地開発による赤土の流出（農薬、肥料含む）で海がどんどん死んでいます。開発による環境ダメージを減らすことに努力して欲しい（天城町、男、60歳代）。
- ・振興開発あたり自然環境破壊がこれ以上進まぬことを願います。昔に比べると海辺に住む小魚、ヤドカリや貝、海藻類珊瑚礁などが激減し荒れ果てた海岸の姿に愕然といたします。原因の究明なども今だになされておらず残念でなりません。個人的には無駄と思える堤防の撤去が望ましいとおもいます。海水のPHは8.2～8.4 コンクリートのPHは12.5～13 悪影響が懸念されると思われまます。山林に関しては規制がないのかいまだに畑地への開発が行われていますが耕作地の拡大は慎むべきです。世界自然遺産の島でありながら重点地区のすぐ近くやその範囲以内に無駄だと思える砂防ダムの設置が行われていることにも。残念でなりません海の堤防、山の砂防ダム、負の遺産などはこの島には不必要ではないのでしょうか。奄美、徳之島、沖縄の貴重な自然を守る上にも議論すべき問題なのではと思えます（天城町、男、60歳代）。
- ・沖縄県と同等の開発事業をしてもらいたい（天城町、男、70歳代以上）。
- ・航空運賃等、様々な物資の輸送コストの軽減、ガソリン価格の引き下げ等奄美群島の条件不利性の改善は今後も引き続き実施して頂きたい。群島外から移住してきた身としては経済面の格差を非常に感じるため、奄振事業をはじめとした国の特別措置がまだまだ必要であると感じる（天城町、女、20歳代）。
- ・近々徳之島から鹿児島に転勤の予定です。農作物は自慢できる物が多いと思いますが、他の地域に負けている感じがします（例：タンカン屋久島、ジャガイモは長島等）。また、お土産も黒糖や焼酎等があるが、ぜひ買って帰りたいと思うものはありません。例えば、クロウサギ型やオビトカゲ型の黒糖チョコレート、ウギカサギやケナガネズミの様子を形にしたお菓子等、ここで買ってお土産にしたいと思うようなものを開発して欲しいと思えます（天城町、女、30歳代）。
- ・奄美大島は観光事業が成功していると思う。格安航空が乗り入れてから観光客が急増したと経営者から聞いた。その点、徳之島は交通が不便で高いため、将来が期待できない（天城町、女、30歳代）。
- ・開発によって自然や伝統が壊されないか心配です。人口が減り続けていることは問題だと思えます。教育水準もかなり低いです。対策をお願いします（天城町、女、30歳代）。
- ・天城町に入院施設のある病院や産婦人科を作って欲しい。小さくても良いので、天城町にショッピングモールが欲しい。休日でも子供が室内で遊べる場所が出来て欲しい。海がきれいでとても良い島です。これからもきれいな島であってほしい（天城町、女、30歳代）。
- ・このアンケートで「なるほど」「わからなかった」等思うところがあり、改めて奄美と向き合えました。郷土の大切さや方言も失くしたくないです。やはり都会に出て暮らしている「しまんちゅ」が何年後かに島に来た時、残念な気持ちにさせてはいけません。また、この地の住民には離島割引航空運賃がありますが、住所を移動した子供達が帰って来る時は高い運賃で困ります。気軽に帰ることができる故郷にしたいです（天城町、女、50歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・世界自然遺産となりとても喜ばしいことではありますが、犬・猫の放し飼い、多頭飼育、または糞害、ゴミ問題等は1人1人が考えていかなければならない事だと思います（天城町、女、60歳代）。
- ・若い人達が増える町になって欲しい（天城町、女、70歳代以上）。
- ・人口増加に努めて欲しいと思います（天城町、女、70歳代以上）。
- ・奄美群島も本土と同じような経済状況となるよう、もう少し支援が欲しい（天城町、女、70歳代以上）。
- ・クロウサギがサトウキビの新芽を食べるので、生育が上手くいきません（天城町、女、70歳代以上）。
- ・沖縄県並みの補助をして欲しい。徳之島一周道路を国道にして欲しい。徳之島に自衛隊の基地を移設して欲しい（天城町）。
- ・地域に再投資する循環的な経済構造にシフトできるか。現状の外部依存度の高い経済社会構造が藩政時代・明治以降の鹿児島県政下からの蓄積であるならば、昨今の地政学的な重要性を加味し、国の特別措置に基づきつつ、あらゆる主体の力で上述の経済社会構造を変えることにチャレンジする必要があるのではないか（徳之島町、男、30歳代）。
- ・公衆トイレをもっと増やして欲しい。公衆トイレの清掃を定期的にして欲しい。和式の公衆トイレを増やして欲しい（徳之島町、男、40歳代）。
- ・市町村は、一部ではなくそこに暮らす住民にしっかりと還元できる様なお金の使い方をして欲しい（徳之島町、男、40歳代）。
- ・島外に住む子供や家族がUターンしないのは、子供の教育（大学が無い等）の不安が大きいからだだと思います（徳之島町、男、50歳代）。
- ・世界自然遺産に登録された事を機会に沖縄との交流を促進するため船舶航空便の改善をしてほしい。船での移動が不便。徳之島から朝9時に出港して夜7時頃那覇到着、那覇から朝7時出港夕方5時着、移動で日中1日潰れる。飛行機も不便。ポンピング便が飛行しているが運賃が高い。徳之島からだと沖ノ永良部経由になる。最悪経由は良いが運賃は徳之島・沖縄直行運賃の設定が欲しい。マイルも2区間のマイレージが必要。徳之島・沖縄1区間のマイレージ設定があれば良い。出身者、観光客も便利だと思う（徳之島町、男、50歳代）。
- ・島民の意識改革が必要だと思います（徳之島町、男、60歳代）。
- ・①運転マナーが悪い。②平気で歩道に車を停止、または駐車（昼夜問わず）する。（例）鹿児島銀行前歩道上に駐車する車が多い（徳之島町、男、60歳代）。
- ・サトウキビの値上げ。農業で生活できるように、若い人達が夢を持てる農業になって欲しい（徳之島町、男、60歳代）。
- ・特措法による70年にも及ぶ支援は有難いが、島の自主性を阻害しているようにも思う。特措法の予算の配分に疑念を持っている。大島のトンネル工事に使われている感が強い。もっと他の島にも配分されるよう配慮されるべきである。早く本土との格差を是正して、特措法を断る位の島になれば良いと思う。県庁の地方課での予算消費も検討すべきであると思う（徳之島町、男、70歳代以上）。
- ・徳之島の県道を国道に昇格し、整備することが最優先事項と考える。町民、町長、及び三町の議会が一丸となって推進して欲しい（徳之島町、男、70歳代以上）。
- ・群島民以外の航空運賃等の割引実施による経済効果を始めとした島の活性化を望む。特別措置法による支援ではなく、離島を抱える県や財政基盤の低い県を地方交付税で支える仕組みが必要（例：最低賃金の差がないように企業を支援する。大企業が地方に進出しやすい法人税の優遇等）。無防備では島は守れない。抑止力を持ってこそ侵攻は食い止められるので、そのための対策も必要である（徳之島町、男、70歳代以上）。
- ・大学・専門学校等の教育機関が重要だと思う。若者の流出防止・定住にもなるのでは。奄美群島内に教育機関設置の検討を奄振事業で願います（徳之島町、男、70歳代以上）。
- ・島で育った子供の99%以上が島外に出ていきます。生産年齢が島外で生産することになっているので、子育て世代に支援をして、若い人にとって住み良い島にして欲しい。東京都や都会は良いところ取りのように思えてならない。便利さに引き寄せられるのはやむを得ないことなのではないでしょうか？（徳之島町、男、70歳代以上）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・人口を増やすことが一番です。人が少ないと外国人の島になる可能性があります。島外に出た人が定年後、島へ戻って生活してもらいたい（徳之島町、男、70歳代以上）。
- ・自然遺産に関するイベント（行事）を増やしてはどうか（徳之島町、男、70歳代以上）。
- ・世界自然遺産になったのは嬉しいことだが、その影響で島が荒らされないことを願います。このままの美しい自然が保たれるように住民も協力していけたらと思います（徳之島町、女、30歳代）。
- ・航路航空運賃軽減メインではなく、子どもから高齢者まで日々の暮らしの中で平等に恩恵を受ける交付金であってほしい。また、ハード面は重要であるが、奄美本島一極集中ではなく、奄美群島一律の重要施策配分であってほしい。また、ソフト面として教育予算への支援をしてほしい。島の子ども達を群島内で高校まで進学させるための予算に使ってほしい。そのためには、魅力ある高校づくりが急務であると考えるので、島の高校に通うからこそ得られる体験、また本土並みの学習環境を整えたいと思います（徳之島町、女、40歳代）。
- ・奄美大島と比較して、圧倒的に宿泊施設が少ないという事は、観光客が少ないということ。奄美→沖縄と流れて行かないように徳之島独自の魅力アピールが必要では（徳之島町、女、40歳代）。
- ・交通事故や重い病気で緊急手術等の際、名瀬・沖縄・鹿児島にドクターヘリで行くことが多く、島に病院があっても安心できない。ハブ取り棒と箱を貸し出してほしい。徳之島高校グラウンド近くで6月にハブを2回見た（徳之島町、女、50歳代）。
- ・今後も医療、福祉、輸送コストに関して、国の特別措置が必要だと思います（徳之島町、女、50歳代）。
- ・島民の大半は農家です。農業の各支援・援助をもっとお願いしたい。離島運賃助成、各品目の助成が必要と考えます（徳之島町、女、60歳代）。
- ・自然破壊をしすぎない様にして欲しい（徳之島町、女、60歳代）。
- ・奄振の使われ方ですが、道路のコンクリート工事は必要のない山の中まで行われており、県道もコンクリート面で目にするのも疲れます。もっと他に工法はないのか。奄美の自然を守るのであれば、むやみにアダンを切って捨てるのはどうかと思う。熟慮して欲しい。ジャガイモの出荷調整ができるように冷蔵庫を設置する等に力を入れるのであれば、奄振は必要だと思います（徳之島町、女、70歳代以上）。
- ・奄美群島の発展にはまだまだ国の力が必要だと思います。今後とも引き続き、特別措置、奄美群島振興開発事業をよろしくごお願い申し上げます（徳之島町、女、70歳代以上）。
- ・島に咲く花、ハイビスカス・ブーゲンビリア・クロトン・ソテツ等は台風にも強く、一年中咲きます。いつでも花が迎えてくれる島は感動します。花を植えて花の島にすれば、他のことはそれから考えても良いと思います（徳之島町、女、70歳代以上）。
- ・人口の減少、働く主婦の労働状況の改善をして欲しい（徳之島町、女、70歳代以上）。
- ・農家がゆとりのある生活ができるよう、政治が力を入れて欲しい。もっと全ての人が努力をし欲しい（徳之島町、女、70歳代以上）。
- ・奄美群島の魅力を世界にPRしていきたいです（与論町、男、20歳代）。
- ・与論島港湾施設は悪天候による船便の欠航が多い為、港湾工事でこの問題を解決して欲しい（与論町、男、40歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・ 伝統である大島紬が島内で活かされていない様に思う。役場の人達の制服に採用したり、空港関連の人達も大島紬を使った制服で観光客を迎えればイメージが変わってくると思う。島内の郵便局や銀行、JA 関連の人達の制服も色違いの大島紬にしたら、紬のアピールに貢献できると思う。また、一般の人向けで大島紬柄の T シャツがあれば、すごく面白いと思う（私が欲しい）。大島紬柄の作業衣やエプロン、眼鏡フレーム等があってもいいと思う。瓜のアートに大島紬柄を使うなど、色々と産業が広がるのではないか。商品にするのであれば、絶対プロのデザイナーにお願いした方が良い。良いものは売れてこそ、その価値が高まる。安易に作って大量に売れ残るのは地獄を見ることになる。扇子、スニーカー、雨靴、鉛筆等到大島紬柄があればすごく面白いと思う。今後もこの島に住み続けたいと思っているが、賃貸住宅、公営住宅の住人にも利用できる菜園（畑）があれば、定住者が増えると思う（敷地内ではなくていいが近場で、水道設備がある畑）。奄美・徳之島は伝統の島唄があるのに、イベントがある度に派手にエイサーが行われている。他県から来る人達はエイサーが島の伝統だと勘違いすると思うのでやめて欲しい。ラジオの電波が入らないので電波塔を建てて欲しい。離島だからこそ Wi-Fi 環境は必須だと思う。それから、徳之島町の道路幅の拡張・整備をお願いしたい。ハブの乱獲は反対です。緑豊かな山々が住宅地にどんどん変わっています。森林の守り神であるハブは島民が守っていくべきものだと思う。実践的な専門教育として、『樹木医』の学校があれば良いと思う。『獣医師』も自然保護に役立つと思う。環境保全を意識した人材育成をして欲しい。徳之島は昭和 30 年代に美味しいお米を作っていたと聞きます。ブランド米として復活したらどうでしょうか。昔は馬もいたらしいですが、現在島に馬はいますか？日本タニシ、ドジョウ、毛ガニ（サワガニ）、川エビ、スッポン、川ウナギ、フナ等…これらを餌にシロサギが多く島にいたらしいですね。想像するだけでテンションが上がります。島の発展のために昔に回帰するべきです。大島紬の糸はカイコから作り、染料や機織りの伝統も継承するべきだと思う。あれこれ策に頼らず、昔に回帰していけば人も自然も恩恵を受けられるのではないのでしょうか。昔の自然環境を整えば、そのまま観光に活かせると思います。（徳之島町、女、60 歳代）。
- ・ 奄美振興事業の意味が分からない。とにかく、離島の格差を強く感じる。物価高なので経済発展が感じられない。潤いを感じない。ゆとりも感じない。医療の充実を求める（与論町、男、50 歳代）。
- ・ 自然のままを保って欲しい。新しく建物を作るより、何もないのが好きで来島してくる方も多と思います。観光に力を入れ過ぎて周りが見えなくなっているように感じます。観光地周辺に居住している住民を無視した観光業に力を入れすぎているように思います。島での生活は気楽のようで気難しい所もあります（与論町、男、50 歳代）。
- ・ 私の島では海が観光の売りですが、近年台風で砂浜が海の中に入り込み、リーフと浜辺の間が砂で覆われサンゴ礁や藻場がなくなりつつあります。50 年前まではリーフと浜辺の間をイノーと言い、そこにはたくさんの藻や魚がいっぱいいて観光客も感激していました。また、サンゴ礁や藻場がなくなってきたせいで亀のエサが少なくなり、残り少ない藻や天然モズク等を亀が食い漁り、みじめなイノーになっています。お願いします。イノーの砂の撤去と亀の駆除は出来ないのでしょうか（与論町、男、60 歳代）。
- ・ オオゴマダラ蝶を守って欲しいです（与論町、男、60 歳代）。
- ・ 奄美群島は空や海の物流（人も合わせて）に大変なコストがかかり過ぎだと思います。沖縄振興と奄美振興が一体となった特区を作り対応するべきだと思います（与論町、男、60 歳代）。
- ・ 小さい農地面積でも収益が上がる、農業・農産物の開発が必要だと思う（与論町、男、60 歳代）。
- ・ 国土防衛、保全の視点が今後更に大切になると思う（与論町、男、60 歳代）。
- ・ 航空運賃が少しでも安くなる事を希望します（与論町、男、60 歳代）。
- ・ この与論島は自然を大事にした開発が必要だと思います。沖縄の様に人口増加の良さは将来飽きてくると思うし、自然に帰すことも難しい。医療が充実すればよいが、今のところ無理だと思っている（与論町、男、70 歳代以上）。
- ・ 奄美大島中心のハード面の復興開発ばかりではなく、南三島の方にも目を向けて欲しい（与論町、男、70 歳代以上）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・トンネル、港湾、土地改良等にほとんどつかわれている。海上、航空運賃の低減、通販の運賃の低減等住民に恩恵が及ぶ政策が欲しい（与論町、男、70歳代以上）。
- ・観光に目が行きがちだが、移住定住に重きを置いて欲しい。住む家、空き家改修がいつまでも進まない中で促進していけないと感じている。人口減少は避けられないので、まずは子育て世代を増やすために、住む場所の確保を柔軟に行って欲しい（与論町、女、20歳代）。
- ・Uターン、Iターンなど引っ越しを伴う移動でかかるコストがとても大きい為、帰って来る（移住する）のにすごく資金がかかる。コンテナ代、車代（輸送）等の条件を設けて資金の支援があれば定住しやすいかなと思います（与論町、女、30歳代）。
- ・マイナンバーカードを提示することにより最新の住所確認が可能なので、離島航空割引カードの登録・提示を省略可能として欲しいです（与論町、女、30歳代）。
- ・奄美群島の星空は本州では見られない南十字星や与論島では南十字星の4つの星全てが見られる等、奄美群島ならではの魅力があると思います。この星空を活用すべく、光害対策や群島民、観光業他との周知や連携等を行って頂ければと思います。また、小中高生やアマチュア天文家が観察や観測が行える環境や場所（光害対策が行われ、安全で機材を設置できる場所や施設）が出来ることを希望します（与論町、女、50歳代）。
- ・「奄美群島」と言われるが、お互いの島々でもっと理解や繋がりを探して、農産物・海産物の流通や文化等でもっと交流出来たら良いと思います（与論町、女、50歳代）。
- ・国の特別措置のおかげで島で生活出来ていますが、ガソリン代1つとってもまだまだ本島との格差が激しい（与論町、女、60歳代）。
- ・生産資材費の高騰により、サトウキビの生産者手取りが大幅に減少すると思われるので対策をお願いしたい。島内全域に外来植物（オオキンクイグサ他）が蔓延していると思うが対策はどうなっているのでしょうか。猫が増えすぎていて、道路で寝ていたりして非常に危ない。飼い猫の指導はどうなっているのか。野生化した猫も多い。最近は鶉等も見かけなくなっている（与論町、女、70歳代以上）。
- ・古い言葉も大切にしたいと思います。食事が都会並みになってきました。大変な世の中になったと少し不安になる時もあります（与論町、女、70歳代以上）。
- ・島内で原野を農地に転換する工事が多々見受けられます。人間の利便性ばかり追求して自然破壊をしないで欲しい。奄美大島と徳之島が世界自然遺産に選ばれて何故与論島は選ばれなかったのか。残された自然が大切に守られる事を願っています（与論町、女、70歳代以上）。
- ・奄美群島はそれぞれの島において色々な面で不便な所があります。これからは是非国の特別措置を利用し、せめて本土並みの生活が出来る島にして欲しいです（与論町、女、70歳代以上）。
- ・各島ごとに状況が異なるので奄美大島中心ではなく、各島の要望に応えられる事業であって欲しい（与論町）。
- ・これからの世代（若者）が暮らしやすい奄美大島になることを願っています。若者の雇用が少ないのではないかと思います（龍郷町、男、20歳代）。
- ・伝統文化等を押し付けることをやめて（好きな人にはさせる）、新しい文化をどんどん取り入れていくべきだと思う（龍郷町、男、40歳代）。
- ・沖縄の真似をしても埋もれるだけ。「奄美ならではの」ブランディングを実施し、差別化を図るべきである。また、単に世界遺産になっても自然も文化も保護できない。一部の人達だけの登録にならないよう、配慮が必要（龍郷町、男、40歳代）。
- ・経済の発展、世界自然遺産登録を生かした施策、文化・歴史の継承などは島民の力で良くも悪くもできる部分。離島という物理的に不利を強いられるということにおいては、島民の力だけではどうにもならず、その点においては特別措置は必要なのではと思います（龍郷町、男、40歳代）。
- ・①リーダーが特区を設けて事業を推進させる。②JAは農業の技術指導を行う（龍郷町、男、60歳代）。
- ・世界遺産登録地以外でも島の自然を守る取り組みをして欲しい。病院が減っているので後継者を誘致して欲しい（龍郷町、男、60歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・鹿児島県は現在、NPO 法人チャレンジド就労支援ネットワーク「e ワーカーズ鹿児島」が運営している「かごしまバリアフリー相談センター」において、鹿児島県全域でのバリアフリー観光への取組の推進が行われています。県大島支庁においては、奄美群島ユニバーサルツーリズム推進事業が進められ、奄美群島内の島ごとに同推進事業の推進母体となる組織の立ち上げ、建物のバリアフリー化等の実態調査が進められ、調査から見えてきた課題解決に向けた討議などが行われようとしていると理解しています。同推進事業における検証結果報告による群島全体で課題解決（バリアフリー化）に取り組む必要があるものは、①宿泊施設 ②車いすに対応したトイレ ③島内の飲食店 ④島内移動と島間移動 ⑤景勝地・観光立ち寄り場所のバリアフリー化 ⑥着地型観光のコンテンツとなっています。他の先進県では国が目指す基本理念に基づき、ユニバーサルツーリズム観光事業により活力に満ちた持続可能な地域社会が既に実現されていますので、上記 6 項目の中から奄振で取り組めるものを選定して早め着手していただきたい。県及び市町村の職員の方々が奮起されることを心から期待しています。「奄美人の心を一步前へ そして共感される奄美群島へ。12 市町村の奄美人の心を変え、人に優しい奄美群島へ」（龍郷町、男、60 歳代）。
- ・砂浜やアダン林は可能な限り保全すること。採取禁止の動植物類を島民を含め周知徹底すること。シマグチ（方言）の継承にもっと尽力すること（龍郷町、男、70 歳代以上）。
- ・地域の実態にあった施策作りが必要。よその真似ではダメで、それにはきめ細かな調査・分析が必須。20 年後、50 年後を見据えた施策をして欲しい。大切なのはそこに暮らす住民のための施策です（龍郷町、男、70 歳代以上）。
- ・奄美の人は働くことに対して弱い。自分のものなのか、他人のものか分からない人がある（龍郷町、男、70 歳代以上）。
- ・子供から老人まで、奄美に生まれて奄美に住んで良かったと思えるような、幸福な島であり続けて欲しいと思います（龍郷町、男、70 歳代以上）。
- ・島で暮らしていくためには、働く場を増やすことが重要です。奄美の歴史、文化等の資源を活かした匠や工房の育成が必要だと思います。シマ博を発展させた形で増やしていけたらと思います（龍郷町、男、70 歳代以上）。
- ・奄美の産物だけに捕らわれ、それだけに目を向けているような節がある。それはいかがなものでしょうか。色々な面で島自体が努力をし、自立への道を歩むべきだと思います（龍郷町、男、70 歳代以上）。
- ・今年 3 月に芦徳の方へ引っ越ししてきました。海が綺麗で食事も美味しく、町の人達にもとても親切にしてください楽しく過ごさせて頂いています。これも偏に奄美の皆さまのおかげだと思います。ありがとうございます。奄美は豊かな自然に恵まれていて、食の素材が良いと思います。調理の仕方も良く、どの店も美味しいです（龍郷町、女、20 歳代）。
- ・島のウニの養殖はいかがでしょうか。島外の人ばかり手厚くして島内の住民に対しての支援は、子供と老人だけが対象なのですか？20～50 代の一部だけでなく、全住民に対して奄美を楽しめる情報を伝えてほしいと思います。龍郷町の SNS の更新は 2015 年から止まっています。継続する予定はないのですか？（龍郷町、女、30 歳代）。
- ・豊かな自然をそのまま残し、生かすことができる島であって欲しいと願っています（龍郷町、女、40 歳代）。
- ・伝統産業が貴重と言いながらあまり大事にしていると思えません。お金をかけるところが違うような気がしますし、今後の未来像などが見えない気がします。せめて、10 年後の計画は島民に分かりやすく広報する事が大事だし、若い人、男女共に意見を出していくべきだと思います。個人的な意見ですが、地域協力隊は島内の方がやるべきだと思います（龍郷町、女、50 歳代）。
- ・人口流出、減少は奄美群島衰退の一途を加速させてしまう。1 番の課題だと思う（龍郷町、女、50 歳代）。
- ・海や山等の自然環境保全のために、地球の一部であるという意識を失わず、目先のことばかりではなく何世代にも渡ってこの自然を残していくという気持ちを持って活動に取り組んで欲しいと思います（龍郷町、女、50 歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・奄美のために頑張っていただきたいと思います（龍郷町、女、60歳代）。
- ・奄振が期限切れとなる年には、県・郡の議員が国へ陳情していますが、奄美全体のソフト面を充実していき、今後国が予算を切った時、郡島民が自分の生活を守れるようなことを考えていかないといけないと思います。今の日本経済を見ていると、若者が島に残れるだろうか？残ってくれるだろうか？色々と考えることがあります（龍郷町、女、60歳代）。
- ・本土との賃金の差、物価高に悩んでいます。年金生活が不安です（龍郷町、女、60歳代）。
- ・名瀬の街中にあのような道路は必要なのか。昔ながらの良さが無い。内地を追い越せと忙しく焦っているように見える。若者への援助をお願いしたい。家を貸したいが、借りる人が見つからない。奄美新聞に掲載しても見つからないので何とかしてほしい。名古屋に行くことが多いので直行便があればと思う。航空運賃も高い（龍郷町、女、70歳代以上）。
- ・これからの時代の子供・孫達が心配です。災害に備えるための避難所の整備が必要だと思います。以前洪水の危険があって学校に避難しました。避難所の体育館の裏山が崩れる恐れがあったので、校庭をはさんで体育館向いの校舎に避難しましたが、トイレが遠くて大変でした。高齢者は皆様に大変お世話になっております。ありがとうございます。これからも戦争のない平和な毎日であって欲しいです（龍郷町、女、70歳代以上）。
- ・現行の措置法を5年から10年に見直しをし、長期的な計画を立て、奄美の振興を図る必要がある（龍郷町、女、70歳代以上）。
- ・島に大学等が欲しい（龍郷町、女、70歳代以上）。
- ・島外から移住してきた人が家賃が高いと言っていた。都会と変わらない金額だった。移住者へ家賃補助の支援をしたら良いと思う（和泊町、男、20歳代）。
- ・離島は設備や建物の老朽化が早く、廃墟と化している建造物を多く目にする。新たに何かを創る事業も大切ではあるが、台風被害対策や景観維持の為に今あるものへの対策事業がまずは必要ではないか。また、移住定住における問題として土地の所有者が不明となっているところが多いと聞く。このような問題にも行政的支援が必要なのではないかと思う（和泊町、男、40歳代）。
- ・運輸関係者を充実させて欲しい。島にない物をネットで注文しても配送出来ない時があったり何より送料が桁違いに高い。島は商店で物資が手に入りにくいので、ネット購入時の不便が無くなる様にして欲しい（和泊町、男、70歳代以上）。
- ・インターネット環境を充実させて欲しい（Wi-Fi等）（和泊町、男、70歳代以上）。
- ・以前融資で大変お世話になり、助けていただきました。あの時の融資があったらから今も経営を続けられています。今後とも宜しくお願い致します（和泊町、男、70歳代以上）。
- ・知名度が上がり観光客が増えると島が活性化するので良い事だが、自然豊かなところはずっと残して欲しい。本末転倒な開発にならない様に、守るべきものはしっかり守って欲しいと思います（和泊町、女、30歳代）。
- ・年代の比率的になかなか難しいと思うが地域、経済活性のためには、高齢者より子育て世代にとって手厚いサポート、環境(教育、医療福祉等)を整え、ファミリー層移住を自治体でとりにいった方がいいかと思う。そのためには、ネット環境充実も重要（和泊町、女、30歳代）。
- ・島ならではの良いものがたくさんあるので、気軽に島外の人々が来島出来る様にするために、鹿児島との航路があと1~2便増えたら良いと思う（和泊町、女、40歳代）。
- ・第5世代移動通信システム(5G)を整備することは人体に悪影響を及ぼすと思う（和泊町、女、40歳代）。
- ・世界自然遺産には奄美大島・徳之島だけではなく、沖永良部島、与論島など奄美群島全てを登録して欲しい（和泊町、女、50歳代）。
- ・あと2年足らずで国の特別措置が終わるとの事ですが、奄美群島はまだまだ他の自治体に比べて遅れているところがたくさんあると思います。今後も国の特別措置は無くてもならないものだと思います（和泊町、女、60歳代）。

○具体的な意見・提言（続き）

- ・夢の持てる島であって欲しい。島の人口を3万人以上に増やして欲しい（和泊町、女、70歳代以上）。
- ・町役場の高齢の職員や議員は本当に偉そうにしており、町民・若者への態度が非常に悪い。自分の立場に胡坐をかいているだけで、次世代のために何をしたら良いのか考えている人はごく少数だと思う。今、この島で次世代の子供達に何を遺していけるのかを真剣に考えて行動に移すべきだと思う。本当のリーダーを求めます。他島、他県に置いてけぼりを食らわない様、現状に満足せず若者とコミュニケーションを取りながら、まずは地域活性化を目指すことが必要不可欠です。自然任せの観光など全く意味がない。人の手をかけて商業や観光スポットなどを作るべきだと思う（和泊町、女、70歳代以上）。

【F 4で、3又は4と答えられた方にお聞きます。】

F 5 この島に来て（帰ってきて）何年になりますか。

- 1 5年以内
- 2 6～10年以内
- 3 11年以上

F5

※ 次の項目から、具体的なアンケート項目です。

A 島の魅力について

問1 あなたが感じているこの島の魅力は何ですか。（次の中から2つ選んでください。）

- 1 固有の文化や伝統が日常生活の身近にあること
- 2 結いの精神により地域住民が助け合って暮らせること
- 3 都会にはないゆったりとした気持ちで暮らせること
- 4 豊かな自然に恵まれていること
- 5 一年を通じて温暖であること
- 6 他では味わえない産物や郷土料理があること
- 7 手軽にスポーツやレジャーが楽しめること
- 8 その他（ ）
- 9 特に意識していない
- 10 わからない

問1

B 定住意向について

問2 あなたは、この島に今後とも住み続けたいですか。（次の中から1つ選んでください。）

- 1 是非島内に住み続けたい
- 2 できれば島内に住み続けたい
- 3 できれば島外に移りたい
- 4 是非島外に移りたい
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問2

問3 子どもたちが島で暮らすことについて、どう思いますか。（次の中から1つ選んでください。）

- 1 ずっと島で暮らしてほしい
- 2 教育などのためにいったん島を出るのはやむを得ないが、島に帰ってきて欲しい
- 3 島で暮らして欲しいが、島以外で暮らすのもやむを得ない
- 4 島以外で暮らして欲しい
- 5 その他（ ）
- 6 わからない

問3

【在住者用】

問4 あなたや子どもたちが島で暮らしていくためには何が必要ですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 労働条件（給与・福利厚生等）の良い仕事があること
- 2 商業施設が充実すること
- 3 医療・福祉が充実すること
- 4 子育て環境が充実すること
- 5 住宅など生活環境が良くなること
- 6 大学・専門学校等の教育機関があること
- 7 島内外の交通が便利になること（運賃の軽減を含む）
- 8 豊かな自然環境が維持、保全されること
- 9 結いの精神により地域住民が助け合うこと
- 10 スポーツ・娯楽施設・芸術文化施設が充実すること
- 11 インターネット利用環境が充実すること
- 12 物価が安くて安定すること
- 13 その他（ ）
- 14 今のままで特に必要なものはない
- 15 わからない

問4

【問5は、奄美群島出身者で奄美群島外に転出した経験のある方にお聞きます。】

問5 あなたが奄美群島外に転出した理由は何ですか。(次の中から2つ選んでください。また、9と回答された方は、不便を感じた島での生活を具体的にご記入ください。)

- 1 自分や家族が進学したため
- 2 自分や家族が就職したため
- 3 自分や家族が転勤したため
- 4 結婚のため
- 5 自分や家族の病気やけがの治療等のため
- 6 子どもなど同居するため
- 7 労働条件（給与・福利厚生等）の良い仕事があったため
- 8 島外の生活を体験したかったため
- 9 島での生活に不便を感じたため（具体的に： ）
- 10 その他（ ）

問5

【問6は、奄美群島以外の出身者で奄美群島に転入して来られた方にお聞きます。】

問6 あなたが奄美群島に転入して来られた理由は何ですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 奄美群島の豊かな自然の中で暮らせるため
- 2 奄美群島のゆったりとした時間の中で暮らせるため
- 3 マリンスポーツなどを手軽に楽しむため
- 4 知識や経験を生かせる仕事があったため
- 5 島で農業や漁業などをするため
- 6 学術研究や芸術活動のため
- 7 奄美群島の伝統文化にひかれたため
- 8 島の温かい人情にひかれたため
- 9 保養・療養のため
- 10 島が好きだから
- 11 結婚のため
- 12 知人や親戚がいたため
- 13 安心して生活（子育て）できる環境があるため
- 14 転勤のため
- 15 その他（ ）

問6

【在住者用】

【問7は、奄美群島出身者で奄美群島外に転出した経験のある方及び奄美群島以外の出身者で奄美群島に転入して来られた方にお聞きします。】

問7 島へのU・Iターン及び二地域居住※などを促進するために必要なことは何だと思えますか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 就職支援
- 2 起業支援(自ら事業を始めようとする者に対する支援)
- 3 U・Iターン及び二地域居住の支援体制(相談窓口・世話係・移住体験ツアー等)の充実
- 4 就職・住宅などの情報提供
- 5 島外との交通の便を良くする
- 6 近所づきあい、地域コミュニティの推進
- 7 物価を下げる
- 8 医療機関の充実
- 9 定住促進住宅の整備
- 10 生活資金、住宅購入等の助成制度の整備・充実
- 11 その他()
- 12 わからない

問7

※ Uターン = 進学や就職などで他地域に住んでいた人たちが故郷に戻り住むこと
 Iターン = 都会に住む人が自分の故郷以外の地方へ移り住むこと
 二地域居住 = 都市と地方の両方に生活場所を設けて、週末や季節ごとに行き来して生活すること

【以下、すべての方にお聞きします。】

C 群島内外との交流・連携について

問8 あなたは、島の振興にあたり、どこと交流・連携することが有効だと思えますか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 群島全体
- 2 種子島、屋久島、三島、十島
- 3 県内の他の市町村
- 4 沖縄県
- 5 九州地区(鹿児島県を除く)
- 6 関西地区
- 7 関東地区
- 8 アジア諸国
- 9 外国(アジア諸国を除く)
- 10 その他()
- 11 わからない

問8

問9 あなたは、問8で選んだ地域との交流・連携を強化するためには、何が必要だと思えますか。(次の中から1つ選んでください。)

- 1 定期航空路・航路の開設、増便などの拡充
- 2 航空・航路運賃の軽減
- 3 地域間交流の充実
- 4 観光情報の発信事業などの共同実施
- 5 農林水産物等の流通
- 6 医療・福祉サービスの利用
- 7 その他()
- 8 特にない
- 9 わからない

問9

【在住者用】

D 奄美群島振興開発事業の評価と期待について

問 10 あなたの島は、全体的なイメージとして10年前に比べて良くなりましたか。(次の中から1つ選んでください。)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 大変良くなった | 2 いくらかは良くなった |
| 3 変わっていない | 4 少し悪くなった |
| 5 大変悪くなった | 6 わからない |

問 10

問 11 奄美群島振興開発事業では、次の事業を実施してきました。
あなたは、それぞれの事業について、現状を「満足度」で表すと、どのように評価されますか。
(評価(満足度)にあてはまる番号(1～5)を1つ選んでください。)

事業内容	満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない
定住を促進するための方策						
産業の振興						
農業(かんがい排水事業など農業基盤整備や付加価値の高い生産、販売、流通に向けた取組など)		1	2	3	4	5
情報通信(情報通信技術の高度化や多様化に対応できる人材育成の取組など)		1	2	3	4	5
水産業(漁場、漁港整備の推進、栽培漁業の推進など)		1	2	3	4	5
林業(森林環境保全整備、林道整備、森林資源活用調査など)		1	2	3	4	5
商工業(特産品販路拡大促進、人材育成、企業誘致など)		1	2	3	4	5
移住・交流の促進		1	2	3	4	5
世界自然遺産登録などを生かした交流拡大のための方策						
世界自然遺産登録を見据えた取組の推進(国立公園等保護地域の管理、希少種の保護対策など)		1	2	3	4	5
共生ネットワークの形成		1	2	3	4	5
群島内外との交流の促進		1	2	3	4	5
滞在型・着地型観光を促進するための方策						
地域資源を生かした観光施策の展開(受入体制の整備、観光情報の発信など)		1	2	3	4	5
愛着を育む地域文化の継承、創造		1	2	3	4	5

【在住者用】

奄美群島が抱える条件不利性の改善					
航空運賃の軽減 奄美群島における島外への移動コストの負担軽減を図るため、奄美群島の住民等を対象とした航空運賃の一部助成を行っています。	1	2	3	4	5
航路運賃の軽減 奄美群島における島外への移動コストの負担軽減を図るため、奄美群島の住民等を対象とした航路運賃の一部助成を行っています。	1	2	3	4	5
群島内の誘客・周遊促進 奄美群島内での効果の波及を図るため、航空・航路事業者と連携したプロモーションを行っています。	1	2	3	4	5
奄美・沖縄の連携交流促進 奄美群島と沖縄の住民等の交流を促進するため、奄美群島発及び沖縄発の航空運賃と航路運賃の一部助成を行っています。	1	2	3	4	5
農林水産物等の輸送コスト支援 奄美群島における農林水産物等の輸送コストの負担軽減を図るため、本土と比べ割高となっている農林水産物等の輸送費の一部助成を行っています。	1	2	3	4	5
水産物流通支援事業 奄美群島における水産業の振興を図るため、水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助しています。	1	2	3	4	5
奄美群島成長戦略の推進 奄美群島の自立的発展を図るため、市町村、広域事務組合等による地域の裁量に基づく産業振興等の取組を支援しています。	1	2	3	4	5
物価の軽減（国の支援制度による離島のガソリン価格の引き下げなど）	1	2	3	4	5
交通基盤の整備					
航空交通（空港施設の更新・改良など）	1	2	3	4	5
海上交通（港湾施設の整備や維持管理、老朽化対策の推進など）	1	2	3	4	5
陸上交通（国・県・市町村道の整備や維持管理など）	1	2	3	4	5
防災及び国土保全					
消防防災の充実（防災関連施設の整備など）	1	2	3	4	5
治山対策の推進（治山対策の推進、海岸防災林の整備の推進など）	1	2	3	4	5
治水対策の推進（河川の改修、急傾斜地崩壊対策、地すべり対策の推進など）	1	2	3	4	5
海岸保全の推進（堤防、護岸等の海岸保全施設の整備の推進など）	1	2	3	4	5
港湾整備の推進（耐震強化岸壁や防災拠点緑地等の整備の推進など）	1	2	3	4	5

【在住者用】

奄美群島の生活基盤の確保・充実					
保健医療福祉					
保健医療（健康づくり、医療提供体制の整備など）	1	2	3	4	5
ハブ対策（ハブ駆除対策、ハブ咬傷対策）	1	2	3	4	5
社会福祉（高齢者・児童福祉等の推進など）	1	2	3	4	5
教育及び人材育成					
教育（学校教育や生涯学習の充実）	1	2	3	4	5
人材育成（地域、くらし、産業を支える人材の育成・確保）	1	2	3	4	5
生活環境					
水道（未普及地域の水道整備、既設の水道施設の統合整備や施設の更新等の促進など）	1	2	3	4	5
都市基盤（生活排水処理施設の整備促進など）	1	2	3	4	5
住環境の整備（老朽化した公営住宅の建替えや長寿命化計画に基づく既存住宅の長寿命化等の促進など）	1	2	3	4	5
安全・安心まちづくりの推進（犯罪の未然防止や交通安全思想の普及啓発など）	1	2	3	4	5
地域環境の保全（水環境の保全、騒音・悪臭等の防止、ヤンバルトサカヤスデの駆除など）	1	2	3	4	5
循環型社会の形成	1	2	3	4	5
自然環境配慮型・自然再生型公共事業等の実施	1	2	3	4	5
資源・エネルギー					
水資源（老朽化したため池等の改修を推進し水資源の安定確保に努めるなど）	1	2	3	4	5
再生可能エネルギー（地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入の促進など）	1	2	3	4	5
電力（電力の需要状況等の的確な把握など）	1	2	3	4	5

【在住者用】

問 12 島外との交通について

(1) 海上交通

海上交通について、困っていることは何ですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 運賃が高い
- 2 定期便の便数が少ない
- 3 定期便の時間帯が不便
- 4 定期便の欠航がある
- 5 定期便の設備が良くない
- 6 定期便の速度が遅い
- 7 時間どおりに着かない
- 8 港の施設が不便
- 9 不定期便や海上タクシーがない
- 10 港までの交通の便が悪い
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問 12(1)

(2) 航空交通

ア 航空交通について、困っていることは何ですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 通常運賃が高い
- 2 定期航空路の便数が少ない
- 3 定期便の時間帯が不便
- 4 定期便の乗客定員が少ない
- 5 主要都市への直行便がない
- 6 他の島への直行便がない
- 7 定期便の欠航がある
- 8 空港の施設が不便
- 9 空港までの交通の便が悪い
- 10 その他 ()
- 11 特にない

問 12(2)ア

**イ お住まいの島の空港と間の航空運賃について、割引を希望する空港はどこですか。
【a 鹿児島県内の空港】から2つ、また【b 鹿児島県外の空港】から1つ選んでください。**

【a 鹿児島県内の空港】

- | | |
|--------|--------|
| 1 鹿児島 | 2 奄美大島 |
| 3 喜界 | 4 徳之島 |
| 5 沖永良部 | 6 与論 |
| 7 種子島 | 8 屋久島 |

問 12(2)イ
a

【b 鹿児島県外の空港】

- | | |
|------|-----------|
| 1 那覇 | 2 成田 |
| 3 羽田 | 4 伊丹（大阪） |
| 5 関西 | 6 中部（名古屋） |
| 7 福岡 | 8 その他 () |

問 12(2)イ
b

【在住者用】

問 13 今後、教育については、何に重点を置けば良いと思いますか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 奄美固有の文化や伝統などの郷土教育の充実
- 2 校舎等の整備
- 3 遠隔教育環境の整備
- 4 群島内外との交流活動や交換留学制度の充実
- 5 インターンシップなど職業教育の充実
- 6 進路指導の充実
- 7 大学・専門学校等の教育機関の整備・充実
- 8 体育・芸術教育の充実
- 9 道徳教育の充実
- 10 自然環境教育の充実
- 11 課題解決型学習の推進
- 12 いじめ問題の対策の充実
- 13 図書館、美術館、博物館等の整備
- 14 ボランティア等社会参加の充実
- 15 不登校の児童生徒への支援
- 16 障がいのある児童生徒への支援
- 17 その他 ()
- 18 わからない

問 13

問 14 あなたの島の発展、振興のためには、今後、どの産業に力を入れたら良いと思いますか。(次の中から3つ選んでください。)

- 1 さとうきびを基幹とした農業
- 2 亜熱帯気候を生かした園芸農業（花、果樹、野菜）
- 3 畜産業を中心にした農業
- 4 上記以外の農業
- 5 林業
- 6 養殖業
- 7 上記以外の漁業
- 8 建設業
- 9 黒糖焼酎関連産業
- 10 大島紬関連産業
- 11 生産者自らが地域の農林水産物を加工・販売する6次産業化※の取組
- 12 製造業（黒糖焼酎関連産業及び大島紬関連産業を除く。）
- 13 情報通信関連産業
- 14 商業
- 15 観光関連産業
- 16 運輸業
- 17 その他 ()
- 18 わからない

問 14

※ 6次産業化・・・農業や水産業などの第1次産業従事者が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態

【在住者用】

問 15 あなたの島の水産業の振興を図るためには、今後、何に力を入れたら良いと思いますか。（次の中から2つ選んでください。）

- 1 漁港施設の整備
- 2 漁船の大型化、装備の近代化
- 3 種苗の放流や稚仔魚の保護などの栽培漁業の推進
- 4 魚礁（浮魚礁を含む）、藻場等の造成やサメ駆除などの漁場環境の改善
- 5 適正な漁場利用に配慮した養殖業の推進
- 6 融資・保証制度の拡充・強化
- 7 後継者の育成
- 8 新規就業者の支援
- 9 市場情報の入手等生産物の販売強化
- 10 大都市市場までの輸送体制の整備（コスト面は除く）
- 11 島外へ出荷する際の輸送コストの軽減
- 12 原材料等を島内へ入荷する際の輸送コストの軽減
- 13 水産加工品の開発・商品化技術の向上
- 14 漁協の経済事業の強化
- 15 経営管理能力の向上
- 16 ブランド力の追加
- 17 その他（ ）
- 18 わからない

問 15

問 16 雇用の創出・確保を図るためには、今後、何に力を入れたら良いと思いますか。（次の中から3つ選んでください。）

- 1 企業の立地（誘致）
- 2 雇手を拡大する地元企業への助成制度の充実
- 3 雇用創出基金などの拡充
- 4 地元企業の新事業への進出
- 5 地元企業への金融支援
- 6 起業支援（自ら事業を始めようとする者に対する支援）
- 7 就職相談・斡旋
- 8 求職者のための職業訓練・人材育成
- 9 住民や島外からのU I J ターン者が島の複数の仕事に柔軟な形態で従事できる機会の創出・拡充（特定地域づくり協同組合制度※の活用等）
- 10 税制特例措置の拡充
- 11 その他（ ）
- 12 わからない

問 16

※ 特定地域づくり協同組合制度・・・人口急減地域において、中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合が、特定地域づくり事業を行う場合について、都道府県知事が一定の要件を満たすものとして認定したときは、労働者派遣事業を許可ではなく、届出で実施することを可能とするとともに、組合運営費について財政支援を受けることができるようにするというもの。

【在住者用】

問 17 沖縄県において振興している次の各種施策のうち、奄美群島においても対等な競争をするために力を入れて支援すべきと考える施策を、次のうちから3つ選んでください。

- 1 観光・リゾート産業
- 2 情報通信関連産業
- 3 国際物流拠点事業
- 4 産業イノベーションの推進
- 5 金融業
- 6 農業
- 7 林業
- 8 水産業
- 9 中小企業の振興
- 10 その他の施策（ ）

問 17

問 18 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島は、国際的にも希少な固有種の生息・生育地となっています。このように生物多様性を保全していく上で重要な地域であることがこの4地域の世界遺産としての価値となっています。あなたはこのことについてご存じでしたか。（次の中から1つ選んでください。）

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問 18

問 19 下記の活動や講演会などのうち、過去1年間に参加したことがあるものを全て選んでください。

- 1 ゴミ拾いなど地域の美化活動
- 2 自然や生きものの観察会
- 3 盗掘防止パトロールやモニタリング調査
- 4 外来植物の抜き取り作業など外来種駆除
- 5 世界遺産や自然に関する講演会やシンポジウム等

問 19

問 20 奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったことで期待できることとして、下記の意見や予想をどのように思いますか。それぞれあてはまる番号（1～5）を1つ選んでください。

	とても 思う	思う	分から ない	思わ ない	全く思 わない
地域の知名度や人気が高まる	1	2	3	4	5
貴重な動植物や自然が守られる	1	2	3	4	5
美しい景色が守られる	1	2	3	4	5
地域経済が活性化し、雇用が増える	1	2	3	4	5
農産物・加工品の売り上げが増える	1	2	3	4	5
観光関連の収益が増える	1	2	3	4	5
観光マナーがより徹底される	1	2	3	4	5
飲食店やお店が増え、生活しやすくなる	1	2	3	4	5
移住者が増え、人口減少の歯止めとなる	1	2	3	4	5

【在住者用】

問 21 奄美大島と徳之島が世界自然遺産になったために懸念または心配することとして、下記の意見や予想をどのように思いますか。それぞれあてはまる番号（1～5）を1つ選んでください。

	とても 思う	思う	分から ない	思わ ない	全く思 わない
利用者が増えて自然環境が劣化する	1	2	3	4	5
生きものの交通事故が増える	1	2	3	4	5
希少生物を無断でとる人が増える	1	2	3	4	5
農作物や果樹への鳥獣被害が増える	1	2	3	4	5
観光客によるゴミのポイ捨てが増える	1	2	3	4	5
観光案内所やトイレなどの施設が不足する	1	2	3	4	5
交通量が増え、道路が混雑する	1	2	3	4	5
観光客が生活圏に入り、騒がしくなる	1	2	3	4	5
規制により猟や山菜採りができなくなる	1	2	3	4	5

E まとめ

問 22 日本において奄美群島が果たしている役割又は今後果たすべき役割は何だと思えますか。（次の中から2つ選んでください。）

- 1 貴重な動植物など豊かな自然環境の保全
- 2 多様で個性的な伝統文化の継承
- 3 今後の地域コミュニティのモデルを提示
- 4 奄美固有の癒しの提供
- 5 良質な食料の安定供給
- 6 領海・排他的経済水域保全
- 7 その他（ ）
- 8 特にない
- 9 わからない

問 22

問 23 奄美群島の将来を考える上で、奄美群島の今後の問題点は何だと思えますか。（次の中から3つ選んでください。）

- 1 農業の衰退
- 2 観光客の増加への対応
- 3 第5世代移動通信システム(5G)の整備
- 4 人口の減少
- 5 奄美特有の伝統や文化の衰退
- 6 就業機会の減少
- 7 自然破壊
- 8 再生可能エネルギーの導入
- 9 本土との経済格差
- 10 人やモノの輸送コストが高い
- 11 少子・高齢化の進行
- 12 その他（ ）
- 13 特にない
- 14 わからない

問 23

【在住者用】

問 24 奄美群島は、将来どのような島になって欲しいですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 温暖な気候を生かした農業の島
- 2 海洋資源を生かした漁業の島
- 3 森林資源を生かした林業の島
- 4 大島紬などの伝統産業が栄える島
- 5 島の資源を活用した特産品産業が栄える島
- 6 全国から多くの観光客が訪れる島
- 7 情報通信関連産業の盛んな島
- 8 豊かな自然に恵まれた島
- 9 奄美の伝統文化の息づく島
- 10 人情味あふれた心豊かな島
- 11 医療や福祉が充実した子育て・高齢者に優しい島
- 12 災害に強く安全に暮らせる島
- 13 その他 ()
- 14 わからない

問 24

問 25 国、県、市町村は、奄美群島の自立的発展を図るため、奄美群島振興開発特別措置法に基づき、別紙資料のような事業（これらを奄美群島振興開発事業といいます。）を実施しています。この法律の有効期限は、令和6年3月までとなっておりますが、このことについてどう思いますか。(次の中から1つ選んでください。)

- 1 歴史的にも特別の経緯を持つ地域であり、今後とも国の特別措置が必要である。
- 2 他の地域に比べ多くの面で格差があり、今後とも国の特別措置が必要である。
- 3 奄美群島の自立的発展のためには、地域の努力に加えて、まだ国の特別措置が必要である。
- 4 今後は、地域の課題として取り組むべきであり、国の特別措置はもう必要ない。
- 5 奄美群島の振興のためになっていないので、やめるべきである。
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問 25

問 26 奄美群島の振興開発について、御意見・御提言がありましたら、何でも結構ですからお聞かせください。
(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

【在住者用】

奄美群島振興開発事業の概要

【これまでの経緯】

奄美群島においては、昭和28年に日本へ復帰して以来、数次の法改正に基づいて、各般にわたる事業が実施され、交通基盤、産業基盤、生活環境などの社会資本の整備が着実に進むなど相応の成果をあげてきている。

しかし、本土から遠隔の外海離島という地理的条件、台風常襲地帯であるなどの厳しい自然条件下にあり、本土との間には、所得水準や物価をはじめとする経済面の諸格差が依然として存在し、人口減少や高齢化の進展など、いまだ解決されない課題が残されている。

一方、平成26年4月の奄振法の延長に伴い、運賃の低廉化や輸送コスト支援などの条件不利性の改善や産業の振興のために地域の裁量に基づく施策の展開を促進する奄美群島振興交付金が創設され、ソフト施策を主体とした取組が進められてきたところである。

奄美群島は、亜熱帯・海洋性の豊かな自然、世界的にも貴重な動植物、個性的な伝統文化などを有しており、今後、世界自然遺産登録の効果を生かして、大きく発展する可能性を秘めている。

現行計画(R元-R6)のもと、奄美群島の自立的発展を目指し、国、県、地元市町村等がと一体となってハード・ソフトの両面から、効率的・効果的な施策の展開に努めている。

- 昭和20年 終戦
- 昭和21年 日本から行政分離され、約8年米国軍政下に統治される
- 昭和28年 日本に返還され、鹿児島県の行政管理下に編入される
- 昭和29年 奄美群島復興特別措置法を制定
- 昭和39年 奄美群島振興特別措置法と改称
- 昭和49年 奄美群島振興開発特別措置法と改称（以下数次の法改正）
- 平成26年 奄美群島振興開発特別措置法の一部改正
（奄美群島振興交付金の創設）
- 令和元年 奄美群島振興開発特別措置法の一部改正
（有効期限を令和5年度末まで5か年延長）

振興開発事業計画	主な事業（令和元年度～令和5年度見込み）
1 定住を促進するための方策	・農業基盤整備や付加価値の高い生産、販売、流通に向けた取組 ・情報通信技術の高度化や多様化に対応できる人材育成の取組 ・特産品販路拡大促進、人材育成、企業誘致
2 世界自然遺産登録などを生かした交流拡大のための方策	・世界自然遺産登録に向けた取組 ・自然環境の保全と利用の両立を図るための取組 ・群島内外との交流の促進 ・沖縄県との連携による移動コストの軽減や共同イベントの開催
3 滞在型・着地型観光を促進するための方策	・奄美の島唄・島口の伝承に係る取組 ・観光施設等の受入体制の整備 ・観光交通体系の整備
4 奄美群島が抱える条件不利性の改善	・航空運賃及び航路運賃、農林水産物等の輸送コストの軽減 ・国の支援制度による離島のガソリン価格の引き下げ ・交通基盤の整備（港湾・空港施設、道路の整備や老朽化対策の推進）
5 奄美群島の生活基盤の確保・充実	・奄美ドクターヘリなど、保健医療体制の整備 ・ハブ駆除対策、ハブ咬傷対策 ・学校教育、生涯学習の充実 ・水道、生活排水処理施設などの生活環境の整備
6 地域主体の取組の促進	・営農ハウス・平張り施設や共同利用機械の整備 ・奄美群島エコツーリズムの推進や観光物産広域連携の取組 ・希少野生動植物の保護、外来生物の駆除

【在住者用】